（明治卅六年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

二月十九日發行

發行人 鈴木昇　編輯人 橘本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

わが主權を蔑視する聯盟の行動を排擊す

亞細亞各國の繁榮平和に努力

謝外交總長の聲明書

【新京特電】滿洲國政府は二月十八日午後三時謝外交總長の名により左の聲明書を中外に向つて發表した

一、我滿洲國政府は國際聯盟の一員にあらず、又聯盟の論議決定に拘束せらるべき何等の法理上又は道徳上の理由なく苟しくも聯盟にしてわが主權を蔑視する如き言動あらんか、敢然これを排擊するの用意を有すと雖も、他面わが建國の大義、國運伸展の狀況等に關し聯盟を啓發するが如きは固より辭する所にあらず、客年五月リットン調査團の來滿に際しわが政府においてこれに應接し、又爾後臨時聯盟に打電してわが意圖を示したるは、一に極東の事態に不明なる彼等を啓發せんとする趣旨に出で又客秋以來壽府に人を派したるも、これ亦聯盟の行動監視とともにその啓發に資する目的に外ならず　我政府が聯盟をして其途を誤まらざらしめんがため致したる努力は蓋し僅少にあらざりしなり國際聯盟が當初滿洲問題に當面するや、結局リットン調査團を極東に派遣して事態を遷延するの外能事なかりしは周知の事實なる所、該調査團が極東問題につき豫備智識を缺如せる上、支那本部諸方面殊にわが滿洲國と仇敵關係にある北支舊東北軍閥の陰險惡辣なる懷柔及び宣傳に甘んじて乘ぜられる結果、その我國に對するや當初より先入的偏見をもつて臨み、我國が張家の逆政を嫌忌せる人民の自由意思により創建せられ、國家の機能着々その緒につき人民の幸福は舊政權下にあるに比し格段に增進せられつゝある事實に想起せず、各委員本國の利己的政策的見地より立論して一國獨立の尊嚴を蔑視し、徒らに支那本土の惡政を再びわが國內に還流せしむるに終る如き提案を爲すに至れり、而も聯盟は昨秋以來の會議において該調査團の報告書をもつて金科玉條となし、一にこれをもつて事實の判斷事件の解決の基準とせんとしたる結果、遂に今日亂暴にも我國の獨立を否認するが如き結論に到達したるが如し

二、抑々聯盟にして世界平和を理想とせば宜しく先づ加盟國に對し國際紛爭の原因たる關稅障壁、外國人出入國の制限及び外國人の差別待遇などの制度撤廢を命じ、全世界の交通々商の自由及び民族平等の原則を確保するが至當なるにも拘らず、各國が口に平和を唱へつゝ、一方右國家的障壁を高くして排他自利、人種偏見の政策を恣にし禍因の累積するを默過しつゝあり、これをもつて見るも聯盟が元々平和の理想に隱れて不自然なる權力平衡、不公平なる現狀を維持せんとする僞善的組織なることを知るに足るべく而して右組織は歷史的紛糾を有する多數國の犬牙輻湊せる歐洲において武裝的平和維持の機構として歐洲大戰前の三國同盟三國協商の組織に過ぎざるやも知れず、然れども右組織が天涯隔絕して一切の事態を異にせる東亞に手を觸るゝが如きは救ふべからざる誤謬にして、彼等が滿洲事變の當初より認識不足の論議を繰返したるため、我國內においては匪賊の跳梁を助長し、外は中華民國の不良軍閥を刺戟して排日排滿の暴擧に出でしめ、昨年の上海事變、馬占山及び蘇炳文の叛亂、本年の山海關事件の如き悉く聯盟の行動に誘發されたる惡果にして熱河の如きも聯盟の論議なくんば既に久しき以前に平定され、今日些の問題を貽さゞりしなるべし而して彼等は今や再び我國三千萬の民意を無視して我國の獨立を否認せんとす、斯くの如き妄動は更に中華民國の軍閥朋黨を刺戟して反日排滿の行動を增長せしめ東亞の禍亂を永續する以外何等の效果なく少くとも聯盟の標榜する世界平和に貢献する所以にあらざることは極東の事情に不通なる聯盟と雖もこれを知らざる道理なし、即ち聯盟はこゝに全く平和の假面を脫却して露骨に亞細亞の同胞をして相食ましめ、有色民族の康寧及び擡頭を抑壓し、以つて白色帝國主義の東亞における聲價を維持增進せんとするの野望を露骨に暴露せり

三、斯くの如き事態の下において友邦日本國政府及びわが壽府派遣の代表が我國獨立の大義を宣揚するため絕大の努力を致し、而も到底彼等の蒙を啓くの望みなきをもつて、日本が元來加入すべからざりし聯盟を脫退し、聯盟を歐洲聯盟に還元せしむるの決意を爲せるは、世界平和及び亞細亞民族の幸福のため欣快の至りにして、爾今日本は歐洲の收拾すべからざる紛糾より手を引き、正義公道に基き自由なる亞細亞の天地に活動するを得べく、わが滿洲國は友邦として極力今回の擧を維持すると共に將來兩國の血盟の精神により益々相互依存の關係を固め、更に進んで爾餘の亞細亞各國を警醒して相協力益々亞細亞の繁榮と平和とに盡瘁すべし

四、最後に聯盟今回の行動が我國の建設計畫に秋毫の影響を來さゞることはいふまでもなく、豐富なる天然資源を開發して王道樂土の實現に精進するの決意あることを茲に聲明す【寫眞は謝外交總長】

あつて徒に輕侮の念を深めしむるのみである、我國現在の孤立はその基く所深く一時的と見るを得ない、即ち滿洲國の承認を取消さゞる限り永久に變らないのである、而して滿洲問題は我國と聯盟との間に生ずべき交涉の全部であり總體である、斯

秘密の交涉經過も全部曝け出す

松岡代表あすの放送

【ジュネーヴ十八日發】わが代表部は政府の最終訓令を待ちつゝ既定方針に基く總會の諸手續を進めつゝあり、代表會議において既に決定せる總會演說の起草並に陳述書の材料整理等を急いでゐるが、一方松岡代表の日本に對する最終放送は來る二十日午後十一時（滿洲時間二十一日午前六時）と決定目下松岡代表自身で電報整理中であるが、同放送においてこれまで交涉の前途に影響を與ふべきを考慮して深くいふ事を遠慮してゐた事柄をも全部曝け出して、國民の前に赤裸々なる聯盟と日本の對立の姿を示し、日本國民が飽々結束を固くし滿洲國發展の事實によつてのみ聯盟の誤謬を反省さすべき事を強調し臥薪嘗膽努力に邁進の覺悟を熱望せんとするものである

松岡代表の放送內容 あす午前六時

【ジュネーヴ十八日發】松岡代表は來る二十日午後十一時一分（滿洲時間二十一日午前六時一分）より午後十一時三十分まで二十九分間母國に對し恐らく最後放送を行ふことゝなつた、放送演說要旨左の如し

一、聯盟における日支紛爭事件審議の從來の經過大要

二、現在日本と聯盟とが如何なる關係にあるか

三、この際日本が聯盟脫退斷行すべきか、但し之に先立ち代表部引揚げを行ふかは冷靜な考慮を要するが、國民の覺悟さへ極まつてをれば何ものも恐れるに當らない、代表部としては政府の訓令を待ち冷靜に善處せんとするものである

尙東京放送局からは總會の終幕に際し今一度放送して貰ひたいとの依頼あり、松岡代表は目下考慮中である

聯盟脫退問題と兩紙論評

【東京十八日發】本日の東京日日新聞はその社說に於て「聯盟に止るは不利益」と題し左の如く論じてゐる

聯盟殘留論者は我國が聯盟に在れば國際的機構の一員として世界的孤立を免れることが出來る今後も充分意見の發表をなす機會があると說いてゐる、併しながら孤立は既に現在聯盟內に在つて具現せる事實である、今日まで聯盟內の一國でも我國の爲め一票を投じたものがあるか、自ら求めざるも他より排斥されて孤立に陷りながらその團體內に止るは憫みを乞ふ怯懦な態度

武力や經濟的制裁は結局實行不可能

英、米、佛官邊の觀測一致

【東京十九日發】我が國聯盟脫退を決意し熱河討伐を開始した場合、聯盟側はこれを戰爭行爲と認め、第十六條により我國に**武力的乃至經濟的制裁を加ふ**べしと憂慮されてゐるが、外務省に達せる情報によれば**米、佛官邊においては日本に對する武力的制裁は固より經濟封鎖實行の如きは問題とならず**、萬一支那側が戰爭と認めた場合にも、之を戰爭と認むるや否やに就いては異論あるべく、戰爭と認めた國は第十六條により兵力の負擔をする國は之に對し斯かる武裝行爲こそ戰爭的行爲なりと非議すべく、到底一致の行動は望み得ない、問題は飽迄ばならぬとて第十六條適用に泛進む意思なきを表明し居り、又**イギリス官邊でも武力を伴はざる制裁の實行は平和の趣旨に反すると抽象論に行き過ぎるのを警告し居るので、第十六條適用は容易に行はれ得ず**、斯かる制裁の實行は困難視されてゐる

【註】規約第十六條第一項、第十二條、第十三條又は第十五條に依る約束を無視して戰爭に訴へたる聯盟國は他の總ての聯盟國に對し戰爭行爲を爲したるものと看做す、他の總ての聯盟國は之に對し直ちに一切の通商上又は金融上の關係を斷絕し自國民と違約國國民との一切の交通を禁じ且聯盟國たると否とを問はず他の總ての國の國民と違約國國民との一切の金融を防遏すべきことを約す

小國側依然除名力說

熱河の形勢如何で實現か

【ジュネーヴ十八日發】日本政府の對聯盟態度に關する東京よりの新聞電報は說明稍々明瞭を缺くが、聯盟筋では日本政府の脫退を示すものだと解し、アルゼンチンの先例に倣ひ代表を引揚げ、不協調の態度に出て、委任統治問題等で將來復歸の途を殘しおくのではないかと見るもの多數である、而して若し斯くするとすれば最も注目されるのは小國代表が既に唱へ出しつゝある第十六條第四項のみを適用し、日本を除名せんとする運動で、大國は右は聯盟復歸の途を塞ぐものとして反對し居るも熱河今後の形勢によつては勢ひの赴くところ實現の可能性なしとしないと見られてゐる

朝野の名士參加し國民大會を開く

二十一日日比谷にて

【東京十九日發】在鄉軍人會の全國大會と併行して二十一日午後二時日比谷公會堂で聯盟即時脫退決行を目標とする朝野を打つて一丸とする國民大會を開くことになつたが、政府からは內田外相、荒木陸相、永井拓相等各閣僚、民間からは頭山滿、德富蘇峰氏等出演して正義の叫びを擧げることゝなつた

在鄉軍人會大會 廿一日靖國神社にて

【東京十九日發】帝國在鄉軍人會では重大時局を默視出來ず、十九日午前會長鈴木大將以下陸海首腦部參集の上、軍人會の取るべき途を決定することゝなつた、その結果全國三百萬の在鄉軍人に檄して

張學良一行 自動車で熱河へ

【新京電話】十七日午前四時張學良は財政部總長宋子文、張作相など自動車三十臺に分乘して湯玉麟と會見のため熱河に向つた

の如く聯盟內の我が孤立が我對滿態度を變へぬ限り永久的だとすれば我等は何を目當として屈辱を忍んで尙聯盟內に止るの理由があるか速かに脫退に依つて我立場を闡明し強調するに如くはない

尙東京朝日は「勸告書は判決に非ず」と題して曰く

第十五條第四項に依る勸告書は紛爭が解決に至らざる場合理事會または總會が公正且つ適當と認むる勸告を當事國に與へるに過ぎないもので之を以つて國家的機關が降した判決文と考へるのは誤りである、勸告を應諾するとせざるとは一に當事國の裁量に存するものであるのみならず當事國が之に應ぜぬ場合にも聯盟は何等の強制手段に訴へるものではない、之を以つて帝國に對する侮辱なりとし或は帝國の威信を損するものなりと論するは當らない勸告は和協が不成立に終つた場合當然踏むべき手續きである、その內容が極東平和の維持に任ずる帝國政府の見解と相容れざるものあるが故に、帝國政府の所信を開陳してその蒙を啓くことが締盟國としての義務である

報告し諒解を求むべく、齋藤首相は昨夜西下靜岡驛に下車、大東館旅館に一泊したが、十九日早朝起床、午前九時靜岡驛差廻しの自動車にて興津に赴き、坐漁莊に園公を訪問、午前九時より客間で目下會談中

【東京十九日發】齋藤首相は午前十一時二分興津發午後三時二十四分東京驛着の豫定である

「日支問題に對する」外紙の論評

紐育ヘラルドトリビユーン

聯盟が熱河攻擊中止を求むるは即ち右攻擊の即時開始を促すことになる、日本軍部は山海關事件に對し一般民衆の比較的冷靜なるを見るや、國論を刺戟するためアメリカが日本の太平洋委任統治を詮議してゐる事實を種にし、現に海軍「スポークスマン」は新聞記者に對し日本は世界が何といふも委任諸島を保有するし、又日本海軍はアメリカとの意見相違ある際も之を解決するの用意ありと言明したかくの如き態度は直に日本の反動的態度の重大意味を諒解し得る、

日本は一步退いて和協を計り、一年前の如く世界の輿論に反響を與へんと努力したが、この目的の爲には十九國委員會は少しも寄與せぬ、松岡全權は從前の早熟な要求を時流に照し讓步した、この喜ぶべき事に委員會は何等反應を見せざるため日本に反動的氣分を惹起した、日本は一應和協に盡力したから此點有利な立場にある、東洋平和のためアメリカの言論が注意して日本海軍を刺戟するやうな愚をなしてはいかぬ

モニター

最近論議されるアジアモンロー主義を日本人は同地方における排他的警察權と解するがアメリカのモンロー主義はルーベン・クラーク大使の報告せる如く元來「アメリカ」對「ラテンアメリカ」の問題でなく「アメリカ」對歐洲の問題に關するものだ、アメリカは嘗て同主義により中米地方に警察權を行使したが、平和組織の確立せる今日日本がアメリカの過去の政策を履行するは間違つてゐる、現にアメリカは「ニガラガ」より撤兵した、日本も之に倣ふべきである

イヴニング・ポスト

十九國委員會の滿洲國不承認政策はアメリカの希望を達しくれ、併せてアメリカ獨り日本非難の急先鋒でない事を立證した、滿洲國承認不承認は國際法上議論あるべきも萬一滿洲國の如き領土の變更を認むれば不戰條約は空文に終る

紐育サン

十九國委員會の滿洲國不承認若しくは不協調の勸告はアメリカの政策を裏書せるもの、又露支國交恢復は日本の一痛事だ、最近滿洲國外交部發表の建國宣言によれば、德と仁を基礎とする王道政治を行はんとする由、之を以て世界の承認を得されば如何なる宣傳文字も其目的を達し得ぬ筈

紐育タイムス

聯盟における滿洲問題に關し、十日國務長官は該問題を聯盟が處理しゐる間は之を論議する事が出來ない、且聯盟からも相談を受けてゐないと語り、次いでジュネーヴにおけるイギリスの態度は米政府において約六週間前に漸次變化の途をたどれる事判明したが今回議府でイギリスの強硬論は右の變化

タン

若し勸告案が採擇されゝば愈々聯盟と日本が離反するし、日本は脫退して自由を得るが、政治的經濟的に全然孤立に陷るの不利がある、他方大國が日本を失ふは、米露が聯盟外に在るに鑑み、聯盟の世界性に對する一大打擊だ

中島商相の自重論

三相歷訪懇談

駒井參議動靜

胡北寒し

滿蒙の戰慄（219）

直木三十五作　淺枝次朗畫

義勇軍團再建事件後報

滿洲國軍警らの切崩しを策す

連絡を探つてゐた匪賊

張學良が東邊道一帶を根據として永久的抗日を策し義勇軍團再建の計畫を繞らし本溪湖の李春潤らをして在滿匪賊と氣脈を通じ連絡をさつて暗躍してゐた事實は本紙號外所報の通りであるが此等匪賊の主なるものを掲ぐれば

1、陶景文　今回逮捕せられた陶世臣の兄で元李春潤の衞隊長であつたが、目下鳳城縣下第六區附近に蟠居し部下約四百名を持つて居る匪首で既に密使を北平李春潤の許に派して連絡を採り李の入滿後は再び義勇軍に合流すべく默契がある

2、王堂、朱荊山　王堂は部下約二百名を有し目下本溪縣第五區に蟠居する匪首で東邊道討伐前は李の片腕たる劉克儉の營長であつた李の再擧計畫については早くから劉克儉と密使を交換して最も力を入れて居り、今回逮捕した多數の者は先づ王堂の許に赴くこととなつてゐた、朱荊山も現在王堂と行動を共にしてゐる匪首である

3、何明哉（何司令）　鳳城縣第三區地方に蟠居する義勇軍で目下部下約二百名あり

4、李子榮、王少伯　李子榮は李春潤の實弟で三角地帶討伐に當り敗走し目下王少伯と共に腹心の部下約二百名を伴ひ鳳城縣下を轉々と逃げ廻つて居る有名な匪首である

5、姜潤三、金雨三、呂珍　何れも李子榮の舊部下で副官又は營長を勤め目下新賓縣灣甸子に蟠居し李春潤の再擧に關しては密接な連絡を保ち居り今回同軍の獨立總隊長として任命せられたものである

右の外元匪首であつたが既に滿洲國に歸順し東邊各地の自衞團長となり居る者（特に名を秘す）等も李春潤の入滿後は背反して義勇軍に呼應すべく連絡濟のもの多數あり且つ李春潤は現滿洲國軍隊を背反せしむべく反間苦肉の策を廻らして居る逮捕した孫耀祖外數名の如きも入滿後現滿洲國某警備司令同某旅長及び某々縣警務局長等に義勇軍加入を勸誘すべき重大使命を帶びてゐることが發覺した、この滿洲國軍警の切崩策は李春潤一個人の策ではなく、義勇軍再組織を計畫した時既に張學良からあらゆる好餌を以て滿洲國官吏殊に軍隊警察の首領を背反せしむべく特命を受けた事實が判明した

信用失墜の唐聚五

遼西方面で策動

昨年四月通化を中心に僞政府を組織し、東邊道一帶に青天白日旗を掲げて、反滿抗日運動を續け昨秋皇軍の討伐に遭ひ敗走し爾來不明であつた唐聚五の消息は今回李春潤一味の檢擧によつて次の如く判明した

唐は義勇軍三千名を率ゐて通化に蟠居中であつたが、昨年十月十四日頃皇軍の爲め包圍せられ抗戰の結果、約一千名は歸順した爲、唐は殘軍を連れて撫松縣に移動したが、十月末頃又もや討伐されて更に千數百名の歸順者を出し、最後に彼の手許に殘つたのは約三百の少數となり、士氣全く沮喪し、加之彈藥補給の途も絶えた爲唐はこの三百の部下を放置して十一月中頃變裝しスッカリ變裝して從者一名を伴ひ撫松縣から海海線に出で、山海關經由北平に遁入し西四牌樓羊闌胡同に小家屋を借り受けて居住し、東北義勇軍總指揮朱慶瀾に縋り再擧を謀らんとしたが、朱は唐が數萬の部下を有しながら一溜りもなく慘敗したのを痛く憤慨し、義勇軍總指揮として張學良に會はす顏なしとて唐を難詰し、容易に援助を承諾しなかつたが、唐は熱河方面に約二百名の部下あり之を基幹として相當有力な部隊の編成可能なる故を說き、十二月末漸く武器彈藥の支給を受け之をトラックで熱河へ運搬し爾來東邊道に於ける恥辱を雪ぐべく遼西方面で策動中である、然るに其後朱慶瀾の調査によつて唐が東邊道蟠居中救國會から送付された軍費十數萬元も大半は着服し、麾下各司令には彼の濫發した流通券のみを支給して居たとの嫌疑あり、更に彼は流通券を濫發して住民の現大洋を取上げ、爲めに地方は疲弊し住民より怨まれて居ることが判明したので、朱慶瀾も立腹して本年一月二十日頃唐に對し二週間以內に部隊を編成して抗日活動を起さざれば支給した武器を回收すべしとの嚴命を下したので唐は極力活動中とのことである、斯くの如く唐聚五は朱慶瀾の感情を害したのみならず、東邊道の住民に對し彼の信用失墜した爲め、今回李春潤が義勇軍を再組織するに當つても、舊來の關係から表面軍團長に推して居るに過ぎず、實權は李春潤が掌握して居る

近來無き痛快事　今後も嚴重警戒

水谷關東廳高等課長語る

最近張學良が長期抗日方策を決定して以來一層盛に便衣隊を入滿せしめ、反滿抗日宣傳や義勇軍を使嗾して後方攪亂に力を入れて居るといふ情報が頻々とあつたので、關東廳としても一層警戒を嚴重にする爲め一月中旬各警察署に對し特別通牒を發して之に對する注意を喚起して居た處、案の如く遂に李春潤一味が張學良の密令に基く朱慶瀾の命を承け東邊道を荒した僞義勇軍の先北平に於て再組織した義勇軍の發隊員二名を本月一日本溪湖警察署に於て檢擧し、一味が引續き大連に上陸する形勢ありとて、指揮を仰いで來たので、卽刻被檢擧者を大連に連行して警戒網を張るべく命令したのである、斯くて芋蔓式に二月十日迄に本溪湖で四名、大連水上署で十六名、合計二十名の幹部を檢擧して、彼等の出鼻を挫いた事は關東廳警察として近來の一大痛快事である、これ全く廳下の全警察官諸君が日頃一致協力酷寒を厭はず不眠不休活動された結果の表現で、此點誠に感謝に堪へぬ、殊に今回の本溪湖署古元刑事が汽車から降りて人目を忍ぶ支那人の態度を怪しいと睨んだ第六感と水上署員の緊張せる寢食を忘れての努力に對しては滿腔の敬意を表する次第である、今回取調の狀況を綜合して見ると僞義勇軍組織の內幕が如何に大々的なものか又如何に根強いものかといふことが判然として今更驚くの外はない、尙總指揮官たる李春潤も近く殘黨を從へ多數の武器彈藥を數隻の戎克に積込んで警備の手薄な地方に上陸する計畫が明らかとなつたので日滿官憲と協力して海陸兩方面の警戒に萬遺憾なき手配をして居るが、彼等の一部は既に入滿して居る次第でもあるから當分少しも警戒の手を緩めることは出來ない

署員諸君の活動に感謝

三澤水上署長談

實際に連絡を取つて委任狀を持つて來る奴は却々見つけられない、最初本溪湖において端緒を得てから本溪湖署員と本署員とが協力して當つたわけです、本署のこの事件に當つた諸君は十日間といふもの不眠不休で働いてくれましたが全く感謝してゐます、檢擧一段落をつげてつくづく思ひましたが、彼等の潛入は實に巧妙なもので委任狀なんかはちつとやそこらの身體檢査では却々發見できません、もしもこれが發見出來なかつたら東邊道か三角地帶で大擾亂を起されるところでした（寫眞は三澤署長）

妻は斷然離別

葬儀にも參列せぬ

名譽も地位も葬られた……と　櫻內辰郎氏語る

【東京十九日發】櫻內本子孃の死は辰郎夫人明枝さんより「辰郎亂倫の犧牲なり」と放送され一時世間は明枝本子に同情を持たれたが昨日下關に於て發表した辰郎氏の聲明書めいた談話及び明枝夫人の身邊を繞る行跡等により本子孃の死は父辰郎氏の亂倫の結果によるより寧ろ母明枝夫人の行跡による事多き事ボツボツ確められて來た即ち明枝夫人には品川區南品川東京人絹株式會社々員で昭和四年慶應經濟部を卒業せる町田三七男（三〇）なる青年があり頻繁に櫻內家に出入明枝夫人と懇意を重ねた二人の關係に就いては辰郎氏も感付いてをり辰郎、明枝との間には屢々口論が交された事あり本子孃の自殺も町田と明枝夫人の關係を苦にしての事ではないかとされてゐる尙辰郎氏が下關に於いて家庭の醜狀を曝け出し自分のみを庇はんとした陋劣なる心情に就いても指彈されてゐるが辰郎氏は東上の途中妻の爲一身の名譽も地位も葬られるに到つたので妻は斷然離別し又本子の葬儀にも參列せぬと語つてゐる

藝妓太郎、門司で行方をくらます

人目がうるさいとて

【廣島十八日發】下關水陸兩署に今日午後小原菊子（二三）なる女性の搜查願を出した一紳士があつた右は父の亂行を諫め毒を呷いで逝いた問題の本子さんの父櫻內辰郎氏で菊子とは悲劇を繞る女、赤坂の元藝妓太郎で今朝船が門司に寄港するや辰郎氏は記者團に包圍され太郎も注視の的となつてゐたが、事件の全貌を知つた太郎は居たゝまらず、下船行方を晦ましたので自殺されてはと保護願を出したもので、當局でも各署に手配中、午後五時糸崎より

新聞記者や、うるさい人目を避けるため九時下關發三等車で歸京す新橋驛で待つ

との電報が届けられたので同氏もホッとした、氏は語る

妻の亂行に自分も少し自暴氣味となり、數年前から菊子と交涉を續けてゐる、本子の死も僕より却つて母の亂行に起因すると思ふ、葬式は兄に委せてあるが勿論自分も列席するつもりである

滿洲國々歌發表

【新京電話】既報鄭國務總理が自ら筆を執り心血を注いで作詩に沒頭、過日脫稿大連音樂學校長園山民平氏の手により作曲中であつた滿洲國々歌は十九日作曲も出來上つたので發表を見た

父の歸りを待つ櫻內氏邸

辰郎氏は歸宅せず　夫人は奧の一室へ

【東京十九日發】父歸る！その日の高輪車町四四の櫻內辰郎氏邸は早春の明るい陽に包まれて姉の死も父母の葛藤も知らぬやうな四男眞久君（九）四女芳子さん（七）が無邪氣に部屋中を逃げ廻つて、朝早くから父の歸宅を待ちわびてゐたが、午前八時半東京驛着の期待は裏切られ辰郎氏からは「歸宅遲れる」この電報が來たきりで何處かへ途中下車して仕舞つたらしい謎を殘して死んだ本子孃の遺骸は二階八疊の間に白布に掩はれて安置され白百合の香の中に安らかな眠りを續けてゐるが此の死の悲劇のヒロインと見られる明枝夫人は奧の一間に閉ぢ籠つたきり固く面會を避けてゐる、門から玄關までの左右は親友達が送つた花環花束が處狹く列べられ噂好みの近隣の人々が足を止めて覗き込んで行く、本子孃の告別式は二十一日午後三時から四時まで麻布鳥居坂日本メソヂスト麻布教會で行はれる

鄭桂林遂に退却

民團軍の夜襲を受け

【新京電話】省境を越え熱河より奉天省內に侵入し來れる鄭桂林軍の一部約二千は大房身、綏中北方附近において同地方の滿洲國人より成る民團軍のため十二日より十四日に亘り數度の夜襲を受け其の銳鋒に抗し難く大損害を蒙り遂に熱河省境を退却せり

劉不開の匪賊擊退さる

【安東電話】當地某地關に達した報告に依ればかれて撫松縣城を占據すべく準備しつゝあつた匪首劉不開の部下約三百は去る十五日同縣城を總攻擊して一旦占領したが同地警備官兵の奮鬪に依り交戰二時間の後悉く之を擊退した

拐帶犯潛入

大連署搜查中

東京日本橋區兜町四貴美山大造かた店員福島縣人鈴木秋夫（二九）は主……金一千八百圓および大連振出しの小切手額面二千五百六十七圓を拐帶密かに大連へ入り込んだ形跡あり被害者の電報手配により目下大連警察署に於て嚴重搜查中

開かれた登龍門に

受驗者殺到

百名採用に三百五十八名　滿鐵社員採用試驗

滿鐵の中等學校出身者の登龍門たる滿鐵の採用試驗は豫定のごとく十九日の午前中に滿鐵社員俱樂部で行はれた、朝來、淡雪ふる俱樂部の冬枯木立の庭前に集まつた受驗生は三百五十八人、昨年の卒業生らしいオーバーに中折の濁西なのもちらほら見えるが、大部分は今春卒業する中學生や、職業生で黑い制服の外套が群がつたところは、何のことはない

鳥の大群

だ、八時二十分、協和會館に一同集まると古賀人事課長代理は壇上に立つて……今年も志望者が非常に多いので御氣の毒ですが多數の諸君を御斷りせねばなりません、しかし諸君は皆前途有望の青年で百萬金にも代へ難い人たちです決して今度の試驗にはれられたからとて悲觀することはなく、益々勇氣を揮つて運命を開拓して下さい

と九州辯で諄々と熱辯を揮ひ若い受驗者をシンミリさせた、それから一同

受驗場に

あてられた俱樂部大食堂に入り、九時十分からいよいよ試驗開始だ、まづ適性試驗で一題二分づゝ七題出る、いづれも審査役能率班で苦心した問題で蛇が出るか鬼が出るかわからぬので緊張したものである、終つて自由作文「日本と滿洲の關係について」三十分、それから十五名の試驗委員が手別けして願書に貼りつけた寫眞と

實物とを

照らし合せて首實檢をやつたが不正受驗者一名もなく午前十一時半滞りなく終了した因に當日の受驗者內譯は

▲中學　滿洲一二七、內地一〇二▲商業　滿洲四一、內地四三▲農業一八▲工業二五▲鐵道學校一

この內採用になるのは事務系統約百名の見込（技術屋は內地が主なので全然不明）で約三分の一の激しい競爭である（寫眞は緊張した試驗場）

灤州一帶雜軍

民家で掠奪行

【天津九日發】唐山から入津した某華商の語る處によると、北寧沿線駐屯の支那兵は防寒服や兵舍の防寒設備糧食の給與粗惡の不平から軍紀の紊亂のため商店を襲つて掠奪し民家の家財を徵發して暴行を恣にして居るため唐山灤州一帶は被害甚だしく殊に齋臺附近は最も甚だしく民衆の避難者は群を爲して安全地帶に避難して居ると云ふ事である

鮮農副業品評獎勵會

【奉天電話】東亞勸業の農場吳家屯において十八日午前十一時から鮮農副業品評獎勵會を開催し、吳副領事、民會理事等の參觀あり東亞勸業では優秀者にたいし賞を與へた

東洋平和のため大演說會を開催

大連雜誌記者協會が

聯盟の空氣は遂に險惡化して我帝國は世界的孤立の立場に陷らんとしてゐる、この時に當り帝國の面目發揚と東洋和平のため大連雜誌記者協會では十九日正午から大連劇場に於て非常時大演說會を開催した、この日雪模樣の空寒く風さへあるに愛國の市民は會場目がけてドシドシ押し寄せ定刻前既に滿員の盛況を呈し入場出來ず止むなく引き返す者も少くなかつた定刻米倉幹氏拍手裡に迎へられて登壇一場の挨拶を爲し次いで

一、日滿人の自力更生と大東洋結盟　一由由一郎
一、當然の歸結　脇屋次郎
一、聯盟脫退と精神武裝　西川國一
一、所感　永井四郎
一、關東州防空施設の充實を計れ　小澤太兵衛
一、生命の前に法律なし　大塚新藏
一、非常時と國民の覺悟　小川順之助
一、亞細亞に還れ　小野實雄
一、脫退後に來る可き內外情勢　寶性確成
一、脫退後の覺悟　高田友吉
一、非常時に非常手段を　森宣次郎
一、亞米利加の帝國主義と時局　伊藤時雄
一、非常時に吾人の覺悟　辻慶太郎
一、未定　田所耕耘

等交々立つて擧國一致と非常時國民の覺悟を絕叫し左記決議を爲し內閣總理大臣以下各大臣、貴衆兩院議員、關東軍司令官に打電したが鈴木政友會總裁、內田良平氏、滿洲國謝外交總長其他より激勵電あり非常に盛會であつた

建築旺盛で煉瓦拂底

旅順で製造

新國都新京方面の新築激增、奉天方面の新築熱亦盛んなる爲め煉瓦の拂底を來し今や全滿的に拂底を瓦さへ全く絕無となつた爲め旅順市にても本年は近く市廳舍、映畫館を始め其他諸建築工事に對し多大の支障を來しつゝあるので市の建築委員は來る二十日會合の上市廳舍使用の煉瓦製造を刑務所へ依賴すべく打合せを行ふ由

學校や寺廟の田畑を國有に

【奉天電話】滿洲國政府としては全滿の教育體系の確立と省、縣、市の各學校の管轄統制により府、縣、市の學校豫算範圍が決定した曉は現在學校經營のもとにある學校の所有學田は一切國家にこれを回收する方針であるが、寺廟の田畑も亦同樣にこれを國家の財產とする意向で目下學田、寺廟の調査に着手してゐるが、全滿的には相當の面積に達すると

山田耕作夫妻露西亞へ

【敦賀十九日發】天草丸は昨日午後二時ウラジオストツク向け出帆したが船中には歸國するロシア大使トロヤノフスキー夫妻、音樂演奏にロシアに行く山田耕作夫妻があつた

新たばこ賣出

【東京十八日發】大藏省專賣局は現在榮卷たばことして小形の大衆向き安煙草セニヨリタスを製造販賣中なるが今度新時代の趣味嗜好に應ずるため品質形式包裝等に工風を凝し小形榮卷たばこバコマを賣り出すこととなつた

天氣予報

二十日　北西の風（曇）驟雪模樣

各地溫度　十九日午前十一時

大連零下三　營口零下五　旅順〇　奉天同一〇　新義州零下七　新京同一〇

卓球選手權大會

青年會で午前中成績

本社後援滿洲卓球協會主催の全滿洲團體卓球選手權大會は十九日午前九時より大連敷島町基督教青年會館屋內體育場に於いて全滿洲の精銳八チーム參加（大商は棄權）の下に開催したが一流選手を網羅した全滿洲選手權大會のことゝて熱球飛び場內を埋める觀衆援戰に固唾を呑む遠來の全鞍山、大接戰の末南滿電氣に辛勝し又優勝候補の撫順俱樂部大商の棄權に一勝して全鞍山は強豪河田を擁するヤマト俱樂部に撫順俱樂部は老功吉丸兄を大將とする中央試驗所とそれぞれ準優勝戰において相見ゆることゝなり午後よりの接戰期待され觀衆續々と來場す午前中の戰績左の如し

第一回戰

▲全鞍山11—10南滿電氣
大谷1—3岩崎〇
黑澤1—3橫尾〇
〇坂井3—1赤崎
〇大久保3—2林
〇小枝3—1榮山

▲ヤマト俱樂部11—7滿鐵用度
〇相島3—2鮫島
〇河田3—0小川
櫻井2—3菱川〇
〇片島3—2山路
〇上田（不戰勝）田崎

▲撫順俱樂部（棄權）大連商業

▲中央試驗所11—9南滿瓦斯
〇吉丸兄3—2加藤
吉丸弟1—3土肥〇
中村1—3越山〇
〇栗山3—0水村
〇井上3—0丸田

國難日本刀（248）

高桑義生作　京極佳夕畫

曙の勇士（三）

ホールの手から放たれた甲斐もなく、お加代は、あれからすぐに彼女のあさをつけた傳次の手に捕へられて、この役宅の一室に、監禁され、むざんな拷問に責められた。

まもなく、傳次はお加代を伴つた。

美しい者は傷みやすい。お加代は目立つてやつれを見せた。が、いつ如何なる時も取亂さない彼女である。澄み切つた顔は、純白な花のやうに、明眸はあきらめを宿してゐる。手錠をはめられて、さすがに繩だけはかけられなかつた。

淡路守は醉眼を見開いて、お加代を見詰めた。なやめる彼女の美しさを、今ほど強く感じたことがない。ホールのものときめられた間、そして一個の罪人としてのみ見てゐた間、その美しさも、格別心をひかなかつた。が、今、奉行の職をうしなひ、逆境に立つて、しかも四面楚歌の聲のなかに、一個の人間として、赤裸々になつてお加代の姿を見詰めた時、彼は自分でも思ひがけない、はげしい情感を掻き立てられたのだつた。

「お加代……」

と彼はいつた。答へはない。

淡路守もそれだけで口をつぐんだ。

あわたゞしく、さいぜんの下役が驅込んで來た。棒を抱へてゐた。

淡路守は血相を變へて、

「何事ぢや？」

「奉行ッ……」

と聲をはずませた。

「何をした？」

「大事でございます。暴民の數は、刻々に増すばかり、邸内に亂入いたしましてございます」

「腑甲斐ない奴等、たかが暴民、追ひ拂へぬとは何たる事か」

「申譯もございませぬが、何を申すも、多數の人間、如何とも手の下しやうなく……」

「奉行所へ知らせたか？」

「はツ、すぐに火急を告げましたが……ともかく、斯うしておいでになつては、危險でございます。早々裏道づたひにお立退きなさいますやう、その間、手前ども一同暴民どもを防いで居ります」

意外だつた。夢にも思ひがけぬ事だつた。今の世に、こんな事が有り得るのか？　あたかもその昔の敗軍の將の境遇におかれた自分を、淡路守は感じた。瞬間、茫然とした。ばか〳〵しさ、いま〳〵しさ——この心、この躰の遣場がなかつた。

さきの聲ばかりではない、淡路守を罵る聲まで、手に取る如く聞えるのだつた。

「一時も早く、お立退きのほどを……」

と、再び促した。

「小金井氏……」

と淡路守は、傳次の顔を見た。

「是非もありませぬ。早々立退くほかございますまい」

「かム、事務は濟んだ。整理は終つた。驕たけぢや。まことに心外に堪へぬが、是非もない。其方たち、かならず役目を首尾よく仕終ぜよ」

「かしこまりました」

下役は走り去つた。

「連れて參るのぢや」

お加代を指すのだ。手ばなすことが出來ない。

「承知でございます」

まもなく、——

淡路守とお加代を連れた傳次が、非常門から、裏山の間道に走つた時、今し方まで彼等のゐた部屋に闖入したのは、だてんの瑠吉だつた。

彼の手は、血潮のしたゝる刀をさげてゐた。彼はお加代の名を呼んだ。

キネマと演藝

生さぬ仲　松竹蒲田作品　中央映畫館上映

柳川春葉の「生さぬ仲」を野田高梧の脚色でモダンな衣裳をきせて蒲田カラーで仕上げた新派悲劇である

キャストは奈良眞養の俊策に筑波雪子の眞砂子と岡田靜江の珠江を配し、娘滋子は小島壽子、母親は葛城文子、それに岡讓二の日下部、結城一郎の慶次である

……◇……

そして脚色で眞砂子を聖林から歸朝させたり、日下部を滿洲から歸らせたりして巧に現代色で塗りつぶし、その他ペリカンの瀬のヨタ者を活かしたり、近所の子供に突貫小僧を使つたりして却々拔け目がない。

テーマは相變らず生さぬ仲で、大衆を泣かさうといふ意圖は原作の強味で間違ひなくカッチリと纒つたモダン新派悲劇をスクリーンに描いてゐる、監督は成瀬巳喜男、カメラは猪飼助太郎である

うわさ話

伏見直江が大河内の勸誘で日活に復歸せなかつたら▲今度の「叫ぶアジア」の藤原義江の相手女優に内定してゐたと豫想外のニユースが映畫人座談會で發表された▲このロケー隊には近く島耕二らが加はり一行約二十名になる豫定で撮影は約三週間の日程で全發聲九千尺十卷物の豫定▲滿鐵の後援を得て先驅列車や機關車脫線などのシーンが織込まれる▲藤原義江は若く貧しき音樂家で非常時に直面して機關士になつて殉職するのださいふから愉快である▲日活館は來る廿三日から愈々春の映畫陣のスタートを切るが▲第一週は「煩悩秘文書」前篇とルビッチの「極東特急」、第二週は「煩悩秘文書」後篇とバンクロフトの「歡呼の涯」と決定

本社特選　新棋戰（其二）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は三六歩迄の局面】土居氏持駒ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香	桂	銀		王	金		桂	香
二		飛					銀		
三	歩	歩	歩	歩		金	歩	角	歩
四					歩	歩	歩		
五								歩	
六					歩	歩	歩		
七	歩	歩	歩	歩	銀				歩
八							金	飛	
九	香	桂	銀	金	玉			桂	香

▲八四歩　△六八玉
▲八五歩　△七八玉
▲六二銀　△三七金
▲四二角　△六六歩
▲六四歩　△二六金
▲三三銀　△三五歩
▲同　歩　△同　金

【土居八段講評】上手六六歩は直に二六金と上ると敵に六四角とのぞかれ飛車の小ビンを威嚇さるゝ懼れある故、譜の如く六六歩と指したのであつて若し敵六四歩と受けなければ、機會を圖つて六五歩と突き出し位を取る心算である。

【萩原六段解說】志澤氏の八四歩で八五歩は當然の攻め順で土居八段の六八玉、七八玉は敵の八筋の攻めに對する之又當然の手である、續いて三七金は縦線に繰り出して敵よりの攻を牽制せんとする意味を含んでゐる、志澤氏の四二角は次に三三銀と上り所謂櫓圍ひの順である、續いて六四歩は七四歩と指す順もあるが敵に六五歩と指されては位負けになり變化が難くなるので六四歩と穩かに受けたのである、土居八段の三五歩は手順に三六金の形に直し攻防に十分に活用せんとするのである

滿洲日報
（昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可）

勸告案實行不可能を聯盟側へ文書で通告
總會で採擇成立の直後

【東京十九日發】勸告案は大體廿五日の總會において日本を除く大多數で一擧採擇せんとする事は、最早や不可避となつた、依つて外務省は既に之が對策として陳述書の作成、松岡代表の演説草案脱稿を急ぎつゝあるが、帝國政府は右と切離して勸告案が聯盟總會で採擇成立直後、直に文書で右勸告案は實行不可能なる旨を聯盟側へ通告するに決した、なほ脱退通告は松岡代表の歸朝復命を俟つて、その時期方法を考慮する筈である

總會無休續行論有力
代表部陳述書起草を急ぐ

【ジュネーヴ十八日發】聯盟總會順序はイーマンス議長とドラモンド總長とが月曜（二十日）午前會見して確定するが、我陳述書は總會終了後提出するも差支へないとの解釋から、事務局方面は火曜日開會後、休みを入れず水曜日（二十二日）と木曜日（二十三日）會議續行説が有力化した、政府の訓令にまだ接せぬ我代表部は右情報に接するや直に松岡代表の演説と陳述書の起草を急ぐこととする一方、根本的基礎となるべき政府訓令をなるべく早く得る必要があるので今日政府に通告したが、陳述書は一般の注意を惹くためでも總會最終日迄に提出するを有利と解さる

脱退後の我外交政策
極東モンロー主義へ邁進

【東京十九日發】内田外相は既に聯盟が勸告附報告書によりわが國の滿洲國正式承認の既成事實に龜裂を生ぜしめんと敢てしてゐる以上わが政府としても昨秋御裁可を仰ぎ**日滿議定書を調印せる責任を全うし**、**わが國策の確乎たる權威を保持**するがためには斷じて之を默過すべからず、一路聯盟脱退の決意を以て之に對抗するのみとの強き主張を持し、十七日以來の閣議においても職を賭するの牢固なる決意を以て之を反覆力説し來つたが、園公の意を體し歸來する齋藤首相を迎へ二十日緊急臨時閣議において極力之を主張すべく、内田外相は必ずその正論が貫徹するといふ深き信念を表明してゐる、**脱退後の外交政策**は内田外相も愼重考究を重ねて來たが、脱退通告と同時に從來の聯盟中心の抽象的國際協調政策を急轉回して**英、米、佛、伊、露各國に對する實質的、個別的協調主義を以て各國との外交關係を調整**すると共に、極東政局に對しては日支滿**三國間の極東ロカルノ安全保障協定を目ざして極東モンロー主義の確立に邁進**すべき大方針を決定し、既にこの方針を基調とし玆數年の過渡期的政局をリードするの用意あるを示し軍當局と緊密な提携の下に着々たる態度を固守してゐる

聯盟、熱河問題を懸念
總會で認識不足論沸騰か

【ジュネーヴ十八日發】聯盟における日支紛爭事件の審議は息づまる緊張裡に今や最後の大詰めに近づいたが、現下の事態に於て、聯盟は殆どヒステリー的に熱河の情勢を氣に病み最終總會でも熱河問題が重大論議の焦點となるものと見られる、聯盟は熱河が滿洲國の不可分の一部であり、日滿議定書の明文に基き日本軍が滿洲國軍と協力して滿洲の治安を攪亂する學良軍を討伐する義務を有する事實

羅津港開港に伴ふ内地の新連絡鐵道
仙波代議士の質問に對して
三土鐵相言質を與ふ

【東京特信】過日衆議院鐵道敷設法中改正法律案委員會の席上、大連出身の仙波久良代議士は來る四月營業を開始の羅津を終點とする鐵道と連絡する内地の鐵道の不備を指摘し、木の本、關ケ原間の新線路建設の必要を力説して、三土鐵相より有力なる言質を得た、當日の速記錄を次に掲げる。

仙波代議士

仙波久良君 私は大臣に御尋ね申上げたいと思ひますが、嚢に昭和四年田中内閣の時に、木ノ本關ケ原間の鐵道が、既に豫算も決定されたのであります、然るに昭和六年度に於て、濱口内閣の五十九議會の時に、之が削除されたのであります、本鐵道の使命は、申す迄もなく地方産業開發は固よりでありますが、恐らく國防上、即ち鐵道國策の上から見ましても東海道即ち太平洋沿岸と日本海とを結びつける所の最も重要なる線路であつたと思はれるのでありますが、それが恰も何か黨派的の關係の如く思はれて、さうして之が削除されたことは遺憾の極みでありますが、其後何等の御提案がない今や滿洲國と日本といふものは離るべからざる關係を有つて居るのでありまして、而も滿洲と日本の經濟を一「ブロック」に置く、或は産業を統制する上におきましても、北滿の貨物が終端港たる淸津及び雄基、近くは羅津の港が完成された曉におきましては、日本海に有する唯一の國際港は、敦賀と密接なる關係を有することは申す迄もないことであるのであります、其場合におきましても、此方の方面においてこの用意がない、即ち現在におきましても、日本の商工業の中心、阪神を中心とする處の貨物が北滿に行くものは多くは大連を經由して行くのでありますが、恐らく將來におきましては、此貨物は敦賀を經て、更にハルビンの方面に……は、到底此貨物を運び切れないと思ふのであります、然るになほ東海道、即ち中京を中心としました靜岡以西の貨物が更に北滿に進出し、又北滿の貨物が此中京方面に輸入されんとする場合に於て、到底此米原敦賀の線一本では之を運び切れないことは火を睹るよりも明かであります、然るに、既に昭和四年に於て國策上の關係上、豫算まで通過されて居る木ノ本關ケ原の鐵道を打棄て置かれて居るといふことは、洵に遺憾の極みと思……

三土鐵相

三土國務大臣 關ケ原木本間は元計畫したものを一度削除になつて居るのでありまするが、丁度米原の三角形の頂點として、三角形の二邊と一邊といふ關係に……であります

けふ緊急閣議
最後的決意對策を協議

【東京十九日發】政府は二十日午前九時半より首相官邸に緊急臨時閣議を招集し、齋藤首相より聯盟對策に關し園公訪問の結果を報告すると共に

一、來る二十五日總會において松岡代表の行ふべき勸告附報告書に對する反對演説内容

一、規約第十五條第五項に基き提出すべき帝國政府陳述書骨子

一、勸告附報告書の採擇された場合に聯盟事務總長に提出すべき拒絕の通告

に關し協議の上正式決定をなすことゝなつた、右は齋藤首相の園公訪問の結果、聯盟に對する最後的決意及び對策に關し、元老と政府との意見が全然一致せることが判明したに基くもので、政府の既定方針は益々強化せるものと觀測さる

聯盟の處置に西園寺公も大反對
二十日の閣議で更に對策協議
園公訪問の歸途　齋藤首相語る

【沼津十九日發】齋藤首相は十九日午前九時半興津坐漁莊に入り園公と十時五十分まで約一時間半會見し、聯盟最近の情勢並びに十九國委員會にて決定、二十一日總會に附議さるべき勸告案に對し、速かに緊急閣議にて協議せる政府の方針につき詳細に報告説明し、園公の諒解を求めた結果、政府の方針に對し園公も贊意を表し飽くまで既定方針に向つて一路邁進するやう激勵され、齋藤首相は玆に決意を固め十時五十分坐漁莊を辭去し十一時二分興津發列車にて歸京の途に就いた、園公と會見後歸京の車中にて齋藤首相は近頃稀に見る上機嫌で記者團を引見し左の如く語つた

本日園公との會見は今までと違つて極めて重大で、その内容は一切御話し出來ぬ、聯盟に對する政府の方針は屢々文書を以て報告してあるから、よく承知されてゐるが、直接私から話す必要があつたので訪問した譯だ、公は**聯盟創設**に關係された人で聯盟の趣旨には贊成されてゐるが、今回の案に對する聯盟の遣り方には勿論反對されてゐる、勸告案が總會に附議されゝば日本は之に絕對反對するは勿論、總會の席上わが代表のなす反對演説の内容はこれから閣議で決する、總會で堂々反對論駁した上壽府を引き揚げるかも知れぬが、引き揚げるといつても何も彼も脱退を意味するのではないもので、總會がどうなるかも決定せぬ内に、勸告案は十九國委員會で決したといつて、脱退なんて決めるべき時機でない

熱河問題については公は良く承知されてをり、何もお話はなく聯盟對策についてのみであつた、二十日閣議を開き更に協議する考へであるが、重臣會議なんて未だ考へてゐないが、閣議でも開いた後その必要が起れば考慮する、内田外相とは今日特に相談する事もないが聯盟の狀況に變化があれば訪れて來るかも知れぬ

……を全然諒解するに至らず、專ら熱河の戰鬪形勢に丈にとらはれ「數萬の兵が動くのが戰爭でなくて何だ」と幼稚な空論を弄してゐる、この問題に關し事務局有力筋の意見を叩くに「熱河の情勢を極端に懸念し、目下の實際問題は熱河の情勢だけで、若し日本が熱河攻擊を止めて呉れるなら勸告案の如きも總會で採擇したまゝ寢かして、日支問題は或る程度迄それで片がつくのだ」との見解さへ洩らしてゐる、兎に角熱河問題が無ければこれ以上聯盟との關係が惡くならないといつてゐる

米も重大視

【ワシントン十八日發】ワシントン官邊では滿洲國熱河討伐作戰軍總司令部が十八日發表した、統治權の發動に基き熱河省内の反滿分子を掃蕩する旨の聲明を極めて重大視し、之を以て滿洲國政府が學良に最後通牒を叩きつけ支那軍の熱河撤退を要求したものとして、その結果愈々熱河一帶に戰鬪が開かれるものと見てゐる

過去一切を清算し東洋平和に努力
關東軍首腦部の意見

【新京特電】我政府の聯盟脱退の決意に對し十九日關東軍首腦部では次の如く語る

日本は最初から聯盟の忠實なる一員としてその關係は頗る深いものである、それが今日脱退を考慮しなければならぬ場合に立至つたのはよく〳〵の事情があるからである、滿洲國問題について日本は既に聯盟に對しいふべきことはいひ盡し、執るべき手段は執りつくしてゐる、然るに聯盟は何時までも空理空論に囚はれて問題解決の途を益々紛糾せしめ、剰さへ最近高壓態度をもつて臨むに至つては、我々として別に考へるところがなくてはならぬ、この際脱退によつて過去一切の行がゝりを清算し、獨自の方法で問題の根本的解決を圖るのは東洋平和のため最も必要であると信ずる、隨つて聯盟脱退の是非を今更かれこれと論議するが如きは滿洲の現狀に即せざるものである

高田商議會頭赴旅

大連商工會議所會頭高田友吉氏は十八日午前十一時四十分米岡旅順市長を訪問、滿洲大博覽會開催中に於ける共助會設置並に其他に關し會談を遂げる處があつた

同の對聯盟態度聲明

【東京十九日發】國民同盟……

貴族院各派の態度も強硬
委任統治問題を警戒

進退兩難に陷り自滅近き張學良
但し、口頭では強がり

南京政府

熱河討伐と聲明可否
陸軍中央部意見

在京大公使意見交換

首相歸京後輸長、長官と協議

聯盟脱退に政友自重

日田少佐の送別會

熱河剿匪總司令部

宋子文激勵

十二個團

爲替管理法案の施行上の要目
議員質問に對し答辯

【東京特電十八日發】外國爲替管理法案は既に衆議院に於て委員附託となり、十八日より委員會が開かれることになつたが、各委員はこの管理法は廣大なる權限を包含するもので、國民にとつて重大なる影響を及ぼすものであるといふ見地から施行の範圍、順序その他につき種々の質問が出たが、大藏當局は依然としてこれが明示を避けてゐたが、大體今日の委員會に於て次の諸點が明瞭になつた

一、資本の逃避並に爲替の思惑はこれを徹底的に防ぐが、貿易の管理は間接に管理するだけに止めること

一、從來問題とされてゐる無爲替輸出は最初から取締ること

一、從來の金密輸出取締りは大藏省令を以てし、從つて取締りの徹底を期し得なかつた、例へば金塊の如きは取締り得たが一種の液體に溶解して持出す如きは取締り得なかつた、今度は第一條二項の通貨金地金、金の合金若しくは金を主たる材料とするものといふ點で嚴重に取締ることになり、大藏省令はこれを廢止する

一、第一條五項の外國爲替相場の取極條項は爲替相場の高低を規定する點であるが、これは現在すぐ實行する意思はない

一、爲替相場安定の目標は定められぬが、思惑を防ぐことによつて出來るだけ自然の相場を現出せしむる意向であるが、將來は安定點を定めることにならう

一、爲替相場は今日の二十ドル見當を動かしたくない方針であること

一、爲替の不自然な騰落は大體本法で取締れると思ふが萬一の場合には別法を設け取締ることにならう

一、將來爲替管理委員會を作るがその場合委員には金融業者のみならず產業家、一般消費者代表をも入れることを考慮すること

消組賣藥問題と關稅問題の對策
實行委員を擧げて善處
全滿藥業組合大會

【奉天電話】滿鐵消費組合の藥品賣藥取扱に對し斷乎たる反對の聲をあげた滿洲藥業組合大會は、十九日午前十時より奉天ヤマトホテルに開催された、先づ大連藥業組合友田氏より消費組合問題を提出

滿鐵消費組合の賣藥取扱ひは一般賣藥業者間の協定を破壞せしむる動因であつて、これがため一般賣藥業者は生活的根柢をおびやかされ今又消費組合の賣藥取扱ひは法的見地から見ても違反行爲である

と說明し、組合員討議の結果滿鐵消費組合の賣藥行爲の撤廢に贊成し、この實行については愼重なる取扱ひを要するとて實行委員を選擧し一任することになつた、尚ほこれに次いで松尾奉天組合長より滿洲國輸入關稅に關し提案があり

現下の滿洲國には何等信頼すべき製藥機關がなく、これがため一般藥品衛生會等は日本內地より輸入して居るが、これに對する關稅は非常に高率であつてこのまゝ放任し置くことは國民衛生の發達を阻害するものであると說明し、又小分品に對しては從價關稅を課し大量品は重量稅を以てするため大量品に對しては不當なる重稅を課する結果となつてゐる

旨を述べ、藥用赤酒を普通の種類と同視し、藥用肝油を贅澤滋養飮食物として取扱ふことの不當を高唱したが、これも同樣實行委員を選び關東軍司令部並に滿洲國政府當局に對しその改正方を請願することに決議し午後四時散會した

勞農、石油木材の對支輸出に努力
通商代表部大連支部を通じ

勞農國交恢復につれてロシアは積極的に露貨の對支進出を企圖し、石油、木材等は相當大量の輸出が行はるべく、殊に爲替關係から駐日ソウエート通商代表部の如きも大連支部を通じて沿海州木材は日本仕向より支那仕向に力を注いでゐるからこの方面にも相當發展を見るであらう、昨年の露支貿易に關しソウエート外國貿易人民委員部の最近の發表によると昨年一月より十一月に至る期間に行はれた對支輸出は二〇、七三〇千留で前年同期間に比し二、五七四千留、輸入は前年同期に比し八八七千留を減じ不成績を示した、なほ右の數字は新疆省との輸出入が大半を占めてゐるので昨年までは南支、北支方面との取引關係は極めて僅少であつた、取引品目別に見ると輸出は木材、石油、石炭が大部分を占め輸入は製茶穀類等の順序である

近く大連、奉天が意見を交換
第四回見本市二市開市說に
內地關係者は反對

【奉天電話】大連か奉天か第四回見本市開催については當事者間において折衝を重ねてゐたが、大連奉天の二市開市說に滿鐵及び商工會は贊成に傾いてゐたところ、東京大阪の兩市商工課では一ケ年二回春秋を希望し若しこれが不可能の場合は一市說を希望して來たので今回は大連又は奉天のいづれかに決定することになつた、滿洲國側としては奉天開市を熱望してゐるが近く大連と奉天の意見交換により開催地を來週中に決定する意向である

領事會議
けふ第一日

【新京電話】新京大使館において六日間に亘り行はれる全滿領事官會議の二十日第一日は午前九時半開會、栗原書記官の開會の辭に次ぎ、矢野參事官、內田外相の訓示を代讀し終つて武藤大使から訓示あり、後議案の討議に移るが會議の經過はその都度發表の筈である

尚第一日午後の會議後武藤大使は出席者全部を官邸に招待晚餐會を催すことゝなつてゐる

吉林木材界頗る活況
工事昨年の三倍

【吉林特電十九日發】最近度重なる降雪に依つて多大の活氣を呈せる當地を中心とする木材業者一般は舊正以來降雪の少き處より少からず意氣を悄沈させ空を眺めて嘆息の有樣なりしが大體本年度の木材業者は昨年度に比して中央銀行の一部伐採許可と解氷期を俟つて各所の建築增加豫想を基礎に前途益々衝天の意氣を加へ新京土建協會の發表による今春の解氷期を俟つて各界既に確定せる諸工事だけでも昨年の約三倍を超過する模樣にて各地木材業者は早くも材料の拂底を見越しこれにつれて値上りを豫想し例年なれば原產地山元を除き當地の如き中繼市場に於ても最も閑散に推移す可きであるのに本月の如きは思惑的賣買契約をなすもの多く當地を始め各原產地共場に於ても依然前月に劣らず却つて買注文又尠からず活況を呈して相場は新春の光と同樣ホクホクの景氣を見せて降雪の惠みに依りて搬出も又意の如く解氷期に迫つて各界の建築が始められると共に恐らく景氣は材木屋さんから羨望の的にある

日滿婦人協會成立
廿五日發會式擧行

【東京十九日發】日滿中央協會では日滿婦人の親善機關たらしむるため會長宮田光雄夫人を始め、溥儀執政令妹三格格、武藤大將夫人鳩山文相夫人、その他名士夫人發起となり、日滿婦人協會を組織、廿五日午後一時神田教育會館において發會式を擧げることゝなつた

オリムピックの記念品を博物館へ

【ロサンゼルス發】昨夏ロサンゼルスで開催された第十回オリムピックを永久に記念する爲にオリムピック委員會では今回オリムピック關係の遺物を總て當地のロサンゼルス博物館に寄贈することになつた、この中にはあの大スタヂアムで各國の優勝を表徵した大國旗を始め優勝メダル、參加各國旗、切符ビラ其他の記念物等が含まれてゐる【寫眞はすばらしい寄贈を受けて大喜びの博物館の整理委員エドワード・ツヘリー氏とグロリア・ヴァッドマン氏】

滿鐵增資に關する藏、拓兩相意見一致
政府は半額を出資

【東京特電十九日發】永井拓相は昨夜高橋藏相を赤坂表町の私邸に訪問、滿鐵增資問題に關し藏相と隔意なき意見の交換を行ひ、結局兩主務大臣の意向は完全に左の如く一致した

一、滿鐵の增資を八億圓(新增資三億六千萬圓)とすること

一、右增資につき政府はその半額を出資すること

一、政府は滿鐵の有する英貨公債四百萬ポンドをミントバアにおいて引受け、半額負擔に振り向けること

而して今後の手續は三月上旬開催の滿鐵臨時株主總會において定款を變更し、これが認可申請をなしたる上拓務省より結局「豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件」として議會に提案協贊を求むることゝなるべく提案期日は三月上旬の見込みである

撫順炭の內地移入高

【撫順電話】昭和七年度一月より十二月末までの撫順炭の內地移入高は、二百十萬四千六百六十九噸(但し朝鮮、臺灣、樺太方面を含む)にして七萬九千二百十四噸の增加であつたが、撫順炭移入制限協定があるとはいへ一般內地の好況が撫順炭移入に對して好影響をもたらした結果であらう、阪神地方の五十五萬六千六十六噸を筆頭に地方別に示せば左の如くである

地方	移入高
阪神地方	五五六、〇六六
京濱地方	四八九、四七四
伊勢灣地方	三三二、九三五
九州地方	一九三、四一八
瀬戸內地方	八三、七九一
北陸地方	四七、三五四
山陰地方	三八、三二四
東北地方	三、七〇一
其他	二三、一九五
鮮、臺、樺太地方	三〇九、四一一
合計	二一〇四、六六九

滿洲國に於ける土地制度の考察
(1)――方針と其實施要綱

序說

滿洲國政府は建國以來諸般施設の革新に努むると共に、滿洲における土地制度に關しては特に民政部に土地局を設置し以て土地制度の確立を急ぎつゝある、その根本方針としては支那及び滿洲を通じ古來より土地に關する傳統的觀念たる王土主義及び一般社會に行はれ來れる慣習等を尊重しこれ等滿洲における特殊事情に適應せる制度を樹立することゝし、之が具體的方策としては滿洲國全體に亘る地籍の設定を以て主眼としてゐる而して地籍設定に關しては最近漸く政府內部においてその事業計畫及び實施方法の大綱を決定せるも未だ之に關する何等法規の制定を見ない、然しその要綱を吟味するに、滿洲における土地制度の過去現在及び將來への推移の一斑を知るの上において益するところ大なるものあり、以下土地制度確立に關する滿洲國政府の方針及びその實施要綱等の概要を述べ、讀者諸君の參考の一助に供せんと思ふ

第一、土地制度の確立に關する方針

一、王土觀念を基調とする地籍の設定

「普天下王土に非ざるは莫し」との王土觀念は支那及び滿洲を通じ先王の遺訓として沿革的に繼承し來れる理想信條であつて、現實の效力があるのではないが、今尚土地に對する權利思想を支配する信條となつてゐる、王土主義に依れば土地に對する國民の權利は國民が國土の上に許された用益の範圍を限度とし、その權利の事實上土地の上に行はるべき範圍はその限られたる地上の境界に在りとされ

滿洲國政府の土地制度確立に關する方針はこの王土思想を基調とする地籍の設定に在る、所謂地籍とは國民の戶籍に於けると同樣の觀念であつて、國內一般の土地に對する權利關係を確定し、土地の境界を劃し、併せて土地の經濟等級を審定し、土地に對する國家行政の根幹を形成するものである、蓋し國家民政の源泉を戶籍に在りとすれば國家地政の淵源は悉く地籍に由るものといふべく、民を養ひ民を保護するを民政となし之を以て國家施政の要諦とするならば地籍の設定は國土を保護し國土の用益を統制し國家財政の基礎を整ひ國民經濟の源泉を保持する基調なりといふべきであらう

二、對地行政機關の設置

地籍の設定と其の整理とを行ひ併せて土地政策の遂行を期するため政府は民政部內に特に土地局を設け以て對地行政の統一を司どる機關とした

土地局の機能は(イ)地籍の設定機關たること(ロ)設定したる地籍の管理機關たると及び(ハ)土地政策に關する事項の討究並其の實行機關たることで、以上三面の機能は土地局の業務上互に相聯持して不可分關係をなし、土地局をして實質上最高の地政統轄の機關たらしめてゐる、即ち土地局の組織を表示すれば左の如し

土地局＝總務處(庶務科、地籍科)審査處(審定科、調査科)測量處(測量科、製圖科)高等地政委員會、土地局職員講習所

(註)高等地政委員會は土地政策關係事項中その重要なるものに限り、政策の透徹を期し土地局の方針を樹立する爲特定の委員を以て組織するものとす、土地局職員講習所は地籍調査事業が統制ある方針の下に一貫したる法度に順應して行ふことを絶對要件とする點に鑑み、右調査事業に從事せんとする者に對し之に必要なる智能を授くるため土地局內に附設するものとす

三、地籍設定の段階

地籍設定に關する土地局の計畫は(イ)過去及び現在における國內の土地に關する制度乃至習慣を詳細に調査檢討すること(ロ)右調査の進行に伴ひ又はその結果に基き從來の制度慣習等を政策的に檢討しその統制を圖ると共に新に樹立を要すべき政策的事項を討究すること(ハ)(イ)及(ロ)の調査の結果に基き、土地に關する法規を制定すること

の段階に分たれ、右各段階に關しては夫々之が實行に關する具體的方法を考究してゐる

滿洲國發展せば聯盟の誤解消散
日滿の協力一致が必要
蜂谷奉天總領事談

【奉天電話】蜂谷新任奉天總領事は中野副領事その他の出迎へを受け總領事館着、午後三時十五分の「はと」で新京に向つたが語る

久方振りの奉天で何だか舊知に會うて自分の故郷に歸つたやうな氣持がする

さて前途し日本が國際聯盟を脱退せねばならぬ情勢に入つたものとすればこれは日本と滿洲の實情を知らない聯盟の所謂認識不足の結果から來たものである、日本としてはかゝる不自然なる雰圍氣の內にありて何時までも辯明する必要はないかも知れぬが脱退後の日本としては或は國際間に孤立の狀態に陷るかも知れない、不愉快な時代を考へねばならんかも知れぬ、然し日本としてはあくまでも正義の下に滿洲國を安泰ならしめこの王道國家の發育により各國も滿洲に投資し自由に活動が出來るに至れば、今日の誤解は自然に雲散霧消する、而して日本國民全體が一致協力してこの東洋における日本の正義感を世界に全面的に普遍化する事が必要であり、又その覺悟をなすべき時である、恐らく日本としては聯盟を脱退するに至るであらうが總會で總ては決定するものと考へられる

と氏は領事官會議に出席し直に歸奉の上一度歸省し家族と共に來任の豫定である

添本日應報、附錄

八方相

投書歡迎　五十行以內　中傷はさらず

ラヂオ番組につき
大連放送局放送部

◇十五日の本欄に「放送番組の倦怠」と題する百村生氏のお尋ねにお答へ致します、放送番組の組合せにつきましては、常に細心の留意を致して居る譯でありますが、尚今後共一段の注意と努力を致す考へであります。

◇唯茲に御諒解を願つて置きたいことを概括的に申上げますと、當局の放送事業は御承知の如く關東廳遞信局の實驗放送でありますから、內地各放送局とは全然其の組織を異にして居ります又地理的乃至は氣象的原因に影響されて、空中電波の「コンデイション」が頗る惠まれて居らず、冬季の內地中繼は良好でありますが、夏季におきましては殆ど不可能であります(昨年夏季の中繼は東京、奉天間に特に試驗的に短波長で放送されたのでそれをキャッチすることが出來たのであります)又その他種々なる事情の相違で、內地各放送局と同樣にまゐらないのでありますから、此點御賢察を願はしたいと思ひます。

◇然しながら、當地方の國家的、社會的關係並に地理的位置を併せ考察します時、當局が內地各局と其文化的使命に就ても、敢て自ら過小評價する要は毫末もない譯でありますから、當局の名實共に完全なる發展の過程を辿る途上に、今後共絶えず御鞭撻下さいます樣お願する次第であります、尚詳細なる事柄に就きましては、限られ居る本欄では十分お答へする事が困難でありますから、勝手ながら親く御面談申上げ度いと思ひます。

滿洲貯金整理狀態
一債權者

◇私は滿洲貯金株式會社の債權者でありますが、私の住所が一定しなかつたため、昭和三年以降の整理狀態については一向承知して居りません、その後どんな狀態にあるのか、現在の整理委員はどなたですかお知らせを願ひます。

お答へ 滿洲貯金會社は前年破綻後整理會社となつたが現在は市內西通り第一無盡會社に於て整理の代行をやつて居ます、委細は同社に就てお聞き下さい

旅順市助役
岸田氏內諾通告

旅順市後任助役を懇望されてゐた岸田愛文氏は愼重熟考の結果、或種の條件を附し受諾の決意を固め十八日夜米岡市長迄此旨通告する處となつた

人事

▲W・W・テーラー氏(ゼネラルモーター滿洲總支配人)十九日午後七時五十分着鳩で來連ヤマトホテルへ投宿 ▲契平廣直氏(鞍山滿電支店長)同上 ▲染谷保藏氏(盛京時報社長)同上遼東ホテル投宿 ▲星子利光子氏(朝鮮總督府附屬兼技師)同上 ▲千々和正彥氏(開原電氣會社專務)同上

小觀

ブロンソン・リー君、中々味な事を云ふ▲滿洲國人は日本の侵略を恐れない、日本が友好的援助の實に反せんか、侵略を受くるのは寧ろ日本であると▲又曰く、滿洲を支那の一部と見るなら、滿洲軍が平津に侵入しても文句は云へまい▲何れも尤も至極だ、但し滿洲軍は敢て平津に侵入する筈はない、彼等は只獨立を欲するのみである▲同胞の國家が紊れてゐるのをこそ憂へ、それを紊さんとする筈はない▲張學良がこれに對して猥りに兵を動かさんとするのは、所謂庸人自擾といふやつだ▲元來支那の軍閥は盜賊の親分だ、良民とは兩立すべからざる存在だ▲張學良の考ふる所は、國の爲めでなく、良民の爲めではない▲滿洲國人も支那人も一家の人で、敢て相反するものではない、それを相反せしむるものは軍閥の存在だ▲抑も國際聯盟あたりではこの道理が分明しない、軍閥を國家の代表者だと思つたり、それを良民の保護者だと思ふから間違ふのだ▲軍閥を國家の代表者としておくのは外交上の便宜的擬制だ▲それを實際にも然る如く錯覺してゐる所から、すべての誤謬が湧く▲歐米諸國を標準にした概念の上に、支那の事は考量を進め得ないことがどうしても分らないのだ。

城壁に砲壘を備へた理想的な集團移民村

七百萬坪に百五十家族を收容

建築學會で研究發表

【東京特電十九日發】滿洲國農業移民の根本的對策については各方面において研究されてゐたが、最近東京帝大工學部の内田、岸田兩博士、日大笠原教授、菱田内務技師、加藤陸軍一等主計等により大體舊東京程の面積を持つ

集團移民の研究論文を完成し、來る四月の建築學會に報告されることになつた、この計畫によると、村が七百萬坪程の六角形の聚落三個より成立ち、聚落の中央には城壁と非常時に備へる砲壘に圍まれた四角の中央區がある、その中央區にはそれぐ百五十家族が三百坪の畑地の中に住宅と納屋、雞舍、豚舍等を收容し中央區の中に小學校、役場、倉庫、市場娛樂設備等が出來る、而して農民一家族は一年に自分の耕作する田畑から八百四十圓の收穫があつて生活費その他總費を支拂して年百五十六圓の

貯蓄さへ出來る計算となつて居り、この一家族五人の生活見込は内地より餘程餘裕のあるものである、内田博士は語る

これは政府から頼まれたものではなく我々技術家として國家に御奉公するつもりで立案したもので、滿洲の實際な視察研究の上に計畫を樹てたもので多少お役にたつことゝ存じてゐます

全滿攪亂の陰謀を未然に防いだ殊勳者

魯濱、林志敏を逮捕した本溪湖署の吉元刑事

滿鐵に働く第六感から怖るべき全滿攪亂の大陰謀を未然に防止し得た大殊勳者本溪湖警察署刑事吉元源佐氏（三九）は、大正八年本署に勤務することゝなつて以來、十年の長年月を默々として、職務に忠實に勵み來たつたが、多年忍從の辛苦は酬はれて、今や一躍前衛守護の英雄として感謝、賞讃、感激の渦中に立つに至つた、吉元刑事は本署に勤務する以前は熊本騎兵第六聯隊曹長として、模範曹長の名を謳はれてゐた鹿兒島を生地とする純粹の隼人であつて、劍道をよくし現在は二段の腕前である、然も斯かる豪傑にも似ず趣味は多方面に亘り、殊に屢々公務の餘暇を見てコートでラケットを振つてゐるが、球捌きは却々堂に入つたものである、家庭的にも頗る惠まれてみつゑ夫人との間には長男美水君（一）を頭に二男二女の子福者である、吉元刑事は事變勃發以來、當市は何しろ奧地に馬賊の巢窟を控へてゐるので毎々匪賊が出る時は死を決して出張であつたが、丁度一日は沿線に出張して部長が

ゐたので、其の留守を引き受けて緊張し切つてゐた時に、魯濱、林志敏の二人の北平からの聯絡員が其の視野のうちに映じたのでどうして逸れることが出來よう、彼等は吉元刑事の鋭い追求に、遂に滿洲攪亂の大陰謀の全構圖を遂一白狀せざるを得なかつたのである、

豫期しない陰謀に驚く

吉元刑事語る

【本溪湖電話】全滿攪亂の恐るべき大規模の陰謀を未然に防ぎ首謀者逮捕の端緒を摑んだ大殊勳者本溪湖警察署吉元巡查は淺黑い精悍な面貌に喜びを一杯湛へながら謙遜した口調で左の如く語つた

國際聯盟の動きによつて張學良は種々陰謀を廻らしその密偵や不逞漢が這入り込むから注意せよとの命令を受けて連日緊張して警戒の任に當つてゐましたところ一日午後四時五十九分の列車警戒の折二名の支那人の擧動がどうも怪しい、日本警官の顏を見ると眼をそらす、日本人を避けてゐるその態度も何んとなく怪しい、そこで二名の支那人を署に連行して取調べるところの言葉ではなく流暢な北京語である、然し何んとしても口を開かうとしない、愈々怪しいとにらんで嚴重な取調べをやるところ衣類の中に李春潤からの密書が縫込んであつたので大規模の義勇軍の全貌が判明しました、私も豫期せざる大掛りの陰謀に驚いて直ちに署長の命を受けて二日大連に連行して大連警察、水上警察の力を借りてこの大陰謀を未然に然も根柢から覆へすことを得たのです、これも天は不正に與せず、正しきものゝ上に助けを與へられたものと喜んで居ります

らうと、噂されてゐる、前衛守護の先頭に颯爽と輝く榮光の旗手吉元刑事の双頰には、大任を果した後の快よい興奮がかすかに浮んでゐた（寫眞は義勇軍連絡員逮捕に殊勳を立てた吉元刑事、江藤殿託張曲教巡捕）

林警務局長から金一封を贈る

署長以下感激に咽ぶ

事變勃發以來阜軍の華やかな行動の陰に隱れて、關東廳の背後の活動は左まで人目を惹かなかつた時には「吾等の關東廳は其の展望の眼を閉ぢ其の活動を止めてゐるのではないか」とまでの非難さへあつた、それが今回は本溪湖の一警官によつて、全滿攪亂の大構圖が未前に暴露され、然も其の一味は悉く逮捕せられたのであるから俄然社會の關心は關東廳に集中した、林警務局長はこのことを知るや、すつかり感激して二日直に本溪湖警察に電報を打つた

「周到なる注意により義勇軍を檢擧せられたる貴署の勞を多とし別に金一封を贈與す」

と其の功をねぎらふと共に金一封を贈つた、今まで警務局長から感謝狀を貰つた署はあるが、金一封を贈られた署は一つもない、牧田署長の感激は推して知ることが出來る、署長は感激の涙をこぼして喜んだ。二月十一日の紀元節の式後である、署長は本件に關する殊勳者吉元、有友、山名の各巡查、姜、張、常、宋、莉等の巡捕に其の贈呈せられたる金一封を分配した、功名に喜ぶ本溪湖署に、淺春の陽ざしは明朗に照り榮えてゐる

大連水上署から遼海丸を出動

今日に至るも何等の快報なく二十日一先づ歸連

李春潤一派が學良の密命を帶び東邊道一帶並に三角地帶における後方攪亂の企畫を端なくも知悉した水上署においては各方面に手配し日滿軍警の手をもつてこれが撲滅を講じた、一方鶴止十五六日を期し李春潤は自ら

幕僚三十餘名を引具し我が軍三隻に武器彈藥を滿載し大孤山北井子附近より暗夜ひそかに潜入せんと手配をきめてゐる事を逮捕せる孫該長の自白により知り、俄然海上警備の必要を知つた水上署では同署所有遼海丸を出動せしむる事となり十二日午前九時栗原保安主任を總指揮に小尾特務、内藤、織田兩司手その他十五名の署員で海上討伐隊を組織、三澤署長をはじめ署員等の

悲壯な激勵の辭に送られて裏長山列島方面に出動した、かくて遼海丸と水上本署との間はつねに無電をもつて連絡をとり嚴重に警戒しつゝ一隻たりとも見逃すまいと海岸近くより遙か沖合の間を巡航するところあつた、しかるに今に至るも何等快報なく一方北平においても今次の企畫が失敗に歸した事を知つたらしいので同船は一先づ廿日歸連することになつた（寫眞は水上警備に出發する遼海丸船上の署員）

東京高師助教授赤の重要な役割

再建運動に加はり

【東京十九日發】警視廳特高部中川警部は去る十五日來淀橋署に出張、目下部署中の三十前後の男を極秘裡に取調べた結果、十八日に至り豐島區西巣鴨三ノ十六アパート石井友英（二〇）なることが判明したので、同警部一行は直に前記アパートに到り家宅搜査をなしたところ、意外にも同人は東京高師助教授東京文理科大學助手なること判明した、石井は去る十五日夜築地小劇場附近を徘徊中を特高部原田警部が不審と認め連行したもので あるが、同夜は同劇場で國際革命演劇同盟記念講演會が開かれたので來會の同志と再建運動につき連絡中を取押へられたもので過般の共產黨潰滅後殘黨分子を糾合し黨再建運動中の一味との連絡に重要役割を演じてゐたものである

ヤマト遂に優勝

全滿卓球選手權大會

滿洲卓球協會主催本社後援の全滿卓球聯盟選手權大會準優勝戰以後の試合は十九日午後よりも大連數島町青年會館屋内體育場において熱狂の觀衆にとり圍まれて遂行先づ鞍山、優勝候補のヤマト倶樂部に、旅順倶樂部もまた中央試驗所に、と遠來の混成兩チームそれぐ一敗地にまみれ結局豫想の如く、中試對ヤマトの優勝戰となり、兩軍秘術を盡して戰つたが强豪ヤマトの河田、中堅の栗山をストレートで破つたことが因しヤマト倶樂部に優勝旗が渡り、田中協會幹事よりヤマト倶樂部に優勝盃目錄及び本社銀牌を、中央試驗所に銅牌をそれぐ授與し三時卅分盛會裡に終了した、戰績左の如し

▲準優勝戰

▲ヤマト倶樂部10―4全鞍山
○相島1―3大久保○
○河田3―0坂井
○櫻井3―0小枝
○片島3―0大谷
○上田（不戰勝）黑澤

▲中央試驗所11―6旅順倶樂部
○吉丸兄3―1南
栗山2―3深川○
○吉丸弟3―0谷口
○井上（不戰勝）桝本

▲優勝戰

ヤマト倶樂部11―5中央試驗所

○櫻井3―2中村

櫻井のサービスで開始櫻井10―6で先づリードし續く第二ゲームは4―10で中村勝ち更に櫻井さなり2―2さなつた末10―2で中村勝つ

相島2―3吉丸兄

吉丸兄10―2で簡單に第一ゲームを獲得したが續く二ゲームは10―3と相島勝ちしも吉丸兄の頹勢挽回の攻撃は12―9 10―7となつて相島長蛇を逸す

○河田3―0栗山

栗山の奮戰効なく河田の當り物凄くストレートで勝つ

○片島3―0吉丸弟

大いに接戰を期待されて居たが10―7、10―3と片島一蹴す

また一つ増えた女性の武器

最近、街頭や省線の中で婦人が頻りに圓形の圖表をぐるぐる廻して頰をほてらしてゐる光景をみうけるが、昨日も京濱電車の中で、美貌の夫人がぐるぐる廻しているのを、傍の紳士が覗きこんだ紳士に、件の夫人「これ御存知ないのですか、大和和合の守本尊、新案野式姙娠暦よ」にダアーとなつたとは早春らしきナンセンス。それにしても、婦人公論三月號（十五日發賣）の附錄の流行振りはすさまじいものだ。

女性は如何に生くべきか

新女性社の座談會

滿洲新女性社主催の女性生活座談會は十九日午後一時から滿鐵社員倶樂部に於て開かれたが、朝來の降雪にもかゝはらず會するもの傍聽者をも加へて約八十名、教育家あり、醫師あり、社會事業家あり、評論家あり、半白の老婦人あり、丸髷の奥さんあり、インテリマダムあり、未婚の娘さんやオフイスガールあり、若きサラリーマンあり、近來に珍しい顏合せで「女性は如何に生くべきか？」に就て各自の信ずる所に從つて熱烈な討論をたゝかはし薄暮やうやく散會した（寫眞は女性生活を語る婦人達）

成層圏

處女が惜しさに

樂しかるべき結婚式に處女性への訣別を惜み結婚を解消した話銚子市飯沼町の大製きぬといふお孃さんは附近某との結婚式當日「私は處女性を失ひたくないから斷然結婚を解消する」といふ意味の遺書を殘して晴れの衣裳を着たまゝ家出したので、家人は非常に心配して銚子署へ搜査方を願出たが、上京したらしい形跡があると

其後の中岡良一

平民宰相原敬氏を東京驛頭に斃した其後の中岡良一は、明春の滿期出獄を靜かに待つてゐるが、獄中にある彼は滿洲事變を秘かに耳にしてから心境の變化を來し、教誨師に滿洲國とか、フアッショといつたことを質問したり、或はそれに關した圖書の閲讀を嘆願するやうになつた、この點から見て彼は宗教生活から一歩を進め一死報國の氣持となつたらしく、今や新興滿洲國を想像しフアッショの波にのつて滿洲雄飛を夢想してゐるものといはれてゐる

『瞼の母』と對面

大衆作家長谷川伸氏が小説や戲曲に託して四十六年も搜し求めてゐた「瞼の母」實母こうさん（七三）さ東京牛込區甲良町三十の一高教授三谷隆正氏宅で奇しき邂逅を遂げた、これは未知の女性が手紙で突然氏に教へたものだ、氏は四歳のとき母の離婚と共に一家離散しその後母は再婚する一方自分は義母の手に育てられたゝめ全く二人の間は引き離されてしまひ氏がいくら探し求めても遂にわからなかつたものである

大東京の交通事故

大東京に交通事故のない日はない昨年警視廳管内の交通事故を調査したところによると、事故三萬五千六百五十件で、これによる犧牲者は死者四百四十一名、負傷者二萬一千六十八人といふ恐ろしい數字である、これを前年に比較すると件數二千四百三十六件、負傷者一千九百三十九名、死者百三十名の増加振り、何とこの死傷者の數が滿洲事變の總死傷者より多いといふから驚くべきである

春甦る白瀨中尉

今を去る二十二年前大正元年當時第三回の壯擧で遂に前人未踏の南極に日章旗を飜へした探檢王白瀨陸軍中尉白瀨矗氏の偉業も、年々國民の念頭から忘れられ、白瀨氏は家庭的にも經濟的にも惠まれず老齡七十五歳の身に鞭うつて生活のために南極探檢當時のフキルムを持つて各地に流浪、自ら說明の前に立つといふ零落振りである、この窮苦に同情して、鄉里の青年團では蹶起し、白瀨氏の後援會を組織し全國的に募集を開始したところ早くも各地から續々義捐金の申込みがあるが、これで漸く白瀨中尉にも春が甦へるわけである

景氣よい飛行會社

軍國の春を謳歌して茲にもインフレ景氣の反映と、航空時代の影響で全國の飛行機製作所は近年にない大當りで多忙を極めてゐる、隨つて從業員連は不景氣知らずのホクホクものである、このために從來發動機とか部分品の製作をしてゐた會社も我も我もと飛行機製作を行つてゐる

湯淺新宮相多摩御陵に參拜

【東京十九日發】湯淺宮相は十九日午前八時高木秘書官帶同、十時多摩御陵に參拜し今回宮相に新任の御奉告を申上げ正午歸京した

拳銃で胸部を射たる

【奉天電話】十八日午前八時二十分頃寬城子において松井俊夫（二七）が何者にか拳銃を以て胸部を射撃され盲貫銃創を受けたので直に警察官と憲兵隊で犯人搜査中であるが未だ何等の手掛りがない、松井君は午後一時の列車で奉天に着し滿鐵醫院に入院し加療中であるが生命には今のところ別狀はないと尚ほ松井君の原籍地は福岡縣門司市大里原住所北寬城子田島貞次方に同居してゐたもので田島方に一名の拳銃所持の滿人が侵入して來たので松井氏は賊の後方より抱きついた際賊が手を後方に廻して同人の胸部に貫通銃創を負はして逃亡したものであると

匪賊撫松包圍

【奉天電話】熱河における張學良系の反滿軍の活動により學良系の後方攪亂策は積極化し濛江地方に散在してゐた王鳳閣匪部下二千餘名は東邊道の攪亂を企て撫松を包圍し掠奪せんとする形勢に、撫松の王警察隊長は部下五百餘名を率ゐて反擊に出でたが省警備司令部に對し應援を乞ふ旨通報があつたので省警備軍は直に出動の準備中である

大孤山の開耕

【奉天電話】東亞勸業公司では大孤山における有望な水田耕作地二千町歩の開耕着手準備のため三月上旬駐在員を派遣することに決定したが、本年は一部分の鮮農小作人を收容し、將來は鮮農の自由移民として集團移民たらしめる方針である

競馬會總會

【四平街電話】當地方の馬匹獎勵と日滿親善の目的にて成立した四平街競馬會は愈々來る二十三日午後一時より電燈會社三階大同會館に於て創立總會を開催し、定款其他を決定し本格的活動を開始することゝなつたが、第一回競馬會の發表と共に當市の人氣はいやが上にも沸騰するであらう

ちゝぶやの春向銘仙賣出し

銘仙の產地直賣によりて知られてゐる磐城町ちゝぶやにては十九日より廿五日迄春向新柄の大賣出しを開始せるが今回は店主が直接產地に出張して品質柄合等を選擇し大量を仕入れたるものにて其高級なる圖案と價格の低廉さはキットー般の好評を博するであらう、尚他に京吳服の特別奉仕品も賣出し中である

滿蒙百貨店大連分店の春向中折帽子宣傳賣出し

工場より御家庭へ、生產者より消費者へをモットーとして同會社製品の各種毛布を廉價に販賣して居り好評を博して居る滿蒙百貨店大連分店にては今回百貨店として最新の春向最新型中折帽子の宣傳特賣を十九日より二十六日迄開始中であるが品質の優良なるに價格は殆ど犧牲的宣傳を以て實用向一圓より各種又一圓、一圓五十錢、一圓八十錢の均一等あり尚同時に各種洋服地オーバ地雜貨類の各冬物殘品一掃大賣出しとして特に端切れ見切品は破格の特價にて提供するとのことである

滿日各地版

建國記念日を控へ歡喜の色漲る
吉林で慶祝方法協議

【吉林】滿洲國建國一周年記念が目前に迫つて各所では奉祝の準備に諸種の相談が行はれ來る三月一日を以て其の盛大なる奉祝大會を豫想し新春の氣分横溢さ建國記念日を迎ふる吉林省城一帶は一齊に奉祝の氣分漲りて街の店頭往來の馬車や人の面影にさへ喜びの色が見え事變以來殊に治安に惠まれたる無難の省城さて人心平穩にして平和の嶮を行くが如く過去二三臺に過ぎざりし自動車の如きも現在何十臺さ言ふ增加を示しタクシーの如きも二三の營業が行れて利用者も相當有る模樣、全滿を通じ第一モダン的に流行する省城の滿洲國人は建設以來其の需要悉くは邦品を愛用して第一女學生の如きは邦商の店頭に內地のスター入り便箋さか封筒さか又は學用品の總てを買求めるさいふ風で最近は支那向を廢して內地直輸入のモダン品を注文するか如きは日滿親善の見地からして第一歩の接近で有り建國一周年記念を迎へらる今日此の吉林省城丈は全滿を通じて第一位の圓滿親善東洋平和の保持する土に模範吉林さ誇る價値有り又誠に喜ばしい現象である、來る三月一日建國一周年記念祝賀大會は日滿合同で行はるべく目下各關係者相寄り協議中である

開原の慶祝協議
執政、軍司令官へ祝電

【開原】諸行事に熱心なる開原では三月一日の滿洲國建國一周年記念當日の慶祝方法に付二月十七日午後三時官民有志は地方事務所に集合協議の結果盛大に祝意を表する事に決し行事の順序を左の通り決定した

一、執政へ祝賀電
一、軍司令官へ感謝電
一、奉告祭　午前九時三十分開原神社にて
一、旗行列　祭式終了さ同時に日滿官民各學校生徒參加市中一巡中央公園に到る
一、感謝祭　中央公園內忠魂碑前に於て
一、花自動車終日市中巡行
一、祝賀宴　午後零時三十分日滿官民集合公會堂にて
一、電飾　市內數ケ所にイルミネーション裝置
一、活動寫眞　午後六時公會堂にて無料公開
一、建國精神普及　ポスター及び宣傳單

撫順の建國慶祝
市民會で協議決定

【撫順】來る三月一日滿洲國建國記念慶祝に關し撫順における行事は市民會にて協議の結果左の如く決定した

▲記念式典　滿洲國側に於て式典擧行するに付き日本側官民は之に列席することゝし、日本側は行はず
▲旗行列　滿洲國側式典終了後滿洲國側を主さし旗行列を行ひ日本側學生及一般も之に參加の上日滿兩市街一巡公會堂に於て解散す
▲祝電　當日市民會より執政府に祝詞を打電す
▲記念講演　二月二十五六日頃軍部より講師を聘し大講演會を開催す
▲同情週間　二月下旬より同情週間を催し各團體協力して滿洲國側二百圓、日本側三百圓、計五百圓を募集し之によつて施粥を行ふことゝなれり
▲その他　當日は各戶に日滿國旗揭揚し電車、自動車は裝飾を施して大いに慶祝の意を表す

鳳凰城の建國記念大會

【鳳凰城】來る三月一日は滿洲國建國一周年に相當するので滿洲國に於ては擧國一致を以て慶祝大會を開催することに決定した由で、當地滿洲國側に於ても盛大に擧行することゝなり既に其準備に着手して居るが、當地日本人側に於ても同慶の意を表すべく官民有志は十七日午後一時より驛應接室に會合協議の結果略次の如き計畫を樹てたが尙滿洲國側こ打合せの必要あり此打合せには尾野驛長が當ることゝなつた

一、日本人は建國式典に可成參列すること
二、旗行列には居住民、全鮮學童全部參加すること
三、敬老會を開催すること
四、建國記念映畫作成のこと
五、娛樂宣傳として建國に關係あるもの其他の映畫會を開催すること
六、自治會長名義を以て鄕孝省總理に祝電を發すること
七、日滿學童合同の音樂會を開催すること

旅館、料理屋を嚴重取締る
奉天省警察廳の活動

【奉天】奉天省警察廳さしては熱河方面における反滿軍の攻勢的狀況に奉天省城が萬一學良系の後方攪亂隊により市民に不安を與へることのなきやう全力をあげて警戒に努めつゝあるが、省城出入の門限證は大同二年上半期のものを新に下附することにして通關證の取締を嚴重にすることになつた、然し張學良特派の便衣隊も相當潛入して來る樣子で旅館、料理業等は嚴重取締る方針である、警察廳の語るところによると最近數ケ月來城內に發生した强盜事件は殆ど檢擧するに至り既に一月には三件以上の馬賊事件に遭遇したが全部逮捕し、滿洲事變前の警察さ全然その活動力はちがつて來たさ著しい進步の跡を物語つてゐる、尙ほ警察署への非常ベル擴行さ匪賊侵入を警察署に報ぜられるさ直に警官隊は自轉車に乘り現狀に急行し、從來にない活潑なる行動を執りつゝあるさ

經濟狀況
鮮銀奉天支店調　奉天金融

輸出入商況　輸入品は奉天驛着荷數量より見るも前月に比し總じて減少を來せり之は恰も新正月の關係さ又同時に滿人側さしては舊正間際の仕入手控へによるが一面期待程の銀高に移らざりしにもよるさころ多しさ觀らる、然し綿糸、綿布は年初の銀割高さ內地高の强材料に相當の商談はありたるが月末に至り舊正接近に機屋の休業問屋決算等にて需要減退し產地市況の頭打ちを眺めて實需思惑共に動かず舊正明の好材料待望の姿に終れり、今當月末に於ける主要品相場を示せば

品名		相場
綿糸	仙桃	二一〇圓〇〇
綿糸	双福	二二二圓〇〇
同	蓮塔	二二一圓〇〇
同	双馬	二五〇圓〇〇
綿布	粗布	八圓七〇
同	細布	九圓四〇
同	綾綾	六圓八〇

品名	本月	前月
同　大尺布		二圓七五
同　砂糖 J印		一九圓五〇
同　HS印		一九圓一〇
麥粉　寶船		三圓三〇

尙當月中奉天驛着荷主要品數左の通りなり

掃匪感謝日滿懇親會

【大石橋】滿洲國成立以來各地に蟠居良民を苦しめたる兵匪漸く平定され治安又著るしく確保し農商の業益々隆昌を來し日に盛大に向ふは之れ實に軍部の後援に基くさころなりさし感激措く能はざるものあり三角地帶方面の掃匪並に政治工作に依り新國家の認識は深められ最近營口中島縣參事官一行の政治工作行脚により層一層王道治下の善政を謳歌しつゝ何等の不安なくその民業につくを得たるを喜んでゐる、營口縣第二區管內大石橋近郊十四箇村長は軍警及地方有志に對し各村民を代表して感謝の赤誠を現すべく十八日午後一時より營口縣立第四小學校講堂に於て掃匪感謝日滿懇親會を開催し岩田大隊長、葛目少佐、岡本副官、森重大尉、其他將校、鎌田憲兵分隊隊長、三浦警察署長代理、木下警部、反田司法主任以下各村長を代表して感謝宴の式辭を述べたるに對し岩田大隊長日本側を代表して兵匪平定治安確立新國家善政に對し祝辭を述べ尙ほ自衞團の指導誘掖に對し村長各位に注文を附說して挨拶に代へ宴に移り日滿人卓を圍み意見を語り注文を聞き談笑裡に和氣藹々午後三時半散會したが斯くの如き意義深き日滿親善の會合は稀に見るさころであつた

豫算地委會

【開原】開原地方事務所長小川早苗氏は開原に於ける昭和八年度の豫算編成に關する諮問の爲め二月廿三日開原地方委員會を事務所會議室に招集諮問を爲す由である

王道國家宣傳に工作委員會
愈よ間島地方に進出

【奉天】滿洲協和會奉天中央局にては間島地方における滿洲王道國家宣傳のために間島工作準備委員會を開催するに決し諸般の準備中である、尙ほ廿二日には通化縣事處の開會式を擧行するさ

錢鈔市況

品名	本月	前月
大豆	二九	二三九
小豆	一〇四	八九
粟	一、六九六	二、一四四
高粱	八二	一七九
大麻子	三六六	二五二
胡麻	二一七	二六三
蕎麥	二、四五一	二、二三四
落花生	一〇八	三八〇
包米	七七八	二、五一六

△滿洲國幣對金票　年頭山海關事件の突發あり時局懸念、圓爲替の弱含みさ相俟て當地現物相場は四日九七圓六〇なりしが對米爲替の小締に七日九六圓三〇錢さ金票稍々强調を帶びたるも熱河問題聯盟の動向等論議され暗雲低迷の形に一進一退、中旬は九八圓撥みに推移し舊正に入りたるが月末は弗安を映じ九七圓七〇錢にて越月したり
△鈔票對滿洲國幣　月初めは一〇一圓七〇錢の保合狀態なりしが特產資金さして國幣地方流出に市中在貨逼迫し一〇二圓前後に强含みの儘經過するに至れり、右の如く市況至つて波瀾に乏しく平凡に推移したるさ新年並に舊正休市の關係もありて本月中の奉天取引手先物取引も前月に比して左の如く減少せり（單位千圓）

國幣對金票　鈔票對國幣

遺骨を合祠

【遼陽】鞍山守備隊中隊長故陸軍步兵少佐長岡寬外廿五勇士の遺骨は十八日午後急行で着遼石岡地方事務所長を始め官民有志の出迎へを平井神職の先導で忠魂碑に到着嚴肅なる合祠祭が行れた

廿九遺骨赴遼

【鞍山】從來滿洲に於て戰死した軍人遺骨は奉天、大連、遼陽の三箇所にある忠靈塔に其一部分を納骨することになつて居るので鞍山守備隊では黃花甸、岫巖、湯塔堡子の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた長岡少佐以下二十九體の芳骨は峰岸副官並に西本軍曹に護られ十八日午後一時五十分發急行列車にて赴遼したが驛頭には官民多數の見送りがあつた

新濱縣に防穀令
移出多く缺乏を告ぐ

【新濱】……行掠奪頻々さして行はれ住民は之が對策さして手持特產物を縣外に移出し瀋海沿線、或は撫順の糧棧商に委託する者多く、目下新濱縣內にては穀類皆無の狀態にて糧食にも缺乏を告げる次第なるを以て縣當局にては最近防穀合を發し縣內より穀類搬出を絕對禁止してゐる

鞍山商務會有志が遊廓を新築の計畫
＝昭和製鋼所決定に伴ひ＝
當局に諒解を求む

【鞍山】昭和製鋼所が愈々鞍山に決定すると云ふので鐵道西居住滿洲人有志間には種々計畫が進められて居るが商務會では市場さ劇場の中間空地に遊廓を新築す……

興盛廟東側に商店街建設
三月中に着工豫定

【鞍山】鞍山鐵道西遼陽縣興盛廟商聯合會は興盛廟東側空地に並に住宅組合を計畫し、既に……並に住宅街の構成は道路に……名の加入申込あり其出資金十……が積み立てられて居るが、……周圍に地方事務所指定の通り……

新に發電所を
サイクル目下研究中

【鞍山】鞍山の電燈は發電所の關係で一般都市さ異り二十五サイクル……

軍隊慰安

廣野大佐赴任

兇賊田振東護送中逃走
遂に射殺さる

中野副領事赴京

興津副領事來奉

旅順放送

沿線往來

賭博犯逮捕

社告

從來打虎山岡田氏が取次販賣して居られた弊紙は今回左記の通り變更して御取次ぎ致しますから相變らず御愛讀を願ひます

二月十九日

打虎山販賣店　小形商店

滿洲日報社

海と空と (116)

高杉晋一郎作　橋本清史畫

新刊紹介

ファシズム政治理論

大連　二月二十日

けふの放送

二月十九日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橘本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

わが主權を蔑視する聯盟の行動を排撃す
亞細亞各國の繁榮平和に努力
謝外交總長の聲明書

【新京特電】滿洲國政府は二月十八日午後三時謝外交總長の名により左の聲明書を中外に向つて發表した

一、我滿洲國政府は國際聯盟の一員にあらず、又聯盟の論議決定に拘束せらるべき何等の法理上又は道德上の理由なく苟しくも聯盟にしてわが主權を蔑視する如き言動あらんか、敢然これを排撃するの用意を有すと雖も、他面わが建國の大義、國運伸展の狀況等に關し聯盟を啓發するが如きは固より辭する所にあらず、客年五月リツトン調査團の來滿に際しわが政府においてこれに應接し、又爾後隨時聯盟に打電してわが意圖を示したるは、一に極東の事態に不明なる彼等を啓發せんとする趣旨に出で又客秋以來壽府に人を派したるも、これ亦聯盟の行動監視とともにその啓發に資する目的に外ならず 我政府が聯盟をして其途を誤まらざらしめんがため致したる努力は蓋し僅少にあらざりしなり國際聯盟が當初滿洲問題に當面するや、結局リツトン調査團を極東に派遣して事態を遷延するの外能事なかりしは周知の事實なる所、該調査團が極東問題につき豫備智識を缺如せる上、支那本部諸方面殊にわが滿洲國と仇敵關係にある北支舊東北軍閥の陰險惡辣なる懷柔及び宣傳に甘んじて乘ぜられる結果、その我國に對するや當初より先入的偏見をもつて臨み、我國が張家の逆政を嫌忌せる人民の自由意思により創建せられ、國家の機能着々その緒につき人民の幸福は舊政權下にあるに比し格段に增進せられつゝある事實に想起せず、各委員本國の利己的政策的見地より立論して一國獨立の尊嚴を蔑視し、徒らに支那本土の惡政を再びわが國内に還流せしむるに終る如き提案を爲すに至れり、而も聯盟は昨秋以來の會議において該調査團の報告書をもつて金科玉條となし、一にこれをもつて事實の判斷事件の解決の基準とせんとしたる結果、遂に今日亂暴にも我國の獨立を否認するが如き結論に到達したるが如し

二、抑々聯盟にして世界平和を理想とせば宜しく先づ加盟國に對し國際紛爭の原因たる關稅障壁、外國人出入國の制限及び外國人の差別待遇などの制度撤廢を命じ、全世界の交通々商の自由及び民族平等の原則を確保するが至當なるにも拘らず、各國が口に平和を唱へつゝ、一方に國家的障壁を高くして排他自利、人種偏見の政策を恣にし禍因の累積するを默過しつゝあり、これをもつて見るも聯盟が元々平和の理想に隱れて不自然なる權力平衡、不公平なる現狀を維持せんとする僞善的組織なることを知るに足るべく而して右組織は歷史的紛糾を有する多數國の犬牙輻湊せる歐洲においては武裝的平和維持の機構として歐洲大戰前の三國同盟三國協商の組織に遜らざるやも知れず、然れども右組織が天涯隔絶して一切の事態を異にせる東亞に手を觸るゝが如きは救ふべからざる誤謬にして、彼等が滿洲事變の當初より認識不足の論議を繰返したるため、我國内においては匪賊の跳梁を助長し、外は中華民國の不良軍閥を刺戟して排日排滿の暴舉に出でしめ、昨年の上海事變、馬占山及び蘇炳文の叛亂、本年の山海關事件の如き悉く聯盟の行動に誘發されたる惡果にして熱河の如きも聯盟の論議なくんば既に久しき以前に平定され、今日此の問題を貽さゞりしなるべし而して彼等は今や再び我國三千萬の民意を無視して我國の獨立を否認せんとす、斯くの如き妄動は更に中華民國の軍閥殘黨を刺戟して反日排滿の行動を增長せしめ東亞の禍亂を永續する以外何等の効果なく少くとも聯盟の標榜する世界平和に貢獻する所以にあらざることは極東の事情に不通なる聯盟と雖もこれを知らざる道理なし、卽ち聯盟はこゝに全く平和の假面を脫却して露骨に亞細亞の同胞をして相食ましめ、有色民族の康寧及び擡頭を抑壓し、以つて白色帝國主義の東亞における聲價を維持增進せんとするの野望を露骨に暴露せり

三、斯くの如き事態の下において友邦日本國政府及びわが壽府派遣の代表が我國獨立の大義を支援するため絕大の努力を致し、而も到底彼等の蒙を啓くの望なきをもつて、日本が元來加入すべからざりし聯盟を脫退し、聯盟を歐洲聯盟に還元せしむるの決意を爲せるは、世界平和及び亞細亞民族の幸福のため欣快の至りにして、爾今日本は歐洲の收拾すべからざる紛糾より手を引き、正義公道に基き自由なる亞細亞の天地に活動するを得べく、わが滿洲國は友邦として極力今回の擧を維持すると共に將來兩國の血盟の精神により益々相互依存の關係を固め、更に進んで爾餘の亞細亞各國を警醒して相協力益々亞細亞の繁榮と平和とに盡瘁すべし

四、最後に聯盟今回の行動が我國の建設計畫に秋毫の影響を來さゞることはいふまでもなく、豐富なる天然資源を開發して王道樂土の實現に精進するの決意あることを茲に聲明す【寫眞は謝外交總長】

であつて徒に輕侮の念を深めしむるのみである、我國現在の孤立はその基く所深く一時的と見るを得ない、卽ち滿洲國の承認を取消さゞる限り永久に變らないのである、而して滿洲問題は我國と聯盟との間に生ずべき交渉の全部であり總體である、斷

秘密の交渉經過も全部曝け出す
松岡代表あすの放送

【ジユネーヴ十八日發】わが代表部は政府の最終訓令を待ちつゝ既定方針に基く總會の諸手續を進めつゝあり、代表會議において既に決定せる總會演說の起草並に陳述書の材料整理等を急いでゐるが、一方松岡代表の日本に對する最終放送は來る二十日午後十一時(滿洲時間二十一日午前六時)と決定目下松岡代表自身で電報整理中であるが、同放送においてこれまで交渉の前途に影響を與ふべきを考慮して深くいふ事を遠慮してゐた事柄をも全部曝け出して、國民の前に赤裸々なる聯盟と日本の對立の姿を示し、日本國民が愈々結束を固くし滿洲國發展の事實によつてのみ聯盟の誤謬を反省さすべき事を強調し臥薪嘗膽努力に邁進の覺悟を熱望せんとするものである

松岡代表の放送内容
あす午前六時

【ジユネーヴ十八日發】松岡代表は來る二十日午後十一時一分(滿洲時間二十一日午前六時一分)より午後十一時三十分まで二十九分間母國に對し恐らく最後放送を行ふことゝなつた、放送演說要旨左の如し

一、聯盟における日支紛爭事件審議の從來の經過大要

二、現在日本と聯盟とが如何なる關係にあるか

三、この際日本が聯盟脫退斷行すべきか、但し之に先立ち代表部引揚げを行ふかは冷靜な考慮を要するが、國民の覺悟さへ極まつてをれば何ものも恐れるに當らない、代表部としては政府の訓令を待ち冷靜に善處せんとするものである

尙東京放送局からは總會の終幕に際し今一度放送して貰ひたいとの依頼あり、松岡代表は目下考慮中である

聯盟脫退問題と兩紙論評

【東京十八日發】本日の東京日日新聞はその社說に於て「聯盟に止るは不利益」と題し左の如く論じてゐる

聯盟殘留論者は我國が聯盟に在れば國際的機構の一員として世界的孤立を免れることが出來る今後も充分意見の發表をなす機會があると說いてゐる、併しながら孤立は既に現在聯盟内に在つて具現せる事實である、今日まで聯盟内の一國でも我國の爲め一票を投じたものがあるか、自ら求めざるも他より排斥されて孤立に陷りながらその團體内に止るは憫みを乞ふ怯懦な態度

日支問題に對する「外紙の論評」

紐育ヘラルドトリビユーン

聯盟が熱河攻擊中止を求むるは卽ち右攻擊の卽時開始を促すことになる、日本軍部は山海關事件に對し一般民衆の比較的冷靜なるを見るや、國論を刺戟するためアメリカが日本の太平洋委任統治を論議してゐる事實を種にし、現に海軍「スポークスマン」は新聞記者に對し日本は世界が何といふも委任諸島を保有するし、又日本海軍はアメリカとの意見相違ある際も之を解決するの用意ありと言明した、かくの如き態度は直に日本の反動的態度の重大意味を諒解し得る、

モニター

日本は一歩退いて和協を計り、一年前の如く世界の輿論に反響を與へんと努力したが、この目的の爲には十九國委員會は少しも寄與せぬ、松岡全權は從前の早熟な要求を時流に照し讓步した、この喜ぶべき事に委員會は何等反應を見せざるため日本に反動的氣分を惹起した、日本は一層和協に盡力した東洋平和のためアメリカの言論が注意して日本海軍を刺戟するやうな愚をしてはいかぬ

最近論議されるアジアモンロー主義を日本人は同地方における排他的警察權と解するがアメリカのモンロー主義はルーベン・クラーク大使の報告せる如く元來「アメリカ」對「ラテンアメリカ」の問題でなく「アメリカ」對歐洲の問題に關するものだ、アメリカは嘗て同主義により中米地方に警察權を行使したが、平和組織の確立せる今日日本がアメリカの過去の政策を履行するは間違つてゐる、現にアメリカは「ニカラガ」より撤兵した、日本も之に倣らふべきである

イヴニング・ポスト

十九國委員會の滿洲國不承認政策はアメリカの希望を達しくれ、併せてアメリカ獨り日本非難の急先鋒でない事を立證した、滿洲國承認不承認は國際法上議論あるべきも萬一滿洲國の如き領土の變更を認むれば不戰條約は空文に終る

紐育サン

十九國委員會の滿洲國不承認若しくは不協調の勸告はアメリカの政策を裏書せるもの、又露支國交恢復は日本の一痛事だ、最近滿洲國外交部發表の建國宣言によれば、德と仁を基礎とする王道政治を行はんとする由、之を以て世界の承認を得ざれば如何なる宣傳文字も其目的を達し得ぬ筈

紐育タイムス

聯盟における滿洲問題に關し、十日國務長官は該問題を聯盟が處理しゐる間は之を論議する事が出來ない、且聯盟からも相談を受けてゐないと語り、次いでジユネーヴにおけるイギリスの態度は米政府において約六週間前に漸次變化の途をたどれる事判明したが今回壽府でイギリスの强硬論は右の變化が最高潮に達したものと看へ觀測問題とは關係ないといつて居ると報じ、支那は英國を「プロ・ジヤパニーズ」と非難する聲が高いが滿洲、カナダはこれを心配し英本國へ壓力を加へた、山海關占領當時北支の脅威を感じたるイギリスは大使「リツドレイ」をして再三内田外相を訪問せしめ、北支の英國利權が害されざる事を希望したが、何等目的を達し得ず、此不安不滿が今回ジユネーヴにおいて現れたと觀察するのが妥當だ

タン

若し勸告案が採擇されゝば愈々聯盟と日本が離反するし、日本は脫退して自由を得るが、政治的經濟的に全然孤立に陷るの不利がある他方大國が日本を失ふは、米露が聯盟外に在るに鑑み、聯盟の世界性に對する一大打擊だ

武力や經濟的制裁は結局實行不可能
英、米、佛官邊の觀測一致

【東京十九日發】我が國聯盟脫退を決意し熱河討伐を開始した場合、聯盟側はこれを戰爭行爲と認め、第十六條により我國に武力的乃至經濟的制裁を加ふべしと憂慮されてゐるが、外務省に達せる情報によれば**米、佛官邊においては日本に對する武力的制裁は固より經濟封鎖實行の如きは問題とならず、**萬一支那より熱河問題を提訴された場合にも、之を戰爭と認むるや否やに就いては異論あるべく、戰爭と認めざる國は之に對し斯かる武裝行爲こそ戰爭的行爲なりと非議すべく、到底一致の行動は望み得ない、問題は飽迄平和的解決が追究されねばならぬとて第十六條適用に迄進む意思なきを表明し居り、**又イギリス官邊でも武力を伴はざる制裁行爲はあり得ず、**斯かる制裁の實行は平和の趣旨に反するとし抽象論に行き過ぎるのを警告し居るので、第十六條適用は容易にものにならぬと見られてゐる

【註】規約第十六條第一項、第十二條、第十三條又は第十五條に依る約束を無視して戰爭に訴へたる聯盟國は當然他の總ての聯盟國に對し戰爭行爲を爲したるものと看做す、他の總ての聯盟國は之に對し直ちに一切の通商上又は金融上の關係を斷絕して自國民と違約國國民との一切の交通を禁じ且聯盟國たると否とを問はず他の總ての國の國民と違約國國民との一切の金融上通商上又は個人的交通を防遏すべきことを約す

小國側依然除名力說
熱河の形勢如何で實現か

【ジユネーヴ十八日發】日本政府の對聯盟態度に關する東京よりの新聞電報は觀測區々明瞭を缺くが、聯盟筋ではこの不明瞭な點が日本政府の脫退を示すものだと解し、アルゼンチンの先例に倣ひ代表を引揚げ、不協調の態度に出で、委任統治問題の複雜化を避け、他方將來復歸の途を殘しおくのではないかと見るもの多數である、而して若し斯くするとすれば最も注目されるのは小國代表が既に唱へ出しつゝある第十六條第四項のみを適用し、日本を除名せんとする運動で、大國は右は聯盟復歸の途を塞ぐものとして反對し居るも熱河今後の形勢によつては勢ひの赴くところ實現の可能性なしとしないと見られてゐる

號外發行

張學良の東邊道における義勇軍再建陰謀に關し十九日本紙不再錄、號外を發行しました

蛇角

謝外交總長、聯盟の近狀に激憤して痛烈の聲明書を發した。

◇

けだし近來の快文字、言々聯盟の非を鳴らして、舌端火を吐くの觀がある。

◇

曰く、聯盟の意とする處、東方民族を相食ましめ、

◇

その弱勢に乘じて自己帝國主義を布かんとするにあり。

◇

吾等はこの妖雲を排して、一路大道を踏まんのみと。

◇

善隣の要人にして、この決意あり、正に會心の一事である。

ばいかる丸
二十日午前八時大連港外着豫定

駒井參議動靜

【新京電話】駒井滿洲國參議は十八日夜十時新京出發奉天に向ひ同地より飛行機にて内地に向ふ筈

朝野の名士參加し國民大會を開く
二十一日日比谷にて

【東京十九日發】在鄉軍人會の全國大會と併行して二十一日午後二時日比谷公會堂で聯盟卽時脫退決行を目標とする朝野を打つて一丸とする國民大會を開くことになつたが、政府からは内田外相、荒木陸相、永井拓相等各閣僚、民間からは頭山滿、德富蘇峰氏等出演して正義の叫びを擧げることゝなつた

在鄉軍人會大會
廿一日靖國神社にて

【東京十九日發】帝國在鄉軍人會では重大時局を默視出來ず、十九日午前會長鈴木大將以下陸海首腦部參集の上、軍人會の取るべき途を決定することゝなつた、その結果全國三百萬の在鄉軍人に檄して二十一日靖國神社に大會を招集し一路邁進することゝなつた

首相園公訪問

【橫濱十九日發】聯盟對策の重大報告をもたらすべく園公訪問の齋藤總理は昨日午後七時半東京驛發西下したが、齋藤總理は一等寢臺車のドアーを閉し面會を避け沈思默考し國難來に備ふべく思ひを練つてゐた

【興津十九日發】聯盟の經過並に之が對策につき政府の決心を說明報告し諒解を求むべく、齋藤首相は昨夜西下靜岡驛に下車、大東館旅館に一泊したが、十九日早朝起床、午前九時靜岡驛發差廻しの自動車にて興津に赴き、坐漁莊に園公を訪問、午前九時より客間で目下會談中

【東京十九日發】齋藤首相は午前十一時二分興津發午後三時二十四分東京驛着の豫定である

中島商相の自重論
三相歷訪懇談

【東京十九日發】中島商相は十八日午後齋藤首相初め山本内相、永井拓相を夫々官邸に歷訪し、相當長時間懇談を遂げたが、右は聯盟の情勢重大化に當面して閣内に種々の議論あるに鑑み、この際一層愼重に事態の成行を靜觀し已むを得ざる場合には脫退するとしてもその時期については充分の考慮を拂つた上帝國の態度を決すべしとの自重論的な自己の所懷を披瀝すると共に更に商工省が本議會に提出せんとする製鐵合同案が大藏當局との間に大體諒解成立して近く閣議に諮るべき手筈となつたのでその經過並に合同案内容について說明諒解を求めたものである

張學良一行
自動車で熱河へ

【新京電話】十七日午前四時張學良は財政部總長宋子文、張作相などと自動車三十臺に分乘して湯玉麟と會見のため熱河に向つた

何東京朝日は「勸告書は判決に非ず」と題して曰く

第十五條第四項に依る勸告書は紛爭が解決に至らざる場合理事會または總會が公正且つ適當と認むる勸告を當事國に與へるに過ぎないもので之を以つて超國家的機關が降した判決文を考へるのは誤りである、その内容が極東平和の維持に任ずる帝國政府の見解と相容れざるものあるが故に、帝國政府の所信を開陳してその蒙を啓くことが締盟國としての義務である

滿洲國內の我が孤立が我對滿態度を變へぬ限り永久的だとすれば我等は何を目當として屈辱を忍んで尙聯盟内に止るの理由があるか速かに脫退に依つて我立場を闡明し强調するに如くはない

對する侮辱なりとし或は帝國の威信を損ずるものなりと論ずるは當らない勸告は和協が不成立に終つた場合當然踏むべき手續きである

コロンビヤの聯盟提訴

【ジユネーヴ十八日發】コロンビヤ政府は本日聯盟に對しコロンビヤ對ペルー間の紛爭に關し聯盟規約第十五條に基き提訴した、理事會は來る二十日午後會合右提訴を受理する筈

滿蒙の戰慄 (219)
直木三十五作 淺枝次朗畫
胡北寒し(五ノ二)

「麗!」

上東は、人混みの中から、これが、最後になるかも知れぬ自分の子を呼んだ。麗は、人に押されながら、窓際へ近づくと、同じ隊員の一人が

「このお孃さんかい」

と、上東を見た。

「うむ」

「握手」

隊員は、手を延ばして

「僕が、倒れるまでは、お父さんを保護するよ。僕は、獨身者だが、上東君には、こんな美しい人があるのかねえ——それを、振りすてるのかねえ——いや、僕よりも凄い決心だぞ。い、お父さん、い、お孃さんに、幸あれ」

そう云ふと、握りしめてゐる手を、振つた。一人の滿洲國の婦人が

「麗さん、妾、王金鵬です。麗はうら、でせう。よく働いて下さいます」

「いゝえ、妾——」

と、云つて、手を延ばした。

上東は

「お頼みします」

と、婦人に挨拶をして

「麗、しつかりやつてくれ。お前を信じて、わしは、何の氣がゝりもなく行ける。それが何よりの孝だ。お母さんを、よくやつてやつてくれ」

「え、え、妾、お父さんの御信頼に反むきません——大丈夫です」

麗は、自分の心の固さを、見せる方法があれば、見せたいと思つた。

「信じる」

さう云つた時、又

「麗さん、本當に、お二人とも」

と、二三人の婦人が、訪問着姿で、取り卷いて

「上東さん。成功して歸つてきて下さい。それまで、妾達で、ちやんとおあづかりをしておきますから」

「有難う」

上東は見送りの人々と握手したり、話したりするのに忙しかつた。これが、父子の、一生の別れになるのかもしれないのに、人々は、ゆる〳〵別れも惜まない位に、窓口の父子に、話かけた。

(妾、人間として當り前の事しかしてゐないのに、それを稱められるなんて——かういふ人々は、その當り前の事さへしないのかしら——それとも、妾が、人生に無經驗で、感激し易いからかしら——假令、さうだとしても、それが惡いといふ理由はありやしないわ。もし、それが惡いなら、この先發隊の人々だつて、感激家揃ひで、大人の顔をした子供なんだわ)

さう思つた時、ピーツと、汽笛が鳴つた。と同時に

「萬歳」

と、いふ叫びが、次の汽笛を壓して、どよめき渡つた。

「萬歳」

「萬歳」

旗が入り亂れ、聲が入り亂れた。

(この人々も、皆、感激家だわ——けど、その感激を實行するかしないか——それだけの差。感激をつゞけて、犠牲をも悔いない——さうだわ。人間らしい仕事をした人で、感激に燃えない人なんてないわ)

麗は、父の顔へ

「お父樣、信じて下さい、大丈夫です」

と、叫んだ。

「信じてゐるぞ」

上東が笑ふと、麗も笑つた。涙は身體中に充ちてゐたが、出なかつた。萬歳々々、と叫んでゐる間に、汽車は、徐行しかけた。二人の眼には、二人だけにしかわからぬ固い決心と、信じあつてゐる心とが、閃いてゐた。(完)

義勇軍團再建事件後報

滿洲國軍警らの切崩しを策す

連絡を採つてゐた匪賊

張學良が東邊道一帶を根據として永久的抗日を策し義勇軍團再建の計畫を練らし本溪湖の李春潤らと連絡をとつて在滿匪賊と氣脈を通じ暗躍してゐた事實は本紙號外所報の通りであるが此等匪賊の主なるものを掲ぐれば

1、陶景文　今回逮捕せられた陶世臣の兄で元李春潤の衛隊長であつたが、目下鳳城縣下第六區附近に蟠居し部下約四百名を持つて居る匪首で既に密使を北平李春潤の許に派して連絡を採り李の入滿後は再び義勇軍に合流すべく默契がある

2、王堂、朱判山　王堂は部下約二百名を有し目下本溪縣第五區に蟠居する匪首で東邊道討伐前は李の片腕たる劉克儉の營長であつた李の再擧計畫については早くから劉克儉と密使を交換して最も力を入れて居り、今回逮捕した多數の者は先づ王堂の許に赴くことゝなつてゐた、朱判山も現在王堂と行動を共にしてゐる匪首である

3、何明哉(何司令)　鳳城縣第三區地方に蟠居する義勇軍で目下部下約二百名あり

4、李子榮、王少伯　李子榮は李春潤の實弟で三角地帶討伐に當り敗走し目下王少伯と共に腹心の部下約二百名を伴ひ鳳城縣下を轉々と逃げ廻つて居る有名な匪首である

5、姜潤三、金雨三、呂珍　何れも李子榮の舊部下で副官又は營長を勤め目下新賓縣灣甸子に蟠居し李春潤の再擧に關しては密接な連絡を保ち居り今回同軍の獨立總隊長として任命せられたものである

右の外元匪首であつたが既に滿洲國に歸順し東邊各地の自衛團長となり居る者(特に名を秘す)等も李春潤の入滿後は背反して義勇軍に呼應すべく連絡濟のもの多數あり且つ李春潤は現滿洲國軍隊を背反せしむべく反間苦肉の策を廻らして居る逮捕した採耀祖外數名の如きも入滿後現滿洲國某警備司令同某旅長及び某々縣警務局長等に義勇軍加入を勸誘すべき重大使命を帶びてゐることが發覺した、この滿洲國軍警の切崩策は李春潤一個人の策ではなく、義勇軍再組織を計畫した時既に張學良からあらゆる好餌を以て滿洲國官吏殊に軍隊警察の首領を背反せしむべく特命を受けた事實が判明した

信用失墜の唐聚五

遼西方面で策動

昨年四月通化を中心に僞政府を組織し、東邊道一帶に靑天白日旗を掲げて、反滿抗日運動を續け昨秋皇軍の討伐に遭ひ敗走し爾來不明であつた唐聚五の消息は今回李春潤一味の檢擧によつて次の如く判明した

唐は義勇軍三千名を率ゐて通化に蟠居中であつたが、昨年十月十四日頃皇軍の爲め包圍せられ抗戰の結果、約一千名は歸順した爲、唐は殘軍を連れて撫松縣に移動したが、十月末頃又もや討伐されて更に千數百名の歸順者を出し、最後に彼の手許に殘つたのは約三百の少數となり、士氣全く沮喪し、加之彈藥補給の途も絕えた爲唐はこの三百の部下を放置して十一月中旬變裝して從者一名を伴ひ撫松縣から瀋海線に出で、山海關經由北平に潛入し西四牌樓手關胡同に小家屋を借り受けて居住し、東北義勇軍總指揮朱慶瀾に縋り再擧を謀らんとしたが、朱は唐が數萬の部下を有しながら一溜りもなく慘敗したのを痛く憤慨し、義勇軍總指揮として張學良に會はす顏なしとて唐を難詰し、容易に援助を承諾しなかつたが、唐は熱河方面に約二百名の部下あり之を基幹として相當有力な部隊を編成可能なる故を說き、十二月末漸く武器彈藥の支給を受け之をトラックで熱河へ運搬し爾來東邊道に於ける恥辱を雪ぐべく遼西方面で策動中である、然るに其後朱慶瀾の調査によつて唐が東邊道蟠居中救國會から送付された軍費十數萬元も大半は着服し、部下各司令には彼の濫發した流通券のみを支給して居たとの嫌疑あり、更に彼は流通券を濫發して住民の現大洋を取上げ、爲めに地方は疲弊し住民より怨まれて居ることが判明したので、朱慶瀾も立腹して本年一月二十日頃唐に對し二週間以內に部隊を編成して抗日活動を起さゞれば支給した武器を回收すべしとの嚴命を下したので唐は極力活動中とのことである、斯くの如く唐聚五は朱慶瀾の感情を害したのみならず、東邊道の住民に對し彼の信用失墜した爲め、今回李春潤が義勇軍を再組織するに當つても、舊來の關係から表面軍團長に推して居るに過ぎず、實權は李春潤が掌握して居る

近來無き痛快事 今後も嚴重警戒

水谷關東廳高等課長語る

最近張學良が長期抗日方策を決定して以來一層盛に便衣隊を入滿せしめ、反滿抗日宣傳や義勇軍を使嗾して後方擾亂に力を入れて居るといふ情報が頻々とあつたので、關東廳としても一層警戒を嚴重にする爲め一月中旬各警察署に對し特別通牒を發して之に對する注意を喚起して居た處、案の如く張學良の密令に基く朱慶瀾の命を承けた東邊道を荒した李春潤一味が北平に於て再組織した僞勇軍の先發隊員二名を本月一日本溪湖警察署に於て檢擧し、一味が引續き大連に上陸する形勢ありとて、指揮を仰いで來たので、卽刻被檢擧者を大連に連行して警戒網を張るべく命令したのである、斯くて李式に二月十日迄に本溪湖で四名、大連水上署で十六名、合計二十名の幹部を檢擧して、彼等の出鼻を挫いた事は關東廳警察として近來の一大痛快事である、これ全く廳下の全警察官諸君が日頃一致協力酷寒を厭はず不眠不休活動されて居る結果の表現で、此點誠に感謝に堪へぬ、殊に今回の本溪湖元刑事が汽車から降りて人目を忍ぶ支那人の態度を怪しいと睨んだ第六感と水上署員の緊張せる寢食を忘れての努力に對しては滿腔の敬意を表する次第である、今回取調の狀況を綜合して見ると僞勇軍組織の內幕が如何に大々的なものか又如何に根強いものかといふことが判然として今更驚くの外はない、尙總指揮官たる李春潤も近く殘黨を從へ多數の武器彈藥を數隻の戎克に積込んで警備の手薄な地方に上陸する計畫が明らかとなつたので日滿官憲と協力して海陸兩方面の警戒に萬遺憾なきを期して居るが、彼等の一部は既に入滿して居る次第でもあるから當分少しも警戒の手を緩めることは出來ない

署員諸君の活動に感謝

三澤水上署長談

實際に連絡を取つて委任狀を持つて來る奴は却々見つけられない、最初本溪湖において端緒を得てから本溪湖署員と本署員とが協力して當つたわけです、本署のこの事件に當つた諸君は十日間といふもの不眠不休で働いてくれましたが全く感謝してゐます、檢擧一段落をつげてつく〴〵思ひましたが、彼等の潛入は實に巧妙なもので委任狀なんかはちつとやそこらの身體檢査では却々發見できません、もしもこれが發見出來なかつたら東邊道か三角地帶で大擾亂を惹起されるところでした（寫眞は三澤署長）

建築旺盛で 煉瓦拂底

旅順で製造

新國都新京方面の新築激增、奉天方面の新築熱亦盛んなる爲め煉瓦の拂底を來し今や全滿的に拂底を來さへ全く絕無となつた爲め旅順市にても本年は近く市廳舍、映畫館を始め其他諸建築工事に對し多大の支障を來しつゝあるので市の建築委員は來る二十日會合の上市廳舍使用の煉瓦製造を刑務所へ依賴すべく打合せを行ふ由

學校や寺廟の田畑を國有に

【奉天電話】滿洲國政府としては全滿の教育體系の確立と省、縣、市の各學校の管轄統制により府、縣、市の學校豫算範圍が決定した曉は現在學校經營のもとにある學校の所有學田は一切國家にこれを回收する方針であるが、寺廟の田畑も亦同樣にこれを國家の財產とする意向で目下學田、寺廟の調査に着手してゐるが、全滿的には相當の面積に達するとのこと

山田耕作夫妻 露西亞へ

【敦賀十九日發】天草丸は昨日午後二時ウラジオストック向け出帆したが船中には歸國するロシア大使トロヤノフスキー夫妻、音樂演奏にロシアに行く山田耕作夫妻があつた

新たばこ賣出

【東京十八日發】大藏省專賣局は現在巻たばことして小形の大衆向き安煙草セニヨリタスを製造販賣中なるが今度新時代の趣味嗜好に應ずるため品質形式包裝等に工風を凝し小形巻たばこパコマを賣り出すことゝなつた

妻は斷然離別 葬儀にも參列せぬ

名譽も地位も葬られた……と 櫻內辰郎氏語る

【東京十九日發】櫻內本子孃の死は辰郎夫人明枝さんより「辰郎亂倫の犧牲なり」と放送され一時世間は明枝本子に同情を持たれたが昨日下關に於て發表した辰郎氏の聲明書めいた談話及び明枝夫人の身邊を繞る行跡等により本子孃の死は父辰郎氏の亂倫の結果によるより寧ろ母明枝夫人の行跡による事多き事ポツ〳〵確められて來た卽ち明枝夫人には品川區南品川東京人絹株式會社々員で昭和四年慶應經濟部を卒業せる町田三七男（二）なる青年があり頻繁に櫻內家に出入明枝夫人と懇意を重ねた二人の關係に就いては辰郎氏も感付いてをり辰郎、明枝との間には屢々口論が交された事あり本子孃の自殺も町田と明枝夫人の關係を苦にしての事ではないかとされてゐる尙辰郎氏が下關に於いて家庭の醜狀を曝け出し自分のみを庇はんとした陋劣なる心情に就いても指彈されてゐるが辰郎氏は東上の途中妻の爲め一身の名譽も地位も葬られるに到つたので妻は斷然離別し又本子の葬儀にも參列せぬと語つてゐる

藝妓太郎、門司で行方をくらます

人目がうるさいとて

【廣島十八日發】下關水陸兩署に今日午後小原菊子（二）なる女性の搜査願を出した一紳士があつた右は父の亂行を諫め毒を仰いで逝いた問題の本子さんの父櫻內辰郎氏で菊子とは悲劇を繞る女、赤坂の元藝妓太郎で今朝船が門司に寄港するや辰郎氏は記者團に包圍されてゐたが、事件の全貌を知つた太郎は居たゝまらず、下船行方を晦ましたので自殺されてはと保護願を出したもので、當局でも各署に手配中、午後五時糸崎より新聞記者や、うるさい人目を避けるため九時下關發三等車で歸京す新橋驛で待つ

その電報が屆けられたので同氏もホツとした、氏は語る

妻の亂行に自分も少し自暴氣味となり、數年前から菊子と交渉を續けてゐる、本子の死も僕より却つて母の亂行に起因すると思ふ、葬式は兄に委せてあるが勿論自分も列席するつもりである

滿洲國々歌 發表

【新京電話】既報鄭國務總理が自ら筆を執り心血を注いで作詩に沒頭、過日脫稿大連音樂學校長園山民平氏の手により作曲中であつた滿洲國々歌は十九日作曲も出來上つたので發表を見た

父の歸りを待つ 櫻內氏邸

辰郎氏は歸宅せず 夫人は奧の一室へ

【東京十九日發】父歸る！その日の高輪車町四四の櫻內辰郎氏邸は早春の明るい陽に包まれて姉の死も父母の葛藤も知らぬやうな四男眞久（九）四女芳子さん（七）が無邪氣に部屋中を逃げ廻つて、朝早くから父の歸宅を待ちわびてゐたが、午前八時半東京驛着の期待は裏切られ辰郎氏からは「歸宅遲れる」との電報が來たきりで何處かへ途中下車して仕舞つたらしい謎を殘して死んだ本子孃の遺骸は二階八疊の間に白布に掩はれて安置され白百合の香の中に安らかな眠りを續けてゐるが此の死の悲劇のヒロインと見られる明枝夫人は奧の一間に閉ぢ籠つたきり固く面會を避けてゐる、門から玄關までの左右は親友達が送つた花環花束が處狹く列べられ噂好みの近隣の人々が足を止めて覗き込んで行く、本子孃の告別式は二十一日午後三時から四時まで麻布鳥居坂日本メソヂスト麻布敎會で行はれる

鄭桂林遂に退却

民團軍の夜襲を受け

【新京電話】省境を越え熱河より奉天省內に侵入し來れる鄭桂林軍の一部約二千は大房身、綏中北方附近において同地方の滿洲國人より成る民團軍のため十二日より十四日に亙り數度の夜襲を受け其の銳鋒に抗し難く大損害を蒙り遂に熱河省境を退却せり

劉不開の匪賊 擊退さる

【安東電話】當地某地關に達した報告に依ればかねて撫松縣城を占據すべく準備しつゝあつた匪首劉不開の部下約三百は去る十五日同縣城を總攻擊して一旦占領したが同地警備官兵の奮鬪に依り交戰二時間の後悉く之を擊退した

拐帶犯潛入

大連署搜査中

東京日本橋區兜町四貴美山大造かた店員福島縣人鈴木秋夫（一九）は主金一千八百圓および大造振出しの小切手額面二千五百六十七圓を拐帶密かに大連へ入り込んだ形跡ありと被害者の電報手配により目下大連警察署に於て嚴重搜査中

灤州一帶雜軍

民家で掠奪暴行

【天津九日發】唐山から入津した某華商の語る處によると、北寧沿線駐屯の支那兵は防寒服や兵舍の防寒設備糧食の給與粗惡の不平から軍紀の紊亂のため商店を襲つて掠奪し民家の家財を徵發して暴行を恣にして居るため唐山灤州一帶は被害甚だしく殊に鷹巢附近は最も甚だしく民衆の避難者は群を爲して安全地帶に避難して居ると云ふ事である

鮮農副業品 評獎勵會

【奉天電話】東亞勸業の農場與家屯において十八日午前十一時から鮮農副業品評獎勵會を開催し、奧副領事、民會理事等の參觀あり東亞勸業では優秀者にたいし賞を與へた

東洋平和のため大演說會を開催

大連雜誌記者協會が

聯盟の空氣は遂に險惡化して我帝國は世界的孤立の立場に陷らんとしてゐる、この時に當り帝國の面目發揚と東洋平和のため大連雜誌記者協會では十九日正午から大連劇場に於て非常時大演說會を開催した、この日雪模樣の空寒く風さへあるに憂國の市民は會場目がけてドシ〳〵押し寄せ定刻前既に滿員の盛況を呈し入場出來ず止むなく引き返す者も尠くなかつた定刻米倉幹氏拍手裡に迎へられて登壇一場の挨拶を爲し次いで

一、日滿人の自力更生と大東洋結盟　由田一郎
一、當然の歸結　脇屋次郎
一、聯盟脫退と精神武裝　西川國一
一、所感　永井四郎
一、關東州防空施設の充實を計れ　小澤太兵衛
一、生命の前に法律なし　大塚新藏
一、非常時と國民の覺悟　小川順之助
一、亞細亞に還れ　小野實雄
一、脫退後に來る可き內外情勢　寶性確成
一、脫退後の覺悟　高田友吉
一、非常時に非常手段を　森宣次郎
一、亞米利加の帝國主義と時局　伊藤時雄
一、非常時に吾人の覺悟　辻慶太郎
一、未定　田所耕耘

等交々立つて擧國一致と非常時國民の覺悟を絕叫し左記決議を爲し內閣總理大臣以下各大臣、貴衆兩院議員、關東軍司令官に打電したが鈴木政友會總裁、內田良平氏、滿洲國謝外交總長其他より激勵電あり非常に盛會であつた

開かれた登龍門に 受驗者殺到

百名採用に三百五十八名 滿鐵社員採用試驗

滿鐵の中等學校出身者の登龍門たる滿鐵の採用試驗は豫定のごとく十九日の午前中に滿鐵社員倶樂部で行はれた、朝來、淡雪ふる倶樂部の冬枯木立の庭前に集まつた受驗生は三百五十八人、昨年の卒業生らしいオーバーに中折の瀟洒なのもちらほら見えるが、大部分は今春卒業する中學生や、商業生で黑い詰服の外套が群がつたところは、何のことはない

鳥の大群

だ、八時二十分、協和會館に一同集まると古賀人事課長代理は壇上に立つて……今年も志望者が非常に多いので御氣の毒ですが多數の諸君を御斷りせねばなりません、しかし諸君は皆前途有望の青年で百萬金にも代へ難い人たちです決して今度の試驗にはねられたからとて悲觀することはなく、益々勇氣を揮つて運命を開拓して下さい

と九州辯で諄々と熱誠を揮ひ若い受驗者をシンミリさせた、それから一同

受驗場に

あてられた倶樂部大食堂に入り、九時十分からいよ〳〵試驗開始だ、まづ適性試驗で一題二分づゝ七題出る、いづれも審査役能率班で苦心した問題で蛇が出るか鬼が出るかわからぬので緊張したものである、終つて自由作文「日本と滿洲の關係について」三十分、それから十五名の試驗委員が手別けして願書に貼りつけた寫眞と

實物とを

照らし合せて首實檢をやつたが不正受驗者一名もなく午前十一時半滯りなく終了した因に當日の受驗者內譯は

▲中學　滿洲一二七、內地一〇二▲商業　滿洲四一、內地四三▲農業一八▲工業二五▲鐵道學校一

この內採用になるのは事務系統約百名の見込（技術屋は內地が主なので全然不明）で約三分の一の激しい競爭である（寫眞は緊張した試驗場）

卓球選手權大會

青年會で午前中成績

本社後援滿洲卓球協會主催の全滿洲團體卓球選手權大會は十九日午前九時より大連敷島町基督敎青年會館屋內體育場に於いて全滿洲の精銳八チーム參加（大倒は棄權）の下に開催したが一流選手を網羅した全滿洲選手權大會のこととて熱球飛び場內を埋める觀衆擾戰に固唾を呑む還來の全鞍山、大接戰の末南滿電氣に辛勝し又優勝候補の撫順倶樂部大倒の棄權に一勝して全鞍山は强豪河田を擁するヤマト倶樂部に撫順倶樂部は老功吉丸兄を大將とする中央試驗所とそれ〴〵準優勝戰において相見ゆることゝなり午後よりの接戰期待され觀衆續々と來場す午前中の戰績左の如し

第一回戰

▲全鞍山11―10南滿電氣
大谷1―3岩崎○
黑澤1―3横尾○
○坂井3―1赤崎
○大久保3―2林
○小枝3―1柴山

▲ヤマト倶樂部11―7滿鐵用度
○相島3―2鮫島
○河田3―0小川
櫻井2―3菱川○
○片島3―2山路
○上田(不戰勝)田崎

▲撫順倶樂部(棄權)大連商業

▲中央試驗所11―9南滿瓦斯
○吉丸兄3―2加藤
吉丸弟1―3土肥○
中村1―3越山○
○栗山3―0水村
○井上3―0丸田

天氣豫報

二十日　北西の風(曇)　驟雪模樣

各地溫度　十九日午前十一時

大連零下三　營口零下五　旅順〇　奉天同一〇　新義州零下七　新京同一〇

國難日本刀（248）

高桑義生作　京極佳夕畫

曙の勇士（三）

ホールの手から放たれた甲斐もなく、お加代は、あれからすぐに彼女のあざをつけた傳次の手に捕へられて、この役宅の一室に、監禁され、むざんな拷問に責められた。

まもなく、傳次はお加代を伴つた。

美しい者は傷みやすい。お加代は目立つてやつれを見せた。が、いつ如何なる時も取亂さない彼女である。澄み切つた顏は、純白な花のやうに、明眸はあきらめを宿してゐる。手錠をはめられて、さすがに繩だけはかけられなかつた。

淡路守は醉眼を見開いて、お加代を見詰めた。なやめる彼女の美しさを、今ほど強く感じたことがない。ホールのものときめられた間、そして一個の罪人としてのみ見てゐた間、その美しさも、格別心をひかなかつた。が、今、奉行の職をうしなひ、逆境に立つて、しかも四面楚歌の聲のなかに、一個の人間として、赤裸々になつてお加代の姿を見詰めた時、彼は自分でも思ひがけない、はげしい情感を搔き立てられたのだつた。

「お加代……」

と彼はいつた。答へはない。

淡路守もそれだけで口をつぐんだ。

あわたゞしく、さいぜんの下役が駈込んで來た。棒を抱へてゐた。

淡路守は血相を變へて、

「何事ぢや？」

「奉行ッ……」

と聲をはずませた。

「何とした？」

「大事でございます。暴民の數は、刻々に增すばかり、邸内に亂入いたしましてございます」

「腑甲斐ない奴等、たかが暴民、追ひ拂へぬとは何たる事か」

「申譯もございませぬが、何を申すも、多數の人間、如何とも手の下しやうなく……」

「奉行所へ知らせたか？」

「はッ、すぐに火急を告げましたが……ともかく、斯うしておいでになつては、危險でございます。早々裏道づたひにお立退きなさいますやう、その間、手前ども一同暴民どもを防いで居ります」

意外だつた。夢にも思ひがけぬ事だつた。今の世に、こんな事が有り得るのか？　あたかもその昔の敗軍の將の境遇におかれた自分を、淡路守は感じた。瞬間、茫然とした。ばかばかしさ、いまいましさ——この心、この躰の遣場がなかつた。

さきの聲ばかりではない、淡路守を罵る聲まで、手に取る如く聞えるのだつた。

「一時も早くお立退きのほどを……」

と、再び促した。

「小金井氏……」

と淡路守は、傳次の顏を見た。

「是非もありませぬ。早々立退くほかございますまい」

「ウム、事務は濟んだ。整理は終つた。鴉だけぢや。まことに心外に堪へぬが、是非もない。其方たち、かならず役目を首尾よく仕終せよ」

「かしこまりました」

下役は走り去つた。

「連れて參るのぢや」

お加代を指すのだ。手ばなすことが出來ない。

「承知でございます」

まもなく、——

淡路守とお加代を連れた傳次が、非常門から、裏山の間道に走つた時、今し方まで彼等のゐた部屋に闖入したのは、だてんの瑠吉だつた。彼の手は、血潮のしたゝる刀をさげてゐた。彼はお加代の名を呼んだ。

本社特選 新棋戰（其二）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は三六歩迄の局面】土居氏持駒ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香	桂	銀		王	金		桂	香
二		飛					銀		
三	歩	歩	歩	歩		金	角	歩	歩
四					歩	歩	歩		
五								歩	
六					歩	歩	歩		
七	歩	歩	歩	歩	銀				歩
八							金	飛	
九	香	桂	銀	金	玉			桂	香

（△手番）志澤

▲八四歩　△六八玉
▲八五歩　△七八玉
▲六二銀　△三七金
▲四二角　△六六歩
▲六四歩　△二六金
▲三三銀　△三五歩
▲同　歩　△同　金

【土居八段講評】上手六六歩は直に二六金と上ると敵に六四角とのぞかれ飛車の小ビンを威嚇さるゝ憚れある故、譜の如く六六歩と指したのであつて若し敵六四歩と受けなければ、機會を圖つて六五歩と突き出し位を取る心算である。

【荻原六段解說】志澤氏の八四歩で八五歩は當然の攻め順で土居八段の六八玉、七八玉は敵の八筋の攻めに對する之又當然の應手である、續いて三七金は戰線に繰り出して敵よりの攻を牽制せんとする意味を含んでゐる、志澤氏の四二角は次に三三銀と上り所謂[illegible]圍ひの順である、續いて六四歩は七四歩と指されては位負けになり變化が難くなるので六四歩と確かに受けたのである、土居八段の三五歩は手順に三六金の形に直し攻防に十分に活用せんとするのである

キネマと演藝

柳川春葉の「生さぬ仲」を野田高梧の脚色でモダンな衣裳をきせて蒲田カラーで仕上げた新派悲劇である　キャストは奈良眞養の俊策に筑波雪子の眞砂子と岡田静江の球江を配し、娘滋子は小島壽子、母親は葛城文子、それに岡讓二の日下部、結城一郎の慶次である

……◇……

そして脚色で眞砂子を聖林から歸朝させたり、日下部を滿洲から歸らせたりして巧に現代色で塗りつぶし、その他ペリカンの源のヨタ者を活かしたり、近所の子供に突貫小僧を使つたりして却々拔け目がない。

テーマは相變らず生さぬ仲で、大衆を泣かさうといふ意圖は原作の強味で間違ひなくカッチリと纒つたモダン新派悲劇をスクリーンに描いてゐる、監督は成瀨巳喜男、カメラは猪飼助太郎である

うわさ話

伏見直江が大河内の勸誘で日活に復歸せなかつたら▲今度の「叫ぶアジア」の藤原義江の相手女優に内定してゐたと豫想外のニュースが映畫人座談會で發表された▲このロケ一隊には近く島耕二らが加はり一行約二十名になる豫定で撮影は約三週間の日程で全發聲九千尺十卷物の豫定▲滿鐵の後援を得て先驅列車や機關車脫線などのシーンが織込まれる▲藤原義江は若く貧しき音樂家で非常時に直面して機關士になつて殉職するのだといふから愉快である▲日活館は來る廿三日から愈々春の映畫陣のスタートを切るが▲第一週は「煩惱秘文書」前篇とルビッチの「極東特急」、第二週は「煩惱秘文書」後篇とバンクロフトの「歡呼の涯」と決定

ネオブルトーゼ錠

醫學博士　喜々津恭胤　述

學生　學童諸君の一大危機たる受驗準備期は已に到來した　此時期こそ諸君の蒙る禍害は眞に甚大なもので總てを學課の準備にのみ沒頭して**健康の保持を等閑**にするからである　私は茲に都鄙幾十萬の受驗生諸君に向つて最も**效果的な受驗準備法**を傳授しよう　蓋し諸君を善導する事は邦家に對する吾等醫學者の責務であるが故である

一、過度の勉强に因する頭腦の過勞

二、精神過勞及戸外運動の不足による消化障碍を誘因とする全身榮養失調

之等兩者の重疊は容易に神經衰弱を招來し或は結核感染の機會を誘發するに到り遂には**試驗成績を不良**ならしめるもので受驗生諸君にとつては試驗其者より以上の脅威である　茲に於てか之等の脅威を反撥しつゝ勉學を續行する方法が必要となるのであるが私は其唯一の策として**ネオブルトーゼの運用による能率的勉强法**を確信を以て推奬する次第である

一、腦髓組織の貴重成分たる含燐蛋白は過度の勉强によりて著く消耗し頭腦疲勞の主因となるものであるが本劑は骨髓成分中に多量の含燐蛋白質を含有して居るから容易に其缺乏を補ひ更に進んで其充實を圖るので腦髓榮養の目的を完全に果す事となり其結果として頭重　頭痛等は根元的に緩解消散し記憶力　推理力並に理解力等も速に恢復して倍舊の力を加へる譯である

二、本劑の骨質成分に含有する多量の燐及カルチウムは吸收　同化及体內沈着の優秀なるを特徵とするから全身の新陳代謝を好調にし就中精神神經系の過興奮性を徹底的に鎭靜するが爲に不眠を治し多夢を去り速かなる熟睡と爽かなる覺醒とにより終日秋天一碧の明朗さを以て勉學を持續する事が出來る

三、本劑獨特の「骨髓造血機轉＝鐵ブロタルビン協同作用」により淸新豐潤　精氣橫溢せる血液は遍く全身を環流して或は內臟諸器管の機能を皷舞し或は腦髓の疲勞物質を除去淸掃して全身並に腦髓の榮養を向上せしめる

叙上の如き本劑の綜合的作用機轉に基き頭腦は益々明晰の度を加へ体力亦彌々增强して怖るべき神經衰弱又は結核の侵入を完全に**ノツクアウト**し得るに到るのである

要するに一時的　對症的なる催眠劑　興奮劑等の濫用を避け**本劑を以てする合理的科學的正攻法**を執りて着實に堅實に準備を進むれば軈て試驗場に於て泰然自若　十二分に蘊蓄を傾倒して**難關を突破し**美事**合格の榮冠を獲得**する事は決して疑なき處である

學童の平均睡眠時間
（新名醫學博士に據る）

年齡	男子	女子
7—8	一〇、〇八	九、五九
8—9	九、五五	九、五三
9—10	九、四五	九、五四
10—11	九、四一	九、三一
11—12	九、三一	九、一八
12—13	八、五〇	八、五〇

藥價低廉

錠劑	
百八十錠入	一圓
三百六十錠入	一圓八十錢
千錠入	四圓五十錢

粉末	
二五瓦入	七十五錢
一〇〇瓦入	二圓七十錢
五〇〇瓦入	十二圓

品切の節は直接發賣元へ御申込を（振替口座大阪一七四一番）

適應症

貧血諸症・老衰防止・腺病質
神經系疾患・生殖器機能障害
榮養障碍・ビタミン缺乏症
結核諸疾患・骨骼發育障害
小兒發育期・外科手術前後
姙娠産褥期・重病恢復期

液狀 ブルトーゼ 五製劑

補血強壯增進劑　單味ブルトーゼ
神經性疾患特效劑　アルゼンブルトーゼ
腺病質補血強壯特效劑　ヨードブルトーゼ
健胃補血強壯劑　キナブルトーゼ
呼吸器系疾患特效劑　グアヤコールブルトーゼ

株式會社　藤澤友吉商店　大阪道修町
支店・東京・京城

NB—95

滿洲日報
（第三種郵便物認可）

勸告案實行不可能を聯盟側へ文書で通告
總會で採擇成立の直後

【東京十九日發】勸告案は大體廿五日の總會において**日本を除く大多數で一擧採擇せんとする事は、最早や不可避**となつた、依つて外務省は既に之が對策として陳述書の作成、松岡代表の演說草案脫稿を急ぎつゝあるが、帝國政府は右と切離して**勸告案が聯盟總會で採擇成立直後、直に文書で右勸告案は實行不可能なる旨を聯盟側へ通告**するに決した、なほ脫退通告は松岡代表の歸朝復命を俟つて、その時期方法を考慮する筈である

を止めて貰れるなら勸告案の如きも總會で採擇したまゝ寢かして、日支問題は或る程度迄それで片がつくのだ」との見解さへ洩らしてゐる、兎に角熱河問題が無ければこれ以上聯盟との關係が惡くならないといつてゐる

脫退後の我外交政策
極東モンロー主義へ邁進

【東京十九日發】內田外相は既に聯盟が勸告附報告書によりわが國の滿洲國正式承認の既成事實に龜裂を生ぜしめんと敢てしてゐる以上わが政府としても昨秋御裁可を仰ぎ**日滿議定書を調印せる責任を全うし、わが國策の確乎たる權威を保持**するがためには斷じて之を默過すべからず、一路聯盟脫退の決意を以て之に對抗するのみとの強き主張を持し、十七日以來の閣議においても職を賭するの鞏固なる決意を以て之を反覆力說し來つたが、園公の意を體し歸來する齋藤首相を迎へ二十日緊急臨時閣議において極力之を主張すべく、內田外相は必ずその正論が貫徹するといふ深き信念を表明してゐる、**脫退後の外交政策**は內田外相も愼重考究を重ねて來たが、脫退通告と同時に從來の聯盟中心の抽象的國際協調政策を急轉回して**英、米、佛、伊、露各國に對する實質的、個別的協調主義を以て各國との外交關係を調整**すると共に、極東政局に對しては**日支滿三國間の極東ロカルノ安全保障協定を目ざして極東モンロー主義の確立に邁進**すべき大方針を決定し、既にこの方針を基調とし茲數年の過渡期的政局をリードするの用意あるを示し軍當局と緊密な提携の下に着々たる態度を固守してゐる

總會無休續行論有力
代表部陳述書起草を急ぐ

【ジュネーヴ十八日發】聯盟總會順序はイーマンス議長とドラモンド總長とが月曜（二十日）午前會見して確定するが、我陳述書は總會終了後提出するも差支へないとの解釋から、事務局方面は火曜日開會後、休みを入れず水曜日（二十二日）と木曜日（二十三日）會議續行說が有力化した、政府の訓令にまだ接せぬ我代表部は右情報に接するや直に松岡代表の演說と陳述書の起草を急ぐこととする一方、根本的基礎となるべき政府訓令をなるべく早く得る必要があるので今日政府に通告したが、陳述書は一般の注意を惹くためでも總會最終日迄に提出するを有利と解さる

聯盟、熱河問題を懸念
總會で認識不足論沸騰か

【ジュネーヴ十八日發】聯盟における日支紛爭事件の審議は息づまる緊張裡に今や最後の大詰めに近づいたが、現下の事態に於て、聯盟は殆どヒステリー的に熱河の情勢を氣に病み最終總會でも熱河問題が重大論議の焦點となるものと見られる、聯盟は熱河が滿洲國の不可分の一部であり、日滿議定書の明文に基き日本軍が滿洲國軍と協力して滿洲の治安を攪亂する學良軍を討伐する義務を有する事實を全然諒解するに至らず、專ら熱河の戰鬪形勢に丈にとらはれ「數萬の兵が動くのが戰爭でなくて何だ」と幼稚な空論を弄してゐる、この問題に關し事務局有力筋の意見を叩くに「熱河の情勢を極端に懸念し、目下の實際問題は熱河の情勢だけで、若し日本が熱河攻擊

熱河の叛軍討伐は
滿洲國當然の處置

陸軍省新聞班長　本間雅晴大佐談

熱河は滿洲國領土の一部である、これは滿洲國が極東における一獨立國であることゝともに儼然たる事實である

大同元年（昭和七年）三月一日の滿洲國獨立宣言及び同三月十二日滿洲國外交總長謝介石氏が發表した國家成立に關する通告文の劈頭においても次の如く堂々宣言してゐる

奉天、吉林、黑龍江、熱河各省本省特別區、蒙古各旗盟が結合して一獨立政府を組織し、一九三二年三月一日を以て中華民國より分離し滿洲國を創設したることを通告するの光榮を有し候

又事實問題としても現に熱河省長湯玉麟は滿洲國參議府副議長の要職に補せられてゐる

◇

從つて國際聯盟あたりが「熱河討伐」の聲に極度に神經を尖らせてゐるのは、要らざる心配も甚だしい、滿洲國が熱河にうごめく匪賊討伐の軍を起すとしても、それは純然たる國內問題であり、主權の發動として餘りにも當然のことゝいはねばならない

滿洲事變發生以來熱河省長湯玉麟は學良と關東軍の中間に介在して首鼠兩端を持し新國家に服するときは自己收入の減少をおそれ、滿洲國參議府副議長を拒まぬ一方、學良に對しては表面忠誠を誓ひ阿片收入の一部を彼に納附し陽に抗日を裝ひ陰に學良系義勇軍の入境を拒みつゝあつた

一方學良にとつて湯玉麟の向背は彼の運命を左右するものである　第一に阿片公賣の利益を失ひ軍費の缺乏を招くことゝなり、更に滿洲擾亂の義勇軍の操縱根據地としては是非とも熱河をその掌握下に置かねばならぬ、その上反張運動のスローガン「學良の失地回復は無能なり」をもこれによつて粉碎せねばならない、この爲に彼學良は宣傳、懷柔、脅迫あらゆる手段を講じて湯引入れに躍起となつた而も湯側近の要人はすべて學良に買收されてゐる、然し貪慾、卑吝好色の外眼中になき彼の施政は漸く省民の怨みの的となり反湯氣運は省內に漸く滿ち渡つて來た

◇

湯の反滿態度漸く鮮明となるや彼等は流石に日本軍の空襲をおそれ、七月一日以來毎日二百名の人夫を督して熱河宮殿內に三ケ所の地下室を設け、八月末之を完成したと傳へられる、一ケ所に百名位を收容せしめ得るといふ事であるが、これは彼等にとつては笑へぬ悲劇である

湯の麾下に屬する正規軍としては步兵四個旅、騎兵三個旅、その他獨立騎、砲、工、輜重等があるが、その內孫殿英の率ゐる騎兵第九旅が最も優秀である、然し崔は近來湯の命令に服せず自己部隊の擴張に努めてゐるとの流言が傳へられる

而して此等正規軍も流石に阿片の產地だけにその六割は阿片中毒にかゝつてをり而も給料の不渡は實に七ケ月にも及んでゐるので生命とする阿片を得る途すらなく、當然の結果として民財の掠奪によつて一時を凌いでゐる有樣である警務員も避難する民衆を尻目に公然とあらゆる罪惡を犯してゐる

この給料不拂ひと素質の不良にかんがみ湯玉麟は從來の保甲制度＝自衞團を改組して陸年訓練所を新設し自ら長となつて全省を九練區に分け、戰時一區より二萬人、合計十八萬の武裝集團の召集を企圖してその訓練に努めてゐる、この他義勇軍としては馮占海の率ゆる一萬餘を主としその總數約三萬七千が二十一地方に駐屯してゐるが、その系統たるや區々、その素質不良であつて離合集散を反復してゐる

此等義勇軍の資源の供給は北平所在救國民衆後援會に對する各華僑及諸團體の寄附によつてゐるが、その月額は五萬元と稱されてゐる

◇

熱河方面に暗雲低迷し、特に年末より年始にかけて軍隊の行動は積極的となり、挑戰的行動を敢てするに至つた裏に年末南京において開催された第四期三中全會を度外視することは出來ない

第四期三中全會（第三次中央執監委員全體會議）は昨年十二月十五日から同二十二日に亘つて開かれた、この會議は國際聯盟恃むべからずとしその傳統手段たる以夷制夷の失敗に基く現下の國難を脫せんが爲め蔣介石、汪精衞、孫科の合同を策したものである、而して全會における對滿決議として傳へられるものは

國際聯盟は滿洲問題につき實質的なる解決の力を有せざるが故に表面之を利用するは差支へなきも支那獨力をもつて東北を回復するを要す、之が爲め武力抗爭の手段をとるも從來の如き義勇軍の作戰方式たる日本軍に對する決戰主義は失敗せるにつき廣く滿洲各地に分散し日本軍の治安維持を亂し滿洲國經濟機構の完成を終始攪亂す

これによつて見るも學良の背後に有力なる後援を得、熱河の擾亂に必死の努力をせざるを得ざる羽目にあることは明かである

熱河問題は當社に論つた如く全く滿洲國內の問題であり、跳梁する匪賊を掃除することはさきに馬占山軍、蘇炳文軍を討伐したると全く同然の事である、然るに支那方と熱河とを密接なる關係ある如く宣傳し兵火直に北支那に及ぶが如く騒ぎ立てゝるは全く爲めにするデマにすぎない、この問題に對し第三者の介入することは斷じて不可、殊に國際聯盟がこれに對し少しでも疑念を抱くやうなことでもあれば自らその不明を暴露するものであつて、吾人は斷然一蹴すべきものなることを言を俟たないのである【寫眞は本間大佐】

高田商議會頭赴旅

大連商工會議所會頭高田友吉氏は十八日午前十一時四十分來岡旅順市長を訪問、滿洲大博覽會開催中に於ける共助會設置並に其他に關し會談を遂げる處があつた

聯盟の處置に西園寺公も大反對
二十日の閣議で更に對策協議
園公訪問の歸途　齋藤首相語る

【沼津十九日發】齋藤首相は十九日午前九時半興津坐漁莊に入り園公と十時五十分まで約一時間半會見し、聯盟最近の情勢並びに十九國委員會にて決定、二十一日總會に附議さるべき勸告案に對し、速かに緊急閣議にて協議せる政府の方針につき詳細に報告說明し、園公の諒解を求めた結果、政府の方針に對し園公も贊意を表し飽くまで既定方針に向つて一路邁進するやう激勵され、齋藤首相は茲に決意を固め十時五十分坐漁莊を辭去し十一時二分興津發列車にて歸京の途に就いた、園公と會見後歸京の車中にて齋藤首相は近頃稀に見る上機嫌で記者團を引見し左の如く語つた

本日園公との會見は今までと違つて極めて重大で、その內容は一切御話し出來ぬ、聯盟に對する政府の方針は屢々文書を以て報告してあるから、よく承知されてゐるが、直接私から話す必要があつたので訪問した譯だ、公は**聯盟創設**に關係された人で聯盟の趣旨には贊成されてゐるが、今回の案に對する聯盟の遣り方には勿論反對されてゐる、勸告案が總會に附議されゝば日本は之に絕對反對するは勿論、總會の席上わが代表のなす反對演說の內容はこれから閣議で決する、總會で堂々反對論駁した上壽府を引き揚げるかも知れぬが、引き揚げるといつても何も彼も脫退を意味するのではない

勸告案は十九國委員會で決したもので、總會がどうなるかも決定せぬ內に、脫退なんて決めるべき時機でない

熱河問題については公は良く承知されてをり、何もお話はなく聯盟對策についてのみであつた、二十日閣議を開き更に協議する考へであるが、重臣會議なんて未だ考へてゐないが、閣議でも開いた後その必要が起れば考慮する、內田外相とは今日特に相談する事もないが聯盟の狀況に變化があれば訪ねて來るかも知れぬ

けふ閣議で最後決定

【東京十九日發】十七日の緊急閣議における內田外相、荒木陸相の聯盟脫退強硬主張に對し大角海相も考慮の結果、遂に兩相の意見を支持する態度を決するに至つたので、茲に外、海、陸三相の意見一致することゝなり、隨つて閣內における脫退論は次第に有力を加ふる形勢を示すに至つた、この重大問題に對し首相は極めて愼重なる態度を持し最後の裁斷を下す前に元老の意向を質す要ありとし、十九日興津に園公を訪問し重要會見をなし、その結果、廿日臨時閣議を開くことゝなつたが、同日の閣議こそ、政府の最終的方策を決する重大なる意義を有するものとして最も注目されて居る

聯盟を脫退して平和の假面を剝げ
滿洲國外交部總長　帝國政府へ勸告す

【新京電話】滿洲國外交部總長謝介石氏は十八日ジュネーヴにあるブロンソン・リー氏に別項の如き訓電を發すると共に日本齋藤首相、內田外相、荒木陸相及在壽府松岡全權に對し左の如き電報を發した

貴國政府はジュネーヴに於て我國の獨立擁護のため國運を賭して認識不足の歐洲と相見え熱河に於ては**狂暴**なる兵匪掃蕩に協力を誓はる、これ實に日滿議定書の締結によつて確保せられたる兩國共存共榮の原理を實踐する所以にして、我國官民の感銘措く能はざるところなり、然るに聯盟は今回亂暴にも民意により獨立せる我國の主權を蔑視し、貴國に對しては駐滿軍隊の附屬地撤退を勸告するやに報ぜられ、我國官民の憤激今やその極に達す、これ瞭かに匪賊の影沒して王道樂土の希望に輝ける我國を根底より破壞し舊軍閥の虐政に還元せしめ、過去一年有半、兵匪討伐に斃れたる無數の日滿勇士の靈を冒瀆し、建國の聖業に粉骨碎身したる功勞者並三千萬民衆を煉獄に投ぜんとする陰謀にして我等の死を以て反對するところなり

聯盟は今や全く、平和の假面を脫去して亞細亞同胞を相喰ましめ、有色民族の康寧及擡頭を抑壓せんとする白色帝國主義遂行の機關たることを暴露せるなり、貴國が斯くの如き亞細亞民族の福祉と兩立せざる聯盟に一刻たりとも留まるは東亞民族の名譽及幸福のために惜しまざるところにして萬一少しの躊躇あれば、彼等の勢力は益々加はり、一歩の讓步遂に東亞は永久に彼等の鐵柵の下に同胞相喰む奴隷狀態に呻吟するに至るべし、東亞の義勇國こゝに見るところあり、敢然として聯盟脫退を決意し以て亞細亞に歸來せんとす、欣快何ぞ堪へん

過去一切を清算し東洋平和に努力
關東軍首腦部の意見

【新京特電】我政府の聯盟脫退の決意に對し十九日關東軍首腦部では次の如く語る

日本は最初から聯盟の忠實なる一員としてその關係は頗る深いものである、それが今日脫退を考慮しなければならぬ場合に立至つたのはよくよくの事情があるからである、滿洲國問題について日本は既に聯盟に對しいふべきことはいひ盡し、執るべき手段は執りつくしてゐる、然るに聯盟は何時までも空理空論に囚はれて問題解決の途を益々紛糾せしめ、剩さへ最近高壓態度をもつて臨むに至つては、我々として別に考へるところがなくてはならぬ、この際脫退によつて過去一切の行がゝりを清算し、獨自の方法で問題の根本的解決を圖るのは東洋平和のため最も必要であると信ずる、隨つて聯盟脫退の是非を今更かれこれと論議するが如きは滿洲の現狀に卽せざるものである

引揚げ指令
飛電壽府へ

【新京電話】謝外交部總長は十八日國際聯盟に關する聲明書を發表すると共にジュネーヴの滿洲國代表ブロンソン・リー氏に對し左の訓電を發した

この聲明書を各國代表及其の他關係者に通告公表の上卽刻事務所を閉鎖し、ジュネーヴを撤退せよ

聲明發表

【新京電話】滿洲國外交部總長謝介石氏は國際聯盟に關する長文の聲明書を十八日發表するところあつた

車中の首相

【橫濱十八日發】園公訪問のため西下した齋藤首相は車中一等寢臺のドアーを固く閉ざし絕對に面會を避け秘書官をも遠ざけひたすら沈思默考國難來に備ふるべく思ひを練つてゐる

齋藤首相　外相と協議

【東京十八日發】齋藤首相は十八日午後三時五十分內田外相を官邸に招致し種々報告を受け協議した

議會振肅案
卽決可決さる

十八日の衆議院本會議は午後一時十九分開會

一、小切手法案（政府提出貴族院送附）

小山法相の說明あり中野勇治郎君（政）日本は明日にも聯盟脫退の逼迫せる時に當り本法の施行も如何と思ふ、と上程、法相これに答へ十八名の委員附託

一、昭和七年法律第六號中改正案（七年度一般會計歲出の財源に充つる爲め公債發行の件）（政府提出）

高橋藏相の說明あり直に委員附託此時日程變更の緊急動議出で

一、議院法中改正法律案（久原房之助君外五十五名提出）

を緊急上程し提案理由說明の爲熊谷直太君（政）登壇議會振肅の必要を說き各派共同提案の振肅法案の效能を並べ次いで富田幸次郎君（民）野田文一郎君（國）安部磯雄君（大衆）の贊成演說あり卽決可決これにて日程に戻り

一、刑の宣告猶豫に關する法律案（一松定吉君外五名提出）

一、水產會法中改正法律案（小池仁郎君提出）

を上程委員附託、次ぎに

一、地租法中改正法律案（松岡俊三君外四十四名提出）

外四件を一括上程、松岡、小池、內ケ崎三君寒害地方の悲慘な狀態を述べ地租輕減の急を說き提案の理由を說明何れも委員附託次いで日程を變更し

一、農漁業災害保險法案外一件（胎中楠右衞門君外一名提出）

を上程助川啓四郎君（政友）の說明あり委員附託

一、農業保險法案（高田耘平君外四名提出）

を議題とし、高田耘平君（民政）提案理由を述べ委員附託次に

一、原蠶種國家管理法案（胎中楠右衞門君外一名提出）

加藤知正君（政友）より說明あり水島彥一郎君（政友）と加藤君との間に長たらしい質問應答あり委員附託次いで

一、輸出生糸販賣統制法案（胎中楠右衞門君外二名提出）

一、日本蠶糸株式會社法案

一、不動產融資損失補償法中改正法律案

を上程委員附託とし午後五時十五分散會

滿洲國發展せば聯盟の誤解消散
日滿の協力一致が必要
蜂谷奉天總領事談

【奉天電話】蜂谷新任奉天總領事は中野副領事その他の出迎へを受け總領事館着、午後三時十五分の「はと」で新京に向つたが語る

久方振りの奉天で何だか舊知に會うて自分の故鄉に歸つたやうな氣持がする

と前提し

日本が國際聯盟を脫退せねばならぬ情勢に入つたものとすればこれは日本と滿洲の實情を知らない聯盟の所謂認識不足の結果から來たものである、日本としてはかゝる不自然なる雰圍氣の內にありて何時までも辯明する必要はないかも知れぬが脫退後の日本としては或は國際間に孤立の狀態に陷るかも知れない、不愉快な時代を考へねばならんかも知れぬ、然し日本としてはあくまでも正義の下に滿洲國を安泰ならしめこの王道國家の發育により各國も滿洲に投資し自由に活動が出來るに至れば、今日の誤解は自然に雲散霧消する、隨つて日本國民全體が一致協力してこの東洋における日本の正義感を世界に全面的に普遍化する事が必要であり、又その覺悟をすべき時である、恐らく日本としては聯盟を脫退するに至るであらうが總會で總ては決定するものと考へられる

と氏は領事官會議に出席し直に歸奉の上一度歸省し家族と共に來任の豫定である

宋子文の激勵演說
湯の歡迎宴席上

【新京電話】十八日正午湯玉麟は省政府に宋子文、張學良等歡迎の宴を開いたが、席上宋子文は熱河防衞につき熱烈なる激勵演說を試みた

熱河を保持することはたゞに北支を保持するのみならず、東三省回復の希望をさへ繼ぎ得る、國際聯盟は完全に中國の主張を擁護したとはいへ熱河を防ぐは全く中央自身の努力にまたねばならぬ、日本は近く熱河を攻めるであらう、我武器、軍隊は劣るかも知れないが政府人民一致し國論を統一し前線の武裝同志が犧牲を恐れず後方の人民が財政的にこれを援助せば最後の勝利は吾人のものだ

佛大使歸任旅程

【上海十八日發】駐日佛大使マルテル氏は歸任の途中十七日上海着十九日夜上海發南京、北平、天津經由東京に向ふことになつた

爲替管理法案の施行上の要目

議員質問に對し答辯

【東京特電十八日發】外國爲替管理法案は既に衆議院に於て委員附託となり、十八日より委員會が開かれることになつたが、各委員はこの管理法は廣大なる權限を包含するもので、國民にとつて重大な影響を及ぼすものであるといふ見地から施行の範圍、順序その他につき種々の質問が出たが、大藏當局は依然としてこれが明示を避けてゐるが、大體今日の委員會に於て次の諸點が明瞭になつた

一、資本の逃避並に爲替の思惑はこれを徹底的に防ぐが、貿易の管理は間接に管理するだけに止めること

一、從來問題とされてゐる無爲替輸出は最初から取締ること

一、從來の金密輸出取締りは大藏省令を以てし、從つて取締りの徹底を期し得なかつた、例へば金塊の如きは取締り得たが一種の液體に溶解して持出す如きは取締り得なかつた、今度は第一條二項の通貨金地金、金の合金若しくは金を主たる材料とするものといふ點で嚴重に取締ることになり、大藏省令はこれを廢止する

一、第一條五項の外國爲替相場の取極條項は爲替相場の高低を規定する點であるが、これは現在すぐ實行する意思はない

一、爲替相場安定の目標は定められぬが、思惑を防ぐことによつて出來るだけ自然の相場を現出せしむる意向であるが、將來は安定點を定めることにならう

一、爲替相場は今日の二十ドル見當を動かしたくない方針であること

一、爲替の不自然な騰落は大體本法で取締れると思ふが萬一の場合には別法を設け取締ることにならう

一、將來爲替管理委員會を作るがその場合委員には金融業者のみならず産業家、一般消費者代表をも入れることを考慮すること

消組賣藥問題と關稅問題の對策

實行委員を擧げて善處　全滿藥業組合大會

【奉天電話】滿鐵消費組合の賣藥取扱に對し斷乎たる反對の擧をあげた滿洲藥業組合大會は、十九日午前十時より奉天ヤマトホテルに開催された、先づ大連藥業組合友田氏より消費組合問題を提出し滿鐵消費組合の賣藥取扱ひは一般賣藥業者間の協定を破壞せしむる動因であつて、これがため一般賣藥業者は生活的根柢をおびやかされ今又消費組合の賣藥取扱ひは法的見地から見ても違反行爲であると說明し、組合員討議の結果滿鐵消費組合の賣藥行爲の撤廢に贊成し、この實行については愼重なる取扱ひを要すとて實行委員を選擧し一任することになつた、尚ほこれに次いで松尾奉天組合長より滿洲國輸入關稅に關し提案があり

現下の滿洲國には何等信賴すべき製藥機關がなく、これがため一般藥品衞生會等は日本內地より輸入して居るが、これに對する關稅は非常に高率であつてこのまゝ放任し置くことは國民衞生の發達を阻害するものであると說明し、又小分品に對しては從價關稅を課し大量品は重量稅を以てするため大量品に對しては不當なる重稅を課する結果となつてゐる旨を述べ、藥用赤酒を普通の種類と同視し、藥用肝油を贅澤滋養食物として取扱ふことの不當を高唱したが、これも同樣實行委員を選び關東軍司令部並に滿洲國政府當局に對しその改正方を請願することに決議し午後四時散會した

勞農、石油木材の對支輸出に努力

通商代表部大連支部を通じ

露支國交恢復につれてロシアは積極的に露貨の對支進出を企圖し、石油、木材等は相當大量の輸出が行はるべく、殊に爲替關係から駐日ソウエート通商代表部の如きも大連支部を通じて沿海州木材は日本仕向より支那仕向に力を注いでゐるからこの方面にも相當發展を見るであらう、昨年の露支貿易に關しソウエート外國貿易人民委員部の最近の發表によると昨年一月より十一月に至る期間に行はれた對支輸出は二〇、七三〇千留で前年同期間に比し二、五七四千留、輸入は前年同期に比し八八七千留を減じ不成績を示した、なほ右の數字は新疆省との輸出入が大半を占めてゐるので昨年までは南支、北支方面との取引關係は極めて僅少であつた、取引品目別に見ると輸出は木材、石油、石炭が大部分を占め輸入は製茶穀類等の順序である

オリムピックの記念品を博物館へ

【ロサンゼルス發】昨夏ロサンゼルスで開催された第十回オリムピックを永久に記念する爲にオリムピック委員會では今回オリムピック關係の遺物を總て當地のロサンゼルス博物館に寄贈することになつた、この中にはあの大スタヂアムで各國の優勝を表徵した大國旗を始め優勝メダル、參加各國旗、切符ビラ其他の記念物等が含まれてゐる【寫眞はすばらしい寄贈を受けて大喜びの博物館の整理委員エドワード・ツヘリー氏とグロリア・ヴッドマン氏】

滿洲國における土地制度の考察

（1）──方針と其實施要綱

序說

滿洲國政府は建國以來諸般施設の革新に努むると共に、滿洲における土地制度に關しては特に民政部に土地局を設置し以て土地制度の確立を急ぎつゝある、その根本方針としては支那及び滿洲を通じ古來より土地に關する傳統的觀念たる王土主義及び一般社會に行はれ來れる慣習等を尊重しこれを滿洲における特殊事情に適應せる制度を樹立することゝし、之が具體的方策としては滿洲國全體に亘る地籍の設定を以て主眼としてゐる而して地籍設定に關しては最近漸く政府內部においてその事業計畫及び實施方法の大綱を決定せるも未だ之に關する何等法規の制定を見ない、然しその要綱を吟味するに、滿洲における土地制度の過去現在及び將來への推移の一斑を知るの上において益するところ大なるものあり、以下土地制度確立に關する滿洲國政府の方針及びその實施要綱等の概要を述べ、讀者諸君の參考の一助に供せんと思ふ

第一、土地制度の確立に關する方針

一、王土觀念を基調とする地籍の設定

「普天下王土に非ざるは莫し」との王土觀念は支那及び滿洲を通じ先王の遺訓として沿革的に繼承し來れる理想信條であつて、現實の効力があるのではないが、今尚土地に對する權利思想を支配する信條となつてゐる、王土主義に依れば土地に對する國民の權利は國民が國土の上に許された用益の範圍を限度とし、その權利の事實上土地の上に行はるべき範圍はその限られたる地上の境界に在りとされ

滿洲國政府の土地制度確立に關する方針はこの王土思想を基調とする地籍の設定に在る、所謂地籍とは國民の戶籍に於けると同樣の觀念であつて、國內一般の土地に對する權利關係を確定し、土地の經濟界を劃し、併せて土地の經濟等級を査定し、土地に對する國家行政の根幹を形成するものである、蓋し國家民政の源泉を戶籍に在りとすれば國家地政の淵源は悉く地籍に由るものといふべく、民を養ひ民を保護するを民政となし之を以て國家施政の要諦とするならば地籍の設定は國土を保護し國土の用益を統制し國家財政の基礎を鞏め國民經濟の源泉を保持する基調なりといふべきであらう

二、對地行政機關の設置

地籍の設定と其の整理とを行ひ併せて土地政策の遂行を期するため政府は民政部內に特に土地局を設け以て對地行政の統一を司どる機關とした

土地局の機能は（イ）地籍の設定機關たること（ロ）設定したる地籍の管理機關たると及び（ハ）土地政策に關する事項の討究並其の實行機關たることで、以上三面の機能は土地局の業務上互に相關持して不可分關係をなし、土地局をして實質上最高の地政統轄の機關たらしめてゐる、卽ち土地局の組織を表示すれば左の如し

土地局＝總務處（庶務科、地籍科）審査處（審定科、調査科）測量處（測量科、製圖科）高等地政委員會、土地局職員講習所

（註）高等地政委員會は土地政策關係事項中その重要なるものに限り、政策の透徹を期し土地局の方針を樹立する爲特定の委員を以て組織するものとす、土地局職員講習所は地籍調査事業が統制ある方針の下に一貫したる法度に聯照して行ふことを絶對要件とする點に鑑み、右調査事業に從事せんとする者に對し之に必要なる智能を授くるため土地局內に附設するものとす

三、地籍設定の段階

地籍設定に關する土地局の計畫は（イ）過去及び現在における國內の土地に關する制度乃至習慣を詳細に調査檢討すること（ロ）右調査の進行に伴ひ又はその結果に基き從來の制度慣習等を政策的に檢討しその統制を圖ると共に新に樹立を要すべき政策的事項を討究すること（ハ）（イ）及（ロ）の調査の結果に基き、土地に關する法規を制定すること の段階に分たれ、右各段階に關しては夫々之が實行に關する具體的方法を考究してゐる

滿鐵增資に關する藏、拓兩相意見一致

政府は半額を出資

【東京特電十九日發】永井拓相は昨夜高橋藏相を赤坂表町の私邸に訪問、滿鐵增資問題に關し隔意なき意見の交換を行ひ、結局兩主務大臣の意向は完全に左の如く一致した

一、滿鐵の增資を八億圓（新增資三億六千萬圓）とすること

一、右增資につき政府はその半額を出資すること

一、政府は滿鐵の有する英貨公債四百萬ポンドをミントパアにおいて引受け、半額負擔に振り向けること

而して今後の手續は三月上旬開催の滿鐵臨時株主總會において定款を變更し、これが認可申請をなしたる上拓務省より結局「豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件」として議會に提案協贊を求むることゝなるべく提案期日は三月上旬の見込みである

一般會計豫算百三十萬圓見當

大連市の查定會議

大連市役所の昭和八年度歲入歲出豫算は理事者連日の查定會議で漸く十八日までに一般會計だけ濟ましたがこれに依ると總計百三十萬圓位に達すべく尙特別會計に屬する分は二十日から查定に入り今月一杯中には全部の編成を終り市參事會員に內示出來るまで滑ぎ付ける心算である

日銀定時總會

【東京十八日發】日銀は十八日午後二時半百一回定時株主總會を開き土方總裁議長席に着き開會、監事に宮內省內藏頭大谷正男、岩出惣兵衞の兩氏を擧げて後昨年中の經濟界大勢と同行業務に關する總裁の演說あり、昨年下半期決算報告後配當一割を決定し三時半散會した

化學工業會社創立前景氣

公募株卽日賣切れか

【東京特電十八日發】日滿經濟ブロックの先驅を爲す滿鐵の硫安事業、滿洲化學工業株式會社の創立事務は素晴らしき前景氣の下に進捗し愈々資本二千五百萬圓、五十萬株中四十萬株は發起人、贊成人に於て引受濟みになり、十萬株を二十三日より二十五日迄三日間に於て一般に公募することになり、二十日都下の各紙に一齊株式募集廣告をすることゝなり、大淵理事は十八日正午創立委員長斯波顧問に代りこれを公表した、申込所は日本興業銀行本店、鮮銀京城本店同大連支店であつて既に各地の肥料業者、農村の各團體、工業關係者等より申込希望殺到し四、五圓位のプレミアムは間違ひなくつくものと觀られ早くも卽日賣切れの恐れありといはれてゐる

化學工業募株

【東京十八日發】滿洲化學工業會社は十八日左の通り發表した

一、資本金二千五百萬圓

一、一株額面五十圓

一、募集株數十萬株

一、申込個所　日本興業銀行本支店、鮮銀京城、大連、本支店

一、第一回拂込期日　昭和八年四月十五日

八面相

ラヂオ番組につき　大連放送局放送部

五十行以內　中傷はさらず　投書歡迎

◇十五日の本欄に「放送番組の不徹底」と題する百村生氏のお尋ねにお答へ致します、放送番組の組合せにつきましては、常に細心の留意を致して居る譯でありますが、尙今後共一段の注意と努力を致す考へであります。

◇唯茲に御諒解を願つて置きたいことを概括的に申上げますと、當局の放送事業は御承知の如く關東廳遞信局の實驗放送でありますから、內地各放送局とは全然其の組織を異にして居ります又地理的乃至は氣象的原因に影響されて、空中電波の「コンデイション」が頗る惡まれて居ります、冬季の內地中繼は良好でありますが、夏季におきましては殆ど不可能であります（昨年夏季の中繼は東京、奉天間に特に試驗的に短波長で放送されたのでそれをキャッチすることが出來たのであります）又その他種々なる事情の相違で、內地各放送局と同樣にまゐらないのでありますから、此點御賢察を願ひたいと思ひます。

◇然しながら、當地方の國家的、社會的關係並に地理的位置を併せ考察します時、當局が內地各局と共文化的使命に就ても、敢て自ら過小評價する要は毫末もない譯でありますから、當局の名實共に完全なる發展の過程を辿る途上に、今後共絶えず御鞭撻下さいます樣お願する次第であります、尙詳細なる事柄に就きましては、限られ居る本欄ではお答へする事が困難でありますから、勝手ながら親しく御面談申上げ度いと思ひます。

滿洲貯金整理狀態

一債權者

◇私は滿洲貯金株式會社の債權者でありますが、私の住所が一定しなかつたゝめ、昭和三年以降の整理狀態については一向承知して居ません、その後どんな狀態にあるのか、現在の整理委員はどなたですかお知らせを願ひます。

お答へ　滿洲貯金會社は前年破綻後整理會社となつたが現在は市內西通り第一無盡會社に於て整理の代行をやつて居ます、委細は同社に就てお聞き下さい

領事會議

けふ第一日

【新京電話】新京大使館において六日間に亘り行はれる全滿領事官會議の二十日第一日は午前九時半開會、栗原書記官の開會の辭に次ぎ、矢野參事官、內田外相の訓示を代讀し終つて武藤大使から訓示あり、後議案の討議に移るが會議の經過はその都度發表の筈である尙第一日午後の會議後武藤大使は出席者全部を官邸に招待晩餐會を催すことゝなつてゐる

大孤山の開耕準備

【奉天電話】東亞勸業公司では大孤山における有望な水田耕作地二千町歩の開耕着手準備のため三月上旬駐在員を派遣することに決定したが、本年は一部分の鮮農小作人を收容し、將來は鮮農の自由移民として集團移民たらしめる方針である

旅順後任助役

岸田氏諾否保留

旅順市後任助役に關し米岡市長は十八日午前十一時市長室に於て岸田愛文氏と會見親しく懇談を遂げた結果市長よりは切に就任方を懇せる模樣であつたが岸田氏は尙明確なる回答を保留し會見約一時間餘りで終つた、右岸田氏の決意如何に從つては助役收入役並に市會議員選任に關し來る二十二、三日頃市會招集の豫定と見做さる

鑛山用機械をロシアから注文

【東京十九日發】駐日露國通商代表部では本國からの注文指圖により、かれて日本で買付けらるべく研究中の鑛山用機械類の注文に關し日立製作所に引合中であるが露國側が注文せんとするものは極東露領の鑛山で使用するポンプコンプレッサー六十臺、金額十五萬圓內外で近く成約の運びに至る模樣である、なほさきに淸水貿易に注文した造船所用工作機械金額十萬圓をはじめ目下浦賀ドック、淺野造船、三菱造船、日立製作所等に引合中の浚渫船、タークボート等の注文も近く纏まる筈であるから極東第二次五ケ年計畫の進展につれてこの種機械類の日本への注文は漸次增加するものと見られてゐる

米海軍の巨頭帝國を誣ふ

日本軍擴能力無制限

【ニューヨーク十七日發】ウキリアム・モフエット海軍大將は本日アナポリス海軍兵學校で左の演說をなした

米國は海軍力劣弱なるため他の列強から戰爭の渦中に誘引される惧れがある之に反し日本は何等條約上の制限を受けざる滿洲國の名を以て如何なる尨大な海軍でも建造することが出來る

小觀

ブロンソン・リー君、中々味な事を云ふ▲滿洲國人は日本の侵略を恐れない、日本が友好的援助の實に反せんか、侵略を受くるのは寧ろ日本である▲又曰く、滿洲を支那の一部と見るなら、滿洲軍が平津に侵入しても文句は云へまい▲何れも尤も至極だ、但し滿洲軍は敢て平津に侵入する筈はない、彼等は只獨立を欲するのみである▲同胞の國家が棄れてゐるのをこそ憂へ、それを棄さんとする筈はない▲張學良が之れに對して猥に兵を動かさんとするのは、所謂庸人自擾かだ、良民の爲めでなく、國の爲めでなく、良民の考ふる所は、張學良の考ふるからざる存在だ▲張學良の盜賊の親分だ、良民とは兩立すべきではない、それを相反せしむるもので一家の人で、敢て相反するものではない▲滿洲國人も支那人もめではない▲抑も國際聯盟あたりでは、この道理が分明しない、軍閥の存在だ▲軍閥を國家の代表者だと思つたり、それを良民の保護者だと思ふから間違ふのだ▲軍閥を國家の代表者としておくのは外交上の便宜的擬制だ▲それを實際にも然る如く錯覺してゐる所から、すべての誤謬が湧く▲歐米諸國を標準にした概念の上に、支那の事は考慮を進め得ないことがどうしても分らないのだ。

撫順炭の內地移入高

【撫順電話】昭和七年度一月より十二月末までの撫順炭の內地移入高は、二百十萬四千六百六十九噸（但し朝鮮、臺灣、樺太方面を含む）にして七萬九千二百十四噸の增加であつたが、撫順炭移入制限協定があるとはいへ一般內地の好況が撫順炭移入に對して好影響をもたらした結果であらう、阪神地方の五十五萬六千六十六噸を筆頭に地方別に示せば左の如くである

地方	移入高
阪神地方	五五六、〇六六
京濱地方	四八九、四七四
伊勢灣地方	三三二、九三五
九州地方	一九三、四一八
瀨戶內地方	八三、七九一
北陸地方	四七、三五四
山陰地方	三八、三二四
東北地方	三、七〇一
其他	二三、一九五
鮮、臺、樺太地方	三〇九、四一一
合計	二、一〇四、六六九

城壁に砲壘を備へた理想的な集團移民村
七百萬坪に百五十家族を收容
建築學會で研究發表

【東京特電十九日發】滿洲國農業移民の根本的對策については各方面において研究されてゐたが、最近東京帝大工學部の内田、岸田兩博士、日大笠原教授、菱田內務技師、加藤陸軍一等主計等により大體東京程の面積を持つ

集團移民 の研究論文を完成し、來る四月の建築學會に報告されることになつた、この計畫によるさ、村が七百萬坪程の六角形の聚落三個より成立ち、聚落の中央には城壁さ非常時に備へる砲壘に圍まれた四角の中央區がある、その中央區にはそれ〴〵百五十家族が三百坪の畑地の中に住宅さ納屋、雞舍、豚舍等を收容し中央區の中に小學校、役場、倉庫、市場娯樂設備等が出來る、而して農民一家族は一年に自分の耕作する田畑から八百四十圓の收穫があつて生活費その他經費を支辨して年百五十六圓の

貯蓄さへ 出來る計算さなつて居り、この一家族五人の生活見込は內地より餘程餘裕のあるものである、內田博士は語る

これは政府から頼まれたものではなく我々技術家さして國家に御奉公するつもりで立案したもので、滿洲の實際を視察研究の上に計畫を樹てたもので多少お役にたつこさゝ存じてゐます

全滿擾亂の陰謀を未然に防いだ殊勲者
魯濱、林志敏を逮捕した本溪湖警察吉元刑事

鋭敏に働く第六感から怖るべき全滿擾亂の大陰謀を未然に防止し得た大殊勲者本溪湖警察署刑事吉元源佐氏(三九)は、大正八年本署に勤務することゝなつて以來、十年の長年月を默々さして、職務に忠實を勵み來たつたが、多年忍從の辛苦は酬はれて、今や一躍前衛守護の英雄さして感謝、賞讃の

感激の 渦中に立つに至つた、吉元刑事は本署に勤務する以前は熊本騎兵第六聯隊曹長さして、模範曹長の名を謳はれてゐた鹿兒島を生地さする純粹の隼人であつて、劍道をよくし現在は二段の腕前である、然も斯かる豪傑にも似ず趣味は多方面に亙り、殊に麗々公務の餘暇を見てコートでラケットを振つてゐるが、球攪きは却々堂に入つたものである、家庭的にも頗る惠まれてみつえ夫人さの間には長男美水右(一四)を頭に二男二女の子福者である、吉元刑事は事變勃發以來、當市は何しろ奧地に馬賊の巣窟を控へてゐるので每朝家を出る時は死を決して出た程であつたが、丁度一日は

部長が 沿線に出張してゐたので、其の留守を引き受けて緊張し切つてゐた時に、魯濱、林志敏の二人の北平からの聯絡員が其の視野のうちに映じたのでどうして免れることが出來よう、彼等は吉元刑事の鋭い追求に、遂に滿洲擾亂の大陰謀の全構圖を逐一白狀せざるを得なかつたのである、

吉元刑事は「天彼等の不逞に與せず正義に味方したものであるさ警んでゐる」さ、云つてゐるが、天は默々さして職務に精進して來た此の警官に惠みを與へたものであらうさ、噂されてゐる、前衛守護の先頭に颯爽さ輝く榮光の旗手吉元刑事の双頰には、大任を果した後の快よい興奮がかすかに浮んでゐた(寫眞は義勇軍連絡員逮捕に殊勲を立てた吉元刑事、江□□託張曲教巡捕)

豫期しない陰謀に驚く
吉元刑事語る

【本溪湖電話】全滿擾亂の恐るべき大規模の陰謀を未然に防ぎ首謀者逮捕の端緒を摑んだ大殊勲者本溪湖警察署吉元巡査は淺黑い精悍な面貌に喜びを一杯湛へながら謙遜した口調で左の如く語つた

國際聯盟の動きによつて張學良は種々陰謀を廻らしその密偵や不逞漢が這入り込むから注意せよさの

命令を 受けて連日緊張して警戒の任に當つてゐましたさころ一日午後四時五十九分の列車警戒の折二名の支那人の擧動がどうも怪しい、日本警官の顔を見るさ眼をそらす、日本人を避けてゐるその態度も何んさなく怪しい、そこで二名の支那人を署に連行して取調べるさこの邊の言葉ではなく流暢な北京語である、然し何んさしても口を開かうさしない、愈々怪しいさにらんで嚴重な取調べをやるさ流石の彼も最早逃れぬものさ

觀念し て逐一白狀した、何か書類があるだらうさ身體檢査をしたさころ衣類の中に李春潤からの密書が縫込んであつたので大規模の義勇軍の全貌が判明しました、私も豫期せざる大掛りの陰謀に驚いて直ちに署長の命を受けて二日大連に連行して大連□察、水上□察の力を借りてこの大陰謀を未然に然も根柢から覆へすことを得たのですこれも天は不正に與せず、正しきものゝ上に助けを與へられたものさ喜んで居ります

林警務局長から金一封を贈る
署長以下感激に咽ぶ

事變勃發以來皇軍の華やかな行動の蔭に隱れて、關東廳の背後の活動は左まで人目を惹かなかつた時には「吾等の關東廳は其の展望の眼を閉ぢ其の活動を止めてゐるのではないか」さまでの非難さへあつた、それが今回は本溪湖の一警官によつて、全滿擾亂の大構圖が未前に暴露され、然も其の一味は悉く逮捕せられたのであるから假然社會の關心は關東廳に集中した、林警務局長はこのことを知るや、すつかり感激して二日直に本溪湖警察署に電報を打つた

「周到なる注意により義勇軍を檢擧せられたる貴署の勞を多さし別に金一封を贈與す」

さ其の功をねぎらふさ共に金一封を贈つた、今まで警務局長から感謝狀を貰つた署はあるが、金一封を贈られた署は一つもない、牧田署長の感激は推して知ることが出來る、署長は感激の淚をこぼして喜んだ。二月十一日の紀元節の式後である、署長は本件に關する殊勲者吉元、有友、山名の各巡査、美、張、堂、宋、莉等の巡捕に其の贈呈せられたる金一封を分配した、功名に喜ぶ本溪湖署に、淺春の陽ざしは明朗に照り榮えてゐる

大連水上署から遼海丸を出動
今日に至るも何等の快報なく
二十日一先づ歸連

李春潤一派が學良の密命を帶び東邊道一帶並に三角地帶における後方擾亂の企畫を端なくも知悉した水上署においては各方面に手配し日滿軍警の手をもつてこれが對策を講じた、一方舊正十五六日を期し李春潤は自ら

幕僚 三十餘名を引具し我克三艘に武器彈藥を滿載し大孤山北井子附近より暗夜ひそかに潛入せんさ手筈をきめてゐる事を逮捕せる孫旅長の自白により知り、假然海上警備の必要を知つた水上署では同署所有遼海丸を出動せしむる事さなり十二日午前九時栗原保安主任を總指揮に小尾特務、內藤縣田兩砲手その他十五名の署員で海上討伐隊を組織、三澤署長をはじめ署員等の

悲壯 な激勵の辭に送られて奧長山列島方面に出動した、かくて遼海丸さ水上本署との間はつねに無電をもつて連絡をさり沿岸一艘をも見逃すまいと凍結した沿岸近くより遙か沖合の間を巡航するさころあつた、しかるに今に至るも何等快報なく一方北平においても今次の企畫が失敗に歸した事を知つたらしいので同船は一先づ廿日歸連するとになつた(寫眞は水上警備に出發する遼海丸船上の署員)

東京高師助教授赤の重要な役割
再建運動に加はり

【東京十九日發】警視廳特高部中川警部は去る十五日築地署に出張、目下留置中の三十前後の男を極秘裡に取調べた結果、十八日に至り豐島區西巣鴨三ノ十六アパート石井友幸(三〇)なることを申立てたので、同警部一行は直に前記アパートに到り家宅搜査をなしたさころ、意外にも同人は東京高師助教授東京文理科大學助手なること判明した、石井は去る十五日夜築地小劇場附近を徘徊中を特高部原田警部が不審と認め連行したものであるが、同夜は同劇場で國際革命演劇同盟記念講演會が開かれたので來會の同志さ再建運動につき街頭連絡中を取押へられたもので過般の共產黨潰滅後殘黨分子を糾合し黨再建運動中の一味との連絡に重要役割を演じてゐたものである

熱河義勇軍積極行動に移る
打通線の線路を破壞

【奉天電話】熱河の義勇軍第一線部隊は愈々積極的行動に移る模樣にて、十八日午前三時頃打通線新立屯附近の線路を破壞して列車運行を妨害し又十七日午後三時頃北票、南嶺線の轉轍機を破壞して百餘名の義勇軍は南嶺に侵入し來つたが、南嶺のトンネルには黃色火藥の地雷火を裝置して日本軍來ればこれを爆破せんさ準備して居る

落成した新京の國都建設局

日出づる國の象徴『富士山』の大額
武藤全權、執政へ記念品獻納
玉堂畫伯一期の傑作

【東京特電十八日發】武藤全權は滿洲國建國一周年の春を壽ぐためその記念日に我が日本の表徴富士山の大額を贈ることになり、一流の日本畫家川合玉堂氏に執筆方を委囑中のさころ今日完成、荒木陸相其他の下見を得て好評を博したが同畫は横四尺縱四尺、額面横六尺、縱五尺の一大作、畫上の秀峰目覺めるばかり、建國記念就贈品さして絕好逸品で、直に發送の手續きをさつたが玉堂畫伯一世の傑作さいはれてゐる

成層圏

處女が惜しさに

樂しかるべき結婚式に處女性への訣別を惜み結婚を解消した話銚子市飯沼町の大製きぬさいふお孃さんは附近某さの結婚式當日「私は處女性を失ひたくないから斷然結婚を解消する」さいふ意味の遺書を殘して晴れの衣裳を着たまゝ家出したので、家人は非常に心配して銚子署へ搜査方を願出たが、上京したらしい形跡があるさ

其後の中岡良一

平宰相原敬氏を東京驛頭に斃したその後の中岡良一は、明春の滿期出獄を靜かに待つてゐるが、獄中にある彼は滿洲事變を祕かに耳にしてから心境の變化を來し、教誨師に滿洲國さか、ファッショさいつたことを質問したり、或はそれに關した圖書の閱讀を嘆願するやうになつた、この點から見て彼は宗教生活から一歩を進め一死報國の氣持となつたらしく、今や新興滿洲國を想像しファッショの波にのつて滿洲雄飛を夢想してゐるものさいはれてゐる

『瞼の母』と對面

大衆作家長谷川伸氏が小說や戲曲に託して四十六年も搜し求めてゐた「瞼の母」實母こうさん(七□)さ東京牛込區甲良町三十の一高教授三谷隆正氏宅で奇しき邂逅を遂げた、これは未知の女性が手紙で突然氏に教へたものだ、氏は四歲のさき母の離婚さ共に一家離散しその後母は再婚する一方自分は義母の手に育てられたゝめ全く二人の間は引き離されてしまひ氏がいくら探し求めても遂にわからなかつたものである

大東京の交通事故

大東京に交通事故のない日はない昨年警視廳管內の交通事故を調査したさころによるさ、事故三萬五千六百五十件で、これによる犧牲者は死者四百四十一名、負傷者二萬一千六十八人さいふ恐ろしい數字である、これを前年に比較するさ件數二千四百三十六件、負傷者一千九百三十九名、死者百三十名の增加振り、何さこの死傷者の數が滿洲事變の總死傷者より多いさいふから驚くべきである

春甦る白瀬中尉

今を去る二十二年前大正元年當時第三回の壯擧で遂に前人未踏の南極に日章旗を飜へした探檢王退役陸軍中尉白瀬矗氏の偉業も、年々國民の念頭から忘れられ、白瀬氏は家庭的にも經濟的にも惠まれず老齡七十五歲の身に鞭うつて生活のために南極探檢當時のフヰルムを持つて各地に流浪、自ら鍵幕の前に立つさいふ零落振りである、この窮苦に同情して、郷里の青年團では蹶起し、白瀬氏の後援會發會式を擧げ直に白瀬氏救濟資金を全國的に募集を開始したさころ早くも各地から續々義捐金の申込みがあるが、これで漸く白瀬中尉にも春が甦へるわけである

景氣よい飛行會社

軍國の春を謳歌して玆にもインフレ景氣の反映さ、航空時代の影響さで全國の飛行機製作所は近年にない大當りで多忙を極めてゐる、隨つて從業員連は不景氣知らずのホク〳〵ものである、このために從來發動機さか部分品の製作をしてゐた會社も我も〳〵さ飛行機製作を行つてゐる

王鳳閣匪撫松を包圍

【奉天電話】熱河における張學良系の反滿軍の活動により學良系の後方擾亂策は積極化し濛江地方に散在してゐた王鳳閣匪部下二千餘名は東邊道の擾亂を企て撫松を包圍し掠奪せんさする形勢に、撫松の王警察隊長は部下五百餘名を率ゐて反擊に出でたが省警備司令部に對し應援を乞ふ旨通報があつたので省警備軍は直に出動の準備中である

拳銃で胸部を射たる

【奉天電話】十八日午前八時二十分頃寬城子において松井俊夫(一九)が何者にか拳銃を以て胸部を射擊され首貫銃創を受けたので直に警察官と憲兵隊で犯人搜査中であるが未だ何等の手掛りがない、松井君は午後一時の列車で奉天に着し滿鐵醫院に入院し加療中であるが生命には今のさころ別狀はないと尙ほ松井君の原籍地は福岡縣門司市大里原住所北寬城子田島貞次方に同居してゐたもので田島方に一名の拳銃所持の滿人が侵入して來たので松井氏は賊の後方より抱きついた際賊が手を後方に廻して同人の胸部に貫通創を負はして逃亡したものであるさ

安樂椅子

滿洲國の產業開發が着手されるに伴ひ最も羽翼を延ばしての活躍を期待されるのは國際運輸會社で全滿に亙つて運輸網の完璧を圖り殊に北鮮終端港完成後に於ける同地の地盤確保等には實に虎視眈々たるものがある樣だ

……◇……

昨年チチハル出張所を支店に昇格し今回應願に出張所を開設したが西は山海關から東は維津等へ本年はまた相當の支店、出張所の開設を企圖して居る、本年の新入社員の採用も既に百名に達し滿鐵に次ぐ大量の採用振りだがまだ〳〵充分ではないらしい

……◇……

昨年だけでも百七十餘名を臨時に採用した直後だけに築島專務も時に氣焰を擧げる「まだ〳〵仕事はこれからだが要するに社業の擴大さ共により多く日本人を使ひたいさ思ふれ、團體移民業より必要だが各會社がそれぞれ日本人採用さいふ方針に一致することが滿蒙發展の見地からみて何より緊切じやないか」

滿日各地版

建國記念日を控へ歡喜の色漲る
吉林で慶祝方法協議

【吉林】滿洲國建國一周年記念が目前に迫つて各所では慶祝の準備に諸種の相談が行はれ來る三月一日をして其の盛大なる慶祝大會を豫想し新春の氣分漲溢と建國記念日を迎ふる吉林省城一帶は一齊に慶祝の氣分漲りて街の店頭往來の馬車や人の面影にさへ喜びの色が見え事變以來殊に治安に惠まれた無難の省城として人心平穩にして平和の境を行くが如く過去二三臺に過ぎざりし自動車の如きも現在何十臺と言ふ增加を示しタクシーの如きも二三の營業が行れて利用者も相當有る模樣、全滿を通じ第一モダン的に流行する省城の滿洲國人は建設以來其の需要悉くは邦品を愛用して第一女學生の如きは邦商の店頭に內地のスター入り便箋とか封筒とか又は學用品の總てを買求めるといふ風で最近は支那向を壓して內地直輸入のモダン品を注文するが如きは日滿親善の見地からして第一歩の接近で有り建國一周年記念を迎へらる今日此の圓滿親善東洋平和の保持する上に模範吉林と誇る價値有り又誠に喜ばしい現象である、來る三月一日建國一周年記念祝賀大會は日滿合同で行はるべく目下各關係者相寄り協議中である

志に對し各村民を代表して感謝の赤誠を現すべく十八日午後一時より營口縣立第四小學校講堂に於て掃匪感謝日滿懇親會を開催し岩田大隊長、葛目少佐、岡本副官、森重大尉、其他將校、鎌田憲兵分隊隊長、三浦警察署長代理、木下警部、反田司法主任以下警察官、愛甲協和會辦事處長其他有志多數を招待し主客約六十名滿洲國美妓の斡旋にて杯を重ね談を交へたが定刻となるや第二區委員長孫廣延各村長を代表して感謝宴の式辭を述べたるに對し岩田大隊長日本側を代表して兵匪平定治安確立新國家善政に對し祝辭を述べ尙ほ自衛團の指導誘掖に對し村長各位に注文を附說して挨拶に代へ宴に移り日滿人卓を圍み意見を語り注文を聞き談笑裡に和氣藹々午後三時半散會したが斯くの如き意義深き日滿親善の會合は稀に見るところであつた

豫算地委會

【開原】開原地方事務所長小川早苗氏は開原に於ける昭和八年度の豫算編成に關する諮問の爲め二月廿三日開原地方委員會を事務所會議室に招集諮問を爲す由である

開原の慶祝協議
執政、軍司令官へ祝電

【開原】諸行事に熱心なる開原では三月一日の滿洲國建國一周年記念當日の慶祝方法に付二月十七日午後三時官民有志は地方事務所に集合協議の結果盛大に祝意を表する事に決し行事の順序を左の通り決定した

一、執政へ祝賀電
一、軍司令官へ感謝電
一、奉告祭　午前九時三十分開原神社にて
一、旗行列　祭式終了と同時に日滿官民各學校生徒參加市中一巡中央公園に到る
一、感謝祭　中央公園內忠魂碑前に於て
一、花自動車終日市中巡行
一、祝賀宴　午後零時三十分日滿官民集合公會堂にて
一、電飾　市內數ケ所にイルミネーション裝置
一、活動寫眞　午後六時公會堂にて無料公開
一、建國精神普及　ポスター及び宣傳單

撫順の建國慶祝
市民會で協議決定

【撫順】來る三月一日滿洲國建國記念慶祝に關し撫順における行事は市民會にて協議の結果左の如く決定した

▲記念式典　滿洲國側に於て式典擧行するに付き日本側官民は之に列席することゝし、日本側は行はず
▲旗行列　滿洲國側式典終了後滿洲國側を主として旗行列を行ひ日本側學生及一般も之に參加の上日滿兩市街一巡公會堂に於て解散す
▲祝電　當日市民會より執政府に祝詞を打電す
▲記念講演　二月二十五六日頃軍部より講師を聘し大講演會を開催す
▲同情週間　二月下旬より同情週間を催し各團體協力して滿洲國側二百圓、日本側三百圓、計五百圓を募集し之によつて施粥を行ふことゝなれり
▲その他　當日は各戶に日滿國旗掲揚し電車、自動車は裝飾を施して大いに慶祝の意を表す

二、旗行列には居住民、全鮮學童全部參加すること
三、敬老會を開催すること
四、建國記念映畫作成のこと
五、娛樂宣傳として建國に關係あるもの其の他の映畫會を開催すること
六、自治會長名義を以て鄭孝胥總理に祝電を發すること
七、日滿學童合同の音樂會を開催すること

鳳凰城の建國記念大會

【鳳凰城】來る三月一日は滿洲國建國一周年に相當するので滿洲國に於ては擧國一致を以て慶祝大會を開催することに決定した由で、當地滿洲國側に於ても盛大に擧行することゝなり既に其準備に着手して居るが、當地日本人側に於ても同慶の意を表すべく官民有志は十七日午後一時より驛應接室に會合協議の結果略次の如き計畫を樹てたが尙滿洲國側と打合せの必要あり此打合せには星野驛長が當ることゝなつた

一、日本人は建國式典に可成參列

掃匪感謝日滿懇親會

【大石橋】滿洲國成立以來各地に蟠居し良民を苦しめたる兵匪漸く平定され治安又著るしく確保し農商の業益々隆昌を來し日に盛大に向ふは之れ實に軍部の後援に基くところなりとし感激措く能はざるものあり三角地帶方面の掃匪並に政治工作に依り新國家の認識は深められ最近營口中島縣參事官一行の政治工作に依り層一層王道治下の善政を謳歌しつゝ何等の不安なくその民業につくを得たる喜んでゐる、營口縣第二區管內大石橋近海十四箇村長は準警及地方有

王道國家宣傳に工作委員會
愈よ問島地方に進出

【奉天】滿洲協和會奉天中央局にては問島地方における滿洲王道國家宣傳のために問島工作準備委員會を開催するに決し諸般の準備中である、尙ほ廿二日には通化辦事處の開會式を擧行すること

經濟狀況
奉天金融
鮮銀奉天支店調

輸出入商況

輸入品は奉天驛着荷數量より見るも前月に比し總じて減少を來せり之は恰も新正月の關係と又同時に滿人側としては舊正問際の仕入手控へによるが一面期待程の銀高に移らざりしにもよるところ多しと觀らる、然し綿糸、綿布は年初の銀割高と內地高の強材料に相當の商談はありたるが月末に至り舊正接近に機屋の休業問屋決算等にて需要減退し產地市況の頭打ちを眺めて實需思惑共に動かず舊正明の好材料待望の姿に終れり、今當月末に於ける主要品相場を示せば

品名	銘柄	相場
綿糸	仙桃	二一〇圓〇〇
綿糸	双福	二二二圓〇〇
同	遼塔	二三二圓〇〇
同	双雁	八圓七〇
綿布	粗布	九圓四〇
同	細布	二五〇圓〇〇
同	細綾	六圓八〇

品名	銘柄	本月	前月
同	大尺布		二圓七五
砂糖	J印		一九圓五〇
同	HS印		一九圓一〇
麥粉	寶船		三圓三〇
同	紅綠		三圓二五

尙當月中奉天驛着荷主要品數量は左の通りなり

	本月	前月
綿糸	一、三三梱	四、三三梱
綿布	四、〇八梱	四、九六梱
麥粉	二三、三〇九袋	二六七、四〇一袋
砂糖	一、〇六六、七〇四延	一、一一四、九七九延
雜貨	四〇九、四九九延	二〇九、五六延

輸出特產物

は銀價の平調裡に推移したると相場も一般に下押の形にありたる爲め華々しき商況を呈せず舊正月を迎ふるに至れり、今各品個々に見るに大豆は最早品薄を告げ來たれるに加へ一部の策動もありてか產地の値段は釣上げられ大連との値鞘十錢乃至十五錢となり引合はず普通商人は傍觀の狀態を來せり相場は上旬四圓八十錢、下旬四圓六十五錢、胡麻大麻子は既に奉天附近もの出廻濟となり本月中の商談も僅か十二、三車に止まり相場は十圓五、六十錢より十一圓見當持續、蕎麥は三圓四十五錢程度に保合、歐洲向として五十車餘り發送したり、獨り需要先を異にして粟のみは大手筋の手も動かず相當の賣行ありたり相場は上旬四圓十二、三錢中旬四圓五、六錢下旬三圓九十五錢、此の外包米、奉山沿線の黑豆も相當出廻りたり今之等主要品の當月中の奉天驛發送高を見るに左の如し

	本月	前月
大豆	二九	二三九
小豆	一〇四	八九
粟	一、六九六	二、一四四
高粱	八二	一七九
大麻子	三六六	二五二
胡麻	二一七	二六三
蕎麥	二、四五一	二、二三四
落花生	一〇八	三八〇
包米	七七八	二、五一六

錢鈔市況

△滿洲國幣對金票　年頭山海關事件の突發あり時局懸念、圓爲替の弱含みと相俟て當地現物相場は四日九七圓六〇なりしが對米爲替の小締に七日九六圓三〇錢と金票稍々強調を帶びたるも熱河問題聯盟の動向等論議され曙雲低迷の形に一進一退、中旬は九八圓搦みに推移し舊正に入りたるが月末は弗安を映じ九七圓七〇錢にて越月したり

△鈔票對滿洲國幣　月初めは一〇一圓七〇錢の保合狀態なりしが特產資金として國幣地方流出に市中在貨逼迫し一〇一圓前後に強含みの儘經過するに至れり、右の如く市況至つて波瀾に乏しく平凡に推移したると新年並に舊正休市の關係もありて本月中の奉天取引手先物取引も前月に比し左の如く減少せり(單位千圓)

	國幣對金票	鈔票對國幣
本月	二二、九四二	三、五四九
前月	五七、七七七	三、六一七

金融概況

本月は正月の關係と又月末が舊正に當り滿人側の歡手仕舞急ぎもあり夫れに銀價の軟勢にも禍されてか商況は華々しからず、金融界も比較的平調、若干問傳へらるゝ土建界の活況も未だ其期に至らず正月氣分旺盛の形なり因に當月中の當地組合銀行の帳尻及手形交換所交換高は左の如し

組合銀行帳尻(單位千圓)

	本月	前月
預金(金)	二一、六二五	二三、四一四
貸金(金)	三、七三七	二五、一四一
出銀	七二六	

交換所交換高

	枚數	金額
本月	三、一五五	三、〇八七
前年	四、九四八	四、七九八
同前月	二、二二九	二、一八六

旅館、料理屋を嚴重取締る
奉天省警察廳の活動

【奉天】奉天省警察廳としては熱河方面における反滿軍の攻勢的狀況に奉天省城が萬一學良系の後方攪亂隊により市民に不安を與へることのなきやう全力をあげて警戒に努めつゝあるが、省城出入の門限證は大同二年上半期のものを新に下附することにして通關證の取締を嚴重にすることになつた、然し張學良特派の便衣隊も相當潛入して來る樣子で旅館、料理業等は嚴重取締る方針である、警察廳の語るところによると最近數ケ月來城內に發生した強盜事件は殆ど檢擧するに至り既に一月には三件以上の馬賊事件に遭遇したが全部逮捕し、滿洲事變前の警察と全然その活動力はちがつて來たと著しい進步の跡を物語つてゐる、尙ほ警察署への非常ベル据付と匪賊侵入を警察署に報ぜられると直に警官隊は自轉車に乘り現狀に急行し、從來にない活潑なる行動を執りつゝあると

鞍山商務會有志が遊廓を新築の計畫
＝昭和製鋼所決定に伴ひ＝
當局に諒解を求む

【鞍山】昭和製鋼所が愈々鞍山に決定すると云ふので鐵道西居住滿洲人有志間には種々計畫が進められて居るが商務會では市場と競馬場の中間空地に遊廓を新築すべく計畫し鞍山警察署に諒解を求めつゝあるが地方事務所との諒解も出來敷地並に建築樣式及び收容人員等も大體設計が出來て居ると

興盛廟東側に商店街建設
三月中に着工豫定

【鞍山】鞍山舊市街西遼陽縣南部農商聯合會は興盛廟東側畑地に店舖並に住宅組合を計畫し、既に三百名の加入申込あり其出資金十萬圓が積み立てられて居るが、右店舖並に住宅街の構成は道路に面した周圍に地方事務所指定の通り高さを一定するや商店舖を建築し內部が住宅となり建物は一戶三百圓、五百戶、十五萬圓にて目下頻に建築材料を運搬しつゝあり近頃の暖氣では三月中に建築を始める模樣である

新に發電所を
サイクル目下研究中

【鞍山】鞍山の電燈は發電所の關係で一般都市と異り二十五サイクルなるが故に各種電氣機械器具の使用に頗る不便を感じ常に市民の喫驚を聞く所であつたが昭和製鋼所愈々鞍山に於て事業開始することゝなれば製鐵所內の發電所自身が改造の必要に迫られ最新式の機械を据ゑ付くることに內定し製鋼所建設と同時に新發電所が建設さるるので從來の不便が一掃されカフエーはもとより各商店のネオンサインや各種電飾賑やかに新裝の建築物と共に市街美は華やかさを增すであらうが製鐵所ではサイクルを何程にするか目下研究中で近日中に決定する模樣であると

賭博犯逮捕

【吉林】吉林省城翠花胡同二六に於て滿人多數が集合し每日の如く賭博開張中との噂に接した省縣公安局では十五日午後一時頃日本官憲若干の應援を求めて局員三十名と共に前記場所を包圍し折良く開張中を踏込んで滿人二十餘名の現行犯を檢擧し此の二十餘名の內に鮮人一名が加入して之れも難なく公安局に連行目下嚴重取調べ中であるが右賭博場所は商埠地新開門外某邦商の支店裏に當りて若しやこれに關係無きかと本支店長を連行し取調べの結果何等關係なきもの、如く直に歸宅を許された

新濱縣に防穀令
移出多く缺乏を告ぐ

【撫順】新濱縣にては昨秋匪團の橫行掠奪頻々として行はれ住民は之が對策として手持特產物を縣外に移出し滿海沿線、或は撫順の穀棧商に委託する者多く、目下新濱縣內にては穀類皆無の狀態にて糧食にも缺乏を告げる次第なるを以て縣當局にては最近防穀令を發し縣內より穀類搬出を絕對禁止してゐる

遺骨を合祠

【遼陽】鞍山守備隊中隊長故陸軍步兵少佐長岡寬外廿五勇士の遺骨は十八日午後急行で着遼石岡地方事務所長を始め官民有志の出迎へを平井神職の先導で忠魂碑に到着嚴肅なる合祠祭が行れた

廿九遺骨赴遼

【鞍山】從來滿洲に於て戰死した軍人遺骨は奉天、大連、遼陽の三箇所にある忠靈塔に其一部分を納骨することになつて居るので鞍山守備隊では黃花甸、岫巖、湯塔堡子の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた長岡少佐以下二十九體の芳骨は八日午後一時五十分發急行列車に峰岸副官並に西本軍曹に護られて赴遼したが驛頭には官民多數の見送りがあつた

軍隊慰安會

【遼陽】遼陽時局委員會主催の在遼軍隊慰問の計畫の事は既報の如くであるが時局委員會吉田幹事の斡旋で元工兵隊營舍の部隊は二十日午後小學校講堂に於て步兵聯隊で敎育中の初年兵及敎育係將士の慰安會は二十五、六の兩日間晝夜に亘り遼陽座で慰安會を催すと

中野副領事赴京

【奉天】二十日より二十三日まで新京に於て全滿領事會議を開催する事となつたので奉天總領事館よりは中野副領事が出席する筈であり、尙十九日着任する蜂谷領事も都合で參加する筈である

兇賊田振東護送中逃走
遂に射殺さる

【開原】匪賊頭目田振東は曩に昌圖縣下にて逮捕され同縣當局に於て取調中であつたが開原憲兵分遣隊に於て取調の必要ありて二月十五日昌圖縣警察隊員護衛の下に開原へ押送途中馬仲河に於て逃走を企てたので警察員は透かさず追跡し發砲して銃殺したと

廣野大佐赴任

【錦州】當地野砲〇〇隊長廣野大佐は滿洲派遣一ケ年或は北滿に或は東邊道近くは山海關と大小の出動轉戰實に三十回其の武勲を各地に宣揚し武勳赫々たるものがあるが此の度突然敎育總監部砲兵監に榮轉する事になり懷しの錦州に御別れする事になつたその後任として元久留米獨立山砲第三聯隊長橋本精大佐が十三日午後二時五十六分着列車で官民多數の出迎へを受け着任した、尙廣野大佐は本日午前十一時五十八分發列車にて多數官民に見送られ赴任の途についた

興津副領事來奉

【奉天】興津通化副領事は十七日來奉十八日の「はと」にて新京に向ひ領事會議に參加した

旅順放送

▲旅順高等公學校では來る二十五日(土曜日)午前十時から中學部第一回卒業證書授與式を擧行する
▲乃木町三丁目有志は中村屋田中床及び不幸燒死を遂げた故角田氏の罹災者に對し見舞金を募集したので十七日右の內金二百圓中合計二百九十七圓五十錢に達を中村屋へ、三十三圓を田中床死亡者と香奠三十圓に花輪一對
▲新任保安課長金井事務官は十八日在旅各方面を歷訪着任の挨拶を述べた
▲燒死した旅順衞戍病院事務員元上等看護長勳六等角田武郎氏の葬儀は十八日午後二時から衞戍病院靈室に於て執行された
▲旅順要塞司令官では今回公衆電話交換器を設け代表番號は從來の一番で受附及宿直用、二番砲兵部三番は工兵部、四番は副官室、五番は參謀室六番は主計室と割當られた

沿線往來

▲成澤遼陽縣參事官　十八日奉天往復
▲中村信氏(遼陽電燈局支配人)十七日奉天往復十八日夜行で赴連

社告

從來打虎山岡田氏が取次販賣して居られた弊紙は今回左記の通り變更して御取次しますから相變らず御愛讀を願ひます

二月十九日

打虎山販賣店　小形商店
滿洲日報社

海と空と (116)
高杉晋一郎作　橋本淸史畫

明暗 (四)

翌日の午前十一時頃だつた。不意に、厄介者を放り出すやうに、警察から釋放された襄は、暫く署前の街路にぼんやり立つてゐた。

亂暴な檢束に次ぐ拘禁、さうして謝解も何もない野良犬を追出すやうな釋放――流石に怒りがむら／＼と湧上り反抗の齒軋が嚢に鳴つた。然し事直接に自分に關する時はこのやうに湧くやうな憤怒を感ずるものゝ、それが直に全被壓迫大衆の爲の義憤となるべくは餘りに個人的な不滿に富んでゐる事を、反省に速い彼の內心は知つてゐた。これが彼の自己批判の痛だつた。

その爲に怒りも變に內訌して鎮まつて、今はぼんやり署前の並樹の間で、放たれた心身を撫で廻してみる氣持だつた。

直ぐ家には歸りたくなかつた。彼は通過してゆく電車や自動車や外套の襟の間から無意味に眺めてゐた。空は鈍く曇つて、輕氣球の腰綱のやうな雲が低く町の屋根々々に垂れ下つてゐた。今にも何か降つて來さうな模樣だつた。

さうだ、矢張一應組合へ行つて安否を確め、自分のこれからの氣持もよく說明しなければならない――突然、拾ひ物でもしたやうに漸くそんなことを思つて、彼は返されたばかりの蟇口を調べて見た。電車賃は充分あつた。

歩き出して見ると身體の節々の痛みに力が入つてゐないのだつた。彼は全然踏み出す足に力が入つてゐないのだつた。

は、一臺電車が止つてゐるのを見過して、ゆつくり停留場まで歩いて行つた。

プラットフォームの上で次の準備行が來るのを待ちながら、彼は何氣なく向ふを眺めた。と、突然胸を突かれ、顏のこはばるのを感じた。

ボールがゐるのだつた。

彼が視線をはづせないでゐるうちにボールも此方を見て了つた。彼女の頸も外套の襟の中でさつと變つた。

偶然――

二人は同時に眼をそらして了つた。ボールは逸見と氣にかゝる會話を交してから二日も經つのに彼が來ないので、今日は彼女の方から訪れて見やうとして沙河口行の電車を待つてゐるのだつた。

沙河口と埠頭と、正反對の方向へ行くものが、お互に四本のレールを挾んでプラットフォームに臨ひ合つてゐなければならない數分……

二人とも明らかに狼狽した。さうしていつか星ケ浦の海の上で交したやうな、お辭儀するでもなしないでもないやうな、微な目禮を交さればならなかつた。お互に避けたい相手だつた。而もお互に胸を躍らせてゐた。然し合せてはならない顏だつた。お互認め合つた以上今更どちらもそこを去るわけには行かなかつた。と云つて話を交す事も出來なかつた。勿論同ひ合せのプラットフォームのこと故話を交せぬ事はなかつた。然し、何を話さうと云ふのだらう。彼等は視線をぶつけたりそらしたりしながら、ひたすらに電車の來るのを待つた。然しその時に限つて故障でもあつたのか妙に電車の來方が遲かつた。

襄は焦々した。ボールは逸見へのお手土産にと思つてわざ／＼菓子屋などに寄り、いつも乘る所から乘らなかつた事を後悔した。然し彼等は矢張避けた視線をあちこちへ持ち廻つてやり場がなくなると

結局ぴたりと兩方から眼を合せて了ふのだつた。襄は、自分が拘留された事などきつと新聞に出て、ボールは知つてゐるに違ひないと思つた。彼女が自分を避けやうとするらしいのはその爲だらうと思つた。彼女は微に頸をほてらせてゐた。襄はやゝ靑くなつてゐた。お互にこれがどんな意味の會見になつてゐるのか後になるまで勿論知らなかつた。

そこへ漸く沙河口行の電車が來た。ボールはほつとして――その電車の行方に逸見の不在が待つてゐやうとは知らず――救はれたやうな氣持で乘り込んだのだつた。

新刊紹介

▲ファシズム政治理論(アルフレド・ロッコ著、長崎太郎譯)本書は伊太利の司法大臣アルフレド・ロッコ氏が、西洋紀元千九百二十五年八月三十日にベルウジヤで爲した講演を細育、コロンビア大學敎授ビゴンチアリ氏の英譯を更に譯者が重譯したものである、ロッコ氏は有名な法學者でパヅア大學の法學部長で、同氏はムッソリーニ氏が內閣を組織すると共にその閣員にあげられた、本講演は實にファシズムの哲學の權威ある聲明といつてよいものであつて、この小冊子によつてファシストの運動はあくまでも伊太利國固有の歷史と、世界大戰後の伊太利の國狀に基く特異のものであることが判るだらう(定價六十錢、發行所東京市牛込區早稻田鶴卷町四七一長崎書店)

▲ソウエート聯邦事情(二月號)ソ支國交回復の檢討(小山征男)深刻化せんとするソ聯の財政難(原然二)ソウエート聯邦農業政策序論(松村四郎)ソウエート經濟の危機(トロツキー內山彼得譯)ソウエート經濟における蓄積と消費(ラゴリスキー、三島隆譯)最近ソウエート強行勞働政策とその根據など(定價五十錢、發行所大連滿蒙經濟調查會)

▲批評(第二號)日本の「急激な進步」(如是閑)景氣回復の意味と無意味(三谷七郎)日本婦人解放運動主流の發展(今兼郎)社會ファシズムの價値、價格論―上―(エルスナア)駒込より(水島爾保布)椅門椅子と臟腑蝶子―上―(FN譯)明治初期における社會主義の說述(住谷悅治)ファシズム人口論批判(長谷川如是閑)「我等」の人々―其一(小泉鐵)堺利彥(長谷川如是閑)「批判」取消されぬ事實、非常時と軍備(市村)通貨調節のカラクリ(四方田)定價三十錢、發行所東京市中野區上ノ原町六番地我等社

▲日の出(三月號)特別讀物「多門師團實戰大座談會」は確かに精彩を放つてゐる、この實戰談は多門其人の心境を知り戰場の實況を知る上に凡百の實戰記よりも最も貴重なものだ、荒木陸軍大臣の「縱橫無盡錄」は馬觸れゝば馬を斬り人觸れゝば人を斬るの氣慨溢れた記概、其他「松岡全權型破りの大演說」が詳細に報告されてゐる、實話的なスリルに富んだものとして「猛獸使ひ三十年」「日本國境の感激物語」「忍術を公開する」など、無塞を滿洲として國際的な問題を提供したゞけに「馬賊の巢窟から人質を救ふ」は特に興味が深い「國際結婚に惠まれた人々」は國際結婚破綻で是非の論議の八釜しい際、その逆を狙つて効果をあげたもの、小說欄には白井喬二の「若衆髷」「燃える富士」現代物では「心の波止場」附錄は川島浪速、山中峰太郎、中野江漢の三重奏になる「滿洲建國大秘史」小說風に面白く讀ませて建國のかげにかくれた幾多の秘話を繪卷物のやうに繰り展げてゆく(定價五十錢發行所東京市牛込矢來新潮社)

▲性(二月號)睾丸の重大使命と精液(秋山倚男)不感症の硏究(澤田順次郎)美人は淫蕩?(靑柳有美)一妻多夫論(秋山倚男)性交學(井上正賀)近親者間の肉體的結合(長濱案)理想的のルーデサック(町田和郎)衣服と性慾と裸體の研究(澤田順次郎)淫蕩奔放時代(皆川美彥)同性愛(原比露志)三十錢の指環で人妻を姦した話(飯島三安)神經衰弱と誤る他の疾患(前田珍男子)老人の性慾(池上作三)淋病と神經衰弱及び機能障害の療法(朝岡稻太郎)姙娠中の病氣(石崎仲三郎)性的煩悶解決所と大衆讀物等(定價三十錢、東京本郷區東竹町三六日本體德學會發行)

▲婦人運動(二月號)定價二十錢發行所東京市本所區林町二ノ七八職業婦人社

けふの放送
大連 JQAK　二月二十日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午後六時　ニュース
▲六時三十分　講話「新入學兒童の御家庭へ」日本橋小學校長越智末一郎
【以下內地中繼】
▲七時　音曲「吹き寄せ」春風やなぎ
▲七時二十五分　都新聞社主催＝三曲名流大會(一)八島(瀨尾勾當作曲)箏楠久雪子、同松島禮子、三絃加藤柔子、同廣岡福子、同稻垣武良子、尺八津田維山(二)松風(三世山木、中能島松聲作曲)箏山至千代子、同櫻泉津多子、三絃福田富貴代、尺八荒木梅經(三)臼の聲(三世山登作曲)箏上原眞佐壽、同加藤眞富、三絃上原淳子尺八青木鈴慕
(以下大連放送局より)(八時三十一分)
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報